激汗

大阪経済大学大樟会

経大人のための情報誌
DENKO
2016年
51号

●同窓会設立80周年記念特集
特集1 支部長座談会／特集2 支部長会議／特集3 支部の歴史

●特別インタビュー・井阪健一元理事長に聞く

●2015ホームカミングデー・
同窓会設立80周年記念総会・懇親会

特集❶ 支部長座談会

地方からの受験生を増やさねば!!

平成27年5月22日(金)　於　大樟ラウンジ

【出席者】
熊本支部長　濵　　忍 氏
福井支部長　石橋　隆夫 氏
堺　支部長　堀本　　修 氏
北摂支部長　本郷　公夫 氏
豊中支部長　田中　功一 氏

司　会　副会長・広報部長(山口支部長)　小林　真人

小林　**同窓会設立80周年ということで、今回は特集の一つとして5人の支部長さんにお集まりいただき、各支部の現状、日ごろ同窓会や大学に対する思いをざっくばらんに語っていただきたいと思います。今後の同窓会運営の参考にさせていただくとともに、大学に対しては同窓会支部として提言をしていきたいと思っています。まず、皆さんの支部の現状からご紹介ください。**

石橋

私が昭和41年に卒業して福井へ帰った頃には同窓会の福井支部はなかったです。卒業生の情報が全く集約されておりませんでした。

我々の学生時代は「県人会」というものがあって、石川、富山、福井を含めて学内では結構交流がありました。そういう連中が卒業してからも何回か会って同窓会をつくろうとした時に、福井県の武生出身の本学の土生秀穂先生がおられ、その門下生がたくさんあちこちへ就職されていたものですから、その先輩たちを訪ねて行って「じゃあやろうじゃないか」ということになりました。ある銀行におられた1級先輩の方が力を貸してくれて誕生したということです。初代の支部長は30年くらい、前任者は10年くらい、そして私も10年目になります。

スタート時は、人数は少なかったのですが、「やろうぜ　やろうぜ」という思いで20年間くらいまでは気概で参加していました。

ところが、今は卒業して地元へ帰って来る人は少ないのですが、案内を出しても、出しても、支部総会に参加する人は減るし、20年くらいがんばって参加していた人も、職場を卒業するともうそんなところには行きたくない。家でゆっくりした方がいいという人が増えてきます。当時の会員数は300人くらいで、現在は倍の600人くらいですが、むしろ当時の方が活気があったような気がします。

新しい人も毎年5～6人は地元へ帰ってきますが、就職先や本人の自宅へご案内に行き、お誘いしても、まず一人も参加してくれないというのが実状ですね。

この人たちがどうしたら参加してくれるのか、皆さんのお知恵をお教えいただきたいと思います。

小林　**福井支部はジャパネットたかたの高田明前社長を講師に招き、市民教養講座を開催されたりして活発な活動をされていると思いますよ。**

石橋　そうですね。はっきり言って福井は田舎なものですから、大阪経済大学と言ってもだれもほとんど知らない。しかし、私はすばらしい大学であるという自信はありますし、どんな人から聞かれても「あの大学へ行くのなら大経大へ行きなさい」と勧めています。大経大マンドリンクラブの演奏会や市民講演会、旅行などのイベントもよくやりました。金銭的な問題や動員など団結しないとできませんから、それなりに効果はあったと思います。卒業した我々が頑張らないと学校の評価はいつまでたっても変わらないのではないかと思います。

小林　**この「澱江」が発行される時には、高田前社長の講演会はすでに終わっていますが、ページを改めて講演会の様子をご紹介したいと思います。**

濵　私は35回卒でここでは一番若いかもしれませんが、支部長になりまして27年になります。ただ、私が27年もやっているというのは先輩方がほとんど他界され、私も同期生が4人いますが、その下はまだ現役でやっている人が多いのです。だから同窓会活動を私の代わりに中心になってくれる人がほとんどいませんので、その辺が悩みではあるのですが…。

以前は福岡でも地方入試が実施されていましたが、これも廃止され、その影響もあってか、九州からの受験者は少なくなっていると思います。このため九州では大阪経済大学の知名度は低いです。これは止むを得ません。最近は経済状態が悪くなっていますので、親御さんもなるべく地元にというケースが多くなっていると思います。

私どもの会員数は、名簿上は50人程度と少ないのですが、同窓生の「絆」はむしろ強いです。出席者も固定化しています。人数は少なくとも継続をすることが「力」かな…というように考えています。

小林　**私も支部総会へ出席させていただいていますが、それなりに日常の情報公開だとか「つながり」の部分ではむしろ大きい支部よりもアットホームなところが感じられますね。**

濵　それしかないと思いますね。

堀本

かつて理事長だった井阪健一さんから「堺という大きな町に支部はないのか。何とかならないか」とのお話で、13年前に私が立ち上げました。数だけはマンモス支部です。最初は堺市だけで発足しましたが、その後近隣の高石、富田林、河内長野も入り、あまりにマンモス化したので、各都市に副支部長を置いて独自に活動してくれと任せたのですが、最初はこの方式が成功しました。

私の考えで同窓会は遊びを通して結束を図らなければならないと、毎年春秋2回のゴルフ大会、年1回の旅行。そして会員同士が自分の専門分野を講義

CONTENTS

2　特集1　支部長座談会
6　特集2　支部長会議
10　特集3　支部の歴史
12　特別インタビュー・井阪健一元理事長に聞く
14　ホームカミングデー・同窓会設立80周年記念総会
18　わがまちイチオシ
21　パソコン教室
22　躍進するクラブ
24　支部だより
40　OB・OGネットワーク
48　お世話になった先生からのお元気なお便り
50　ゼミ短信
52　本部だより
55　大樟会支部長・各種部会会長一覧
56　ズームアップ経大人

する懇話会などもやり一応成功しましたが、肝心な総会には出て来ない。交通が便利で集まりやすい難波でも何回もやったのですが、来ない者は来ない。会員3,000人の中で出席者は20数名という有様です。

支部長も、もう交代して後任に任せようと何人かにお願いしましたが、皆さんに断られ、今、再登板をするかどうか考えているところです。

また、広すぎて調整がとれないところから、ある程度固まった時点で、南河内郡、富田林、河内長野については堺市から分離して新しい支部を立ち上げてもいいという話は出ています。

本郷

私は33回の卒業ですが、7～8年前までは同窓会があるということを全く知りませんでした。ある人から「あんたの名前が名簿に載っている」と言われ、是非入れて欲しいと入会しました。ボチボチ活動しているうちに皆さんと親しくしていただきました。名簿上は1,000人くらいいるのですが、出席者は30～40人くらいです。小林さんのお話によると出席率は5%クリアーが目標だとかいうことですね。

総会でなんとか出席者を増やして欲しいと前支部長から頼まれまして、同窓会の存在すら知らなかった私が皆さんのお役に立てるならと平成24年3月から支部長を仰せつかった次第です。

参加者の体裁は一応整っていますが、先輩たちがやって来られたことを私も二番煎じでやっているだけで、これ以上のプラスアルファーをどうすればいいのかと考えながらやっています。新しい人を入れて参加していただくことがこれからの課題でもあるし、皆さん方の悩みかもしれません。

小林　**田中さんのところは「支部だより」なども発行されていまして活発な活動をされているように思いますが…。**

田中

「支部だより」の目的の一つは、通信費1,000円の振り込み依頼をして協力をしてもらっているので会計報告は載せています。それともう一つはこういう活動をしているという周知です。もし興味があれば参加してほしいというPRを兼ねて出しています。

私の支部は30年になるのですが、先輩たちは高齢で離れて行かれました。熱心な方が離れて行かれるということは若い人にそれを引き継ぐことを求めるのですが、それもなかなか難しいですね。

支部総会の案内を出しても30回卒以上の方は「歳ですから遠慮させていただきます」とか、今、現役で働いている人からは「定年になったら参加させてもらいます」とかいろいろ書いて来られるのですが、他人の世話をさせられるのはイヤだ。参加したらまた役をさせられるのではないかという気持ちが多分にあるのではないかと思いますよ。

若い人に聞くと「年寄りの集まりに行ってもしようがない。総会に3,000円～5,000円の会費を出してシャンシャンで終わりでしょう…」と言われる。「いや、そうじゃないんですよ。年2回のゴルフ会やハイキングもやっていますよ。その中で異業種の方たちと話されて自分の現在の仕事に対する色々な情報を得てください」と言っているのですが…。

豊中支部では諸先輩から72回卒まで会員は945人います。今回、新卒の方には全員案内状を差し上げました。ところが返事が返って来ないのですね。

今回の31回目の総会は大学で会場をお借りして開催したため、参加費を安くしたのですが、安いから行く、高いから行かないというお金の問題だけではないのですね。なかなか難しい問題ですね。

小林　**各支部の現状をお聞きすると総会参加者が少ない。この一語に尽きるのではないかと思います。若い人たちを中心に参加してもらうための特効薬とい**

うものがないのが現状で、支部長さんとしては一番頭を悩ませる共通の問題ですね。

次は話題を変えまして母校に対する思い、要望などを語っていただきたいと思います。

堀本　堺市では関大、近大に始まって関連の高校がどっさりできました。堺市の高校をグループの中に取り込んできた訳ですよ。大経大にはそれがないのですね。

行くところ行くところで「何で大経大は附属高校がないのですか」とよく言われました。そういう高校はグループの大学に行きますから大経大は2倍も3倍も知名度が落ちてきています。堺市では大経大はどこにありますか、という程度ではないでしょうか。

濵

就職先についてですが、私の知り合いに大手企業の役員がいるものですから、「大経大はお宅の採用リストに入っていないですよね」と言うと、「それじゃ、一度、会社に来てください」と言うものですから、こちらから就職部担当者を紹介しました。これまでは総務の女性がただ受け取るだけでしたが、その時は役員室へ通されたそうです。だからそういう手はあると言っているのに、どなたも動いていないという感じがしましたよ。何回かお話をしたことがあるのですがね…。

中堅のそれなりの企業もいいかもしれませんが、大手企業に入る卒業生を増やさないと大経大のネームバリューは上がらないと思います。その役員に言われました。「大経大の学生は最終面接まで来るのだけど最後に他校に負けるんだよね」と。上位2割の学生を鍛えて最終段階で勝てるようにレベルアップしないといけない。

田中　今年の本学の受験生は1万7,000人を超えたとか。これはものすごい数字ですよ。特に豊中では大経大は知名度がありますし、私たちは歴史ある経済・経営系の大学という誇りを持っていますので、経済・経営であれば大経大、ともう少しPRをしてもらった方がいいと思います。

最近は地方の受験地を大幅に縮小していますが、なぜ縮小されたのか。多分費用対効果からでしょうが、本来、やはり平等に受験機会を設けるシステムづくりをしないといけないと思います。大学は営利企業と違いますからね。費用対効果を考えること自体がおかしいでしょう。

濵　10何年も前のことですが、今でこそ近大は受験者数日本一ですが、当時から熊本でも地方試験をやっていました。大経大はめちゃくちゃ遅れているなと思いました。その時、大経大はすでに福岡での入試を止めていましたからね。

この度、北陸新幹線が開通し、将来は福井まで延伸するでしょう。そうなるとこれまで関西に向いていた人が東京へ向いてしまいますよね。その辺りも考えて地方試験を福井でもやるとか先手を打たないと…。

それから私学案内がよく新聞に載っていますが、きのう今日できた大学は載っているのに大経大はありませんよね。これは同窓生にとって寂しいことですよ。同窓生のプライドも満足させてくれる効果的なPRをしてもらいたいですね。

教職員にも優秀な卒業生がいればどんどん採用していってほしい。やはり学校に対する愛着が違うと思います。

小林　**貴重なご意見ありがとうございました。今皆さんから出されたご意見、支部の現状などは支部長代表の提言として善処できるものから実現できるよう要望していきたいと思います。ありがとうございました。**

特集② 支部長会議

「臨時全国支部長会議」を終えて

大阪経済大学同窓会設立80周年を機に、全国支部長・部会長が一堂に会し、同窓会の在り方、その運営の難しさなど胸襟を開き，大いに話し合う機会と場が設けられた。

場所は大学の本拠地でもある大阪、時は木の葉が色づき始めた秋、施設は素晴らしく、会議はいやが上にも盛り上がった。意見交換は夜の更けるのも忘れて会場の各所で熱弁が飛び交い、何よりも同窓生としての団結力を深めることのできた意義ある会議であったように思う。

会議の総まとめとして、これから90周年、100周年に向けてさらに大きく羽ばたいてほしい”われらが母校大阪経済大学”のためにも、同窓会(同窓生)の総意として提言することを模索しながらの会議であった。以下にその経過を簡単にお知らせいたしたい。

（愛媛支部長　眞鍋一美）

田村大樟会会長、竹中事務局長からのあいさつ・諸連絡があり、座長に石橋隆夫氏（福井支部長）を選出した。会長から同窓会の「三つの役目」（会員の親睦、応援団〈サポータ〉、大学のステークホルダー※）を念頭に、不平不満の発言は極力慎み、前向きの建設的な意見交換に終始してほしいという意をもとに会議がスタートした。

※ステークホルダー＝利害関係者

協議事項①
支部活動全般について

○座長より、支部総会を毎年開いている支部がほとんどであるにもかかわらず、出席状況が思わしくなく苦慮している。しかし、一部の支部では参加者を増やし、出席率を伸ばしているところもある。これらの支部の努力や取り組み・工夫などを披露していただくことにより、これからの各支部運営の参考にしてほしい旨が伝えられた。

<京都支部>より

○低迷状態が続く時期もあったが、幹事の努力により平成26年度には67名の参加があった。その要因として

①支部総会の会場を交通の利便性を考えて、従来の町中から駅前のホテル（本学OBが支配人）に変更した。

②総会実施日を日曜日夜から土曜日夜に変更した。

③会費も一律であったものを、男性、女性・新卒者と区分を見直し、参加しやすくした。

④返信はがきに、「欠席」でも近況報告が書いてあったり、返信があったことに望みを託し、再度電話で出席を促す努力をした（返信はがきは宝物）。

⑤来年は支部設立80周年であり、大改革をして支部長交代を予定している。

<岡山支部>より

○支部の運営にかかわった当時の支部総会参加者は30名程度であった。5年前に支部長となり、手掛けたこととしては、

①過去10年間における総会出席者を調べたり、案内状に参加の意思を記入されていたものなどを抽出し、少しでも出席の可能性のある人に案内状を出す。

②役員には若い方を登用するなど積極的に取り込んでいる。

③地元新聞の行事・催しなどの掲載欄を積極的に利用し、広報活動にも力を入れている。

結果、出席者も徐々に増加の傾向にあり、今後も地味ではあるが前向きに取り組み、70名以上の参加を目標に頑張っている。

<香川支部>より

○今年度は過去最高の48名が支部総会に出席した。まだ取り組み始めたばかりではあるが、四国サミットと称して四国四県での交流がある。成果は未知数ではあるが、今後の活路を開くきっかけとなるかもしれない。支部として取り組んでいることには、

①役員で手分けして、できるだけ直接電話をかけることにより、はがきの短所を補うようにしている。

②会費をできるだけ安くし（現在は5,000円）、参加者の負

担を軽くするようにしている。

③役員の綿密な打ち合わせを怠らない（現在、年間3～4回）実施するようにしている。

④職場の若手の同窓メンバーに出席を呼びかけてもらっている（現在大手住宅メーカー香川支店長がいる）。

支部総会は出席の人数を競うものではないが、賛否はあろうが出席率の高いところなどを表彰してはどうだろうか。また、大学はスポーツにも力を入れるなど、側面的な応援をしてほしい。

<高知支部>より

○四国サミット（前出）などに参加することによって、他支部の運営などを参考にして頑張っている。

<大分支部>より

○昨年度久し振りに支部総会を再開することができたが、初回の参加者も高齢になっている。先輩から総会の運営などのノウハウをお聞きし、取り入れるようにしている。

<宮崎支部>より

○3か月に一回の割合で役員会を開いている。

①役員を多くの人に割り当てることにより、総会に関心を持ってもらうようにしている。

②年賀状・暑中見舞状を出すことにより、つながりを強くする努力をしている。

③卒業、転退職などで地元に帰ったなどの情報があれば、連絡を密にする努力をしている。

<豊中支部>より

○支部総会は年1回のみで、その内容は決算報告、行事の活動報告、役員改選（3年に一度）に絞ったものとするが、その他の取り組みにも積極的であり、ユニークな工夫をされたものがある。

①ゴルフ、ハイキング、カラオケ、読書会、麻雀、ボウリングなどを年間複数回開催している。

②総会に出なくても、上記の催し物には参加する人もいる（総会への出席も促している）。

③新卒者には全員、総会案内状とともに各種催し物の紹介を出している。

④案内状は「受取人払い」として発送し、郵送料の節約に役立てている。

⑤活動に興味がある人には、後日案内状を出している。

⑥通信費として1,000円の協力をお願いしている（任意）。

など、長年の取り組みが定着している。

<大樟体育会>より

○総会出席率90%以上の参加は、運動部ということもあり、各支部総会の場合とは一緒にできない。積極的に若い人に事務局を担当してもらって成果をあげている。そのほかにも、

①連絡のほとんどはメールで行うことにより、安くてスピーディに伝達ができる。

②家族にも協力してもらい、物品の購入などは安価で良質のものを購入するように努めている。

③表彰内容の吟味に努めるようにする。

④どれだけ部員に熱意を見せるかにより、スポーツを通して立派な学生を育てていきたい。

<堺支部>より

○駅伝関西地区の予選会などで気がついたことであるが、他大学の応援団に対して本学の応援団はあまりに少なすぎる。全学で盛り上げるムード、取り組みが急務のように思われる。

<三重支部>より

○昨年（平成26年）、当地は駅伝のランナー通過地でもあるため、少人数ではあったが応援に駆けつけた。次に出場権を獲得できた時は、近隣支部にも呼びかけ応援等を盛り上げていきたい。

<奈良支部>より

○各支部の活動状況を聞いたが、当支部でも参加者を増やすために試行錯誤している。その一端として県を4つのブロックに分け、各ブロックにはブロック長・役員を置くことによって、支部に関心を持ってもらうようにしている。若い人（77・78期卒）にも積極的に役員になってもらい、協力してもらっている。ゴルフ大会、勉強会等も行っている。

<税理士大樟会>より

○現在、税理士の資格取得者が200名くらいはいるはず。100名程度は把握できているが、未把握者が多くいるように思う。この機会に全国各支部にも把握に協力をお願いしたい。

<座長より>

○全国支部長会議<平成27年5月23日実施>において、2支部より議題として出されていたうちの一つ「支部長に定年制を設けてはどうだろうか」について、提案を行った北大阪支部より「支部長若返りのためにも、支部長経験10年以上、年齢73歳以上は交代するなど、同窓会全体で大枠を決めて協議してほしい」との趣旨説明があった。この件についてご意見を伺いたい。

<堺支部>より

○定年制の良否は別として、各支部にはそれぞれの事情があると思われる。高齢であっても元気な人もいる。老若それぞれに良い面、悪い面もあり、今後に向けて議論していくことにしては。

<豊中支部>より

○「支部長定年制」のことであるが、各支部で規約の中に入れてはどうか。ただ、年齢で決めてしまうと今の時代に合わず、任期で決めたほうがよいと思う。(支部長5年で本部表彰がある=事務局)

<座長より>

○各支部の事情もあり、ここでは「決」をとるのは差し控えたい。

<岡山支部>より

○初参加者がなぜか次年度には参加しないことが多い。何かよい方法はないだろうか。

<京都支部>より

○同年代の方を並べて着席してもらう。支部長が積極的に話しかけ、周りとの仲を取り持つようにしている。

<神戸支部>より

○初めて参加した人にはいろいろな機会をとらえて、リピートしてもらえるように働きかけている。会費も初めて参加の人には3,000円とし、配慮している。

<福井支部>より

○初めての参加者には会費無料としており、飲みニケーションにまで発展させ、交流を深めている。

<北播磨支部>より

○他大学とのゴルフ対抗戦が7年間続いている。近年、さらに参加大学が増えているが、連続勝利が続いている。連勝記録をさらに伸ばすためにも、若い人の補給に良い意味で燃えている。

<堺支部>より

○7～8年前に、高校の後輩に対して、本学新入学生となった親子を交えて食事会を設定した。そこでは大学入学後の学生生活全般などを話し好評であった。OBも含めたサポートをしてきたが、現在途切れており、早い機会に再開したく思っている。

<岐阜支部>より

○広い県であるため、会場設定に苦慮している。その対策として県内の各所に会場を変えて総会を実施することにより、出会いの場が広がって好評であった。

<姫路支部>より

○本学卒業者には教職についている人が多いと聞いている。兵庫県などにも管理職を含め、かなりの人が勤務していると聞く。先生から声かけをしてもらうのも一つの方法ではないだろうか。

<大樟教育研究会>より

○当研究会は高大連携からスタートしたと聞いているが、現在では小学校の免許も取得できる。採用試験の後押しをすることによって、総会発展の将来にもつながると思う。

<箕面・豊能支部>より

○支部の反省会で支部総会参加者が少ない悩みが出された。解決の一策として、通信費の節約も考慮して役員全員で手分けをして100名（60～70%は通信費の協力者、残りは無作為）を選び、アンケートを持参して自宅訪問をしている（回答率50%程度)。手間はかかるが、その分得ることも多く、会員の基礎固めになっている。その際の回答の一つに"宝塚観劇"の希望があり、支部の行事として受け止め、これからもやっていこうとしている。

<北摂支部>より

○近隣支部（北大阪・北河内・北摂）で「三北会」を結成して、娯楽などを含めた情報交換の場として、発展につなげる努力をしている。

協議事項②
大樟会本部への提案・大学とのつながりを考える

<三重支部>より

○大学が掲げるキーコンセプト、“つながる力No.1”はやや現実味に欠けるように思われる。“ゼミの大経大”、“マナーの大経大”、“就職の大経大”といわれているが、具体性に欠けるように思う。対外的に訴求するには偏差値をあげるべきであり、他大学ではいろいろの工夫を仕掛けている。高校生、保護者などが大学進学でまず参考にするのは偏差値である。高校の教員が生徒に薦めてくれる大学となることが大切である。数字で実績を上げるために、難関資格の取得や大学に入って付加価値を付ける努力を教員の側からも積極的に取り組んでほしい。

<熊本支部>より

○大学進学後、むしろ出口の問題を重視してほしい。資格や就職など、その内容が注目されるとともに、OBの活用策などをもっと積極的にやるべきである。今後10年、20年先にも生き残るためには、大学としての「特色」を出していく必要がある。偏差値が上がっているとはいうものの、やっと昔に戻っただけのことである。同窓会でも本格的に取り組むとともに、大学にはもっと危機感をもってほしい。

<愛媛支部>(全国支部長会議(5/23実施)で提案された2案のうちの一つ)より

○支部の幹事会でも話題となったが、目前の18歳人口の激減期に備えての対策は万全なのだろうか。地味で目立たない、「特色」に欠けるところが気がかりである。激減期にそなえての提案として、学生募集の際に「子弟枠」を設けた推薦入試はできないものだろうか。その理由は、親子で母校愛がもてる、受験生の確保の一助になるとともに、ひいては支部活動活性化につながるメリットも考えられる。

　大学と同窓会（同窓生）あるいは教職員と学生・保護者など、”つながる力”を強調するのであれば”オール大経大”で難局に、しかも全員で早急に取り組む必要があると思い、提案したい。

<座長>より

○同窓会本部に対しても、質問や要望があれば自由に述べて欲しい。

会場となったクロス･ウェーブ梅田

<岡山支部>より

○大樟会理事会の在り方について工夫してほしい。前向きで建設的な理事会であり、「オール大経大」として前に進む会議であって欲しい。

<箕面・豊能支部>より

○同窓生に関する名簿の管理の仕方はどのようになっているか知りたい。（大学総務部で管理。支部には「誓約書」を出してもらい配布している=事務局）

(注)卒業生9.1万人いるも、住所判明分は4.5～4.6万人とのこと。個人・支部の情報などをもとに、より正確な情報にクリーニングしていく。

<東京支部>より

○会員全員（約1,200名）に往復はがきで総会案内を送っている。約10%程度不明で返送されてくるが、返事として返送された情報は、その都度整理している。

<北大阪支部>より

○前同窓会広報担当者より、「澱江」発行、発送などにおける体験談を聞く。

<堺支部>より

○とくに選挙などが近づくと、よく電話がかかる。名簿の流出も考えられるので、取り扱いには注意を喚起してほしい。

○将来、大学は「総合大学をめざすのかどうか」「付属高校を設置するのかしないのか」などが知りたい。

<座長より>

◎入学試験場の見直しなど、まだまだ議論したいことはあるが、今回皆さんからいただいた要望等を整理して、委員会･常務理事会で再検討し、大学に提出したいと思う。そのすべてが聞き入れてもらえるとは思わないが、今回の要望をこれからのスタートとして生かしていきたいと思う。と締めくくられた。

特集❸ 支部の歴史

同窓会支部の誕生を探る

戦後間もない昭和24年3月発行の本学の前身である大阪経済専門学校の同窓会報第1号（謄写版刷り）には、次の支部名が記載されています。

東海支部（支部長　岡田佐市）
神戸支部（支部長　外海波吉）
姫路支部（支部長　永川仁一）
岡山支部（支部長　浜賀市）
広島支部（支部長　田辺忠司）
石川県支部（支部長　中川清）

つまり、この時点での同窓会の支部は6つであったということです。さらに、続けて「支部の状況はできるだけ詳しく本部にお知らせください。また、東京その他、支部未設置の地方は、この際、結成していただきたいと思います。また、支部の総会の折には、なるべく母校から先生方にも出席していただくよう取り計らいますから、その節には本部へご連絡ください」と記されています。この頃が同窓会支部設立の草創期であったと言えます。

ちょうどこの頃、大阪経済大学経済学部経済学科第一部（新制・4年制）の設置が認可されています。そして、旧制第六高等学校校長の黒正巖博士が学長に就任されています。以下に、前記の支部を中心に設立の経緯を記した資料を紹介します。

東海支部発足は昭和22年4月

昭和24年、新制大学となって間もなく発行された大阪経済大学同窓会刊行の同窓会報臨時号の「支部だより」には、東海支部の紹介として「東海支部生まれて茲に僅か二年半、其れでも各支部の内最も早く設立された事は支部会員の誇りの一つです。毎年春秋二回総会を開催、現在迄に五回の記録で追々内容の充実を計って参りました。現在、愛知、岐阜、三重、静岡の四県を包容し、会員数101名を数えて居ります。一昨年（昭和22年）四月誕生と同時に会員名簿を印刷致しましたが、色々誤謬、移動もあり、近く新名簿を作成配布する予定ですから関係各位は是非支部事務所へ御連絡下さいます様本紙を通じ御願致します」とあります。

そして、時代は流れ、昭和41年5月発行の「澱江2号」の「支部だより」の東海支部の欄に「東海支部の紹介をくりかえすことは恐縮ですが各地支部の内最古の歴史を有していることは支部の最大の誇りとするところで、終戦前後、名古屋市役所に奉職して名古屋市史の編纂に従事しておられた前教授上田藤十郎先生の肝煎りで昭和二十二年に発足、第一回の支部総会を栄町南の五金サロンで開催したことなど未だ昨日の如く記憶に新しいのであるが以後毎年一回開催して、早くも本年は第十九回支部総会を近日開催の運びになった次第であります。来年は創立二十周年に当るため支部の記念行事も企画したいと存じております。その際は母校はじめ各地兄弟支部には大いにご協力のほど本紙上を通じて今からお願い申し上げる次第であります。さて、前第十八回の支部総会においては「母校の近況」と題する８ミリを映写して母校の躍進振りを鑑賞し、議題として愛知、岐阜、三重、静岡の四県にまたがる東海支部を各県毎に支部を分割すべきやの議案を上程したのですが、岐阜および三重の会員より現状維持の声多く、結局従来通りにて存続することとなりました」という一節があります。

東海支部は後に現在の愛知支部となりますが、この時点では、愛知、岐阜、三重、静岡の四県にまたがっていたことがわかります。

次に、神戸支部の歴史を記述した資料を探してみました。昭和58年10月発行の「澱江19号」の「支部だより」に「35年間受け継がれた“ふれあいの場”」と題する記事がありました。その一部を抜粋します。

「神戸支部は、現在、1500余名の会員を擁しています。戦後間もなく、外海波吉氏（1）、長谷川平八郎氏（6）、三好悌彦氏（6）、比企重氏（7）が中心となって外海波吉支部長を選び、黒正巖先生のご臨席を仰いで支部を結成したのは昭和23年の夏でした。既に35年が経ちます。その後若干の停滞があったものの、昭和40年4月、三好悌彦氏（6）、長尾晃氏（8）、長島隆氏（9）、南部俊一氏（9）、藤綱亮三氏（9）の諸氏が支部に活力与えようと集われ、三好氏が二代支部長の任につかれました。そして、相互の親睦と社会的地位向上を誓った訳であります。昭和44年、長島氏（9）が三代目、昭和48年、田中義一氏（10）が四代目、昭和55年、町田達治氏（12）が五代目の支部長となり現在に至っています。昭和43年、西宮支部が分離独立、東播磨支部も新しく発展、それぞれ力強く活動しております。　支部長　町田達治」。ここでは、支部設立は昭和23年夏となっています。そして、

名古屋市役所

神戸支部には現在の阪神支部の一部（西宮市）、東播磨支部（加古川市一帯）が含まれていたことがわかります。

そして、平成元年に発行された「同窓会のしおり」には、現在も“伝統ある支部”として知られる姫路支部について「昭和23年創立の最古の支部」として、次のように紹介されています。

「過去に経験したことのない新しい時代の到来で、今迄の価値観とか世界観は通用しなくなり、経済学も理論と現実が遊離し、今は何をすべきか模索し苦悩している時代と言えるのではないでしょうか。さて、戦後初代学長黒正巖博士は2ヵ月に一度位の割合で姫路へ来訪され、当地方の会社工場であの独特の漫談的経済講演をされ、大好評を博されました。その内昭和23年1月18日黒正博士の臨席の下に同窓生約20名が出席、明和ホテルにおいて姫路支部を結成致しました。爾来満41年を経過、支部の中では最古の支部と自負しております。同窓生も約700名の多数に達しております。

毎年支部長が理事会に出席し、そこで提出される議案を基礎にして幹部会を開き、意見を統一し、10月上旬に支部総会並びに懇親会を開催するパターンが最近定着致しました。創立40周年の総会並びに懇親会は、去る昭和63年10月21日（金）北京閣にて同窓会名誉会長渡辺達好氏外2名を迎え、同窓生41名の出席を得て有意義かつ盛大裡に開催致しました。

支部としては、去る26年以来姫路で地方試験場がもたれましたので、これに微力ながら全力を挙げて協力させて頂いており、既にその回数も37回となっております。同窓生数の割に総会の出席者数が少ないので、これには支部として非常に苦慮致しており、同窓生の支部発展のための率直な具体的意見を大いに歓迎致しております。支部長　永川　仁一（昭和15年　6回卒）」とあります。ここでは支部設立は昭和23年1月18日となっています。また、姫路における地方試験場の設置や支部総会への出席者が少ないといった、今も変わらぬ課題が紹介されています。

広島支部は昭和13年には存在したという記録。さらに…

次に、平成2年12月発行の「同窓会のしおり」に「支部発足満40周年記念大会を終って」と題して、岡山支部に関する以下のような一文が掲載されております。

「支部発足記念大会は、去る平成2年6月2日（土）、3日（日）の両日、念願の100名を超す会員出席の下に、熱気溢れる盛大な大会であった。

岡山城が遠望されるプラザホテル「鶴鳴の間」において、本部より会長・事務局長、母校より、理事長・学長先生・黒正光様・他数名の来賓をお迎えして、支部発足以来初めての充実・厳粛な記念式典が開催されました。

会員および関係役員の方々には約1年にわたり、新名簿編集、大会準備等に終始特別のご理解とご協力を賜り、改めて関係ご一同様に対し心から感謝し、厚く御礼を申し上げます。

わが母校と同窓会、そして岡山支部1,200名会員代表有志が満

姫路城

堂一体となった「姿」と、老・壮・青出席者一同の喜びに満ちた「顔と顔」、これこそが「感激」であり、支部発足満40周年の「意義」であったと深々感じました。

この感激、「意義」を今後、来年、再来年と、若い会員諸君を中心として、21世紀に向かって、母校および同窓会本部と共に「団結」「成熟」させて行こうではありませんか！」

因みに、香川支部は、平成2年12月発行の「同窓会のしおり」には、同年、香川支部結成40周年を迎えたという記述があります。つまり、香川支部は岡山支部とほぼ同時期、昭和25年頃に結成されたことになります。

ここで、注目すべき資料があります。先程、紹介した大阪経済大学同窓会刊行の同窓会報臨時号（昭和24年発行）の「支部だより」に、広島支部の紹介として次のような記述が残っています。

「顧みますに支那事変の始まった翌年即ち昭和13年7月30日当支部は母校より建林教授を迎え広島呉在住の同窓生5名に、広島県出身の在校生多数の参加を得て呱々の声をあげてから今年で満11年を経過し、宇品を有する当市を通過する他府県の同窓生の歓送に支部として活躍したのもほろにがい思い出の一つとなりました。

昭和14年の師走も半ば過ぎた或る晴れた日、中村教授を迎え宮島参拝後懇親会を兼ねて支部総会を広島市の近郊二日市町で催した時の顔ぶれは其後の国情の一大変化により今はなく、其後は定期的な会合を持つことはできなかった」。

以上のように、限られた資料ですが、昭和22年4月に東海支部が誕生、その後、昭和23年から25年にかけて相次いで支部が誕生しております。しかし、さらに時代を遡り、本学がまだ昭和高等商業学校であった頃、すでに広島には支部が存在していたようです。それは支部というより「県人会」のような組織であったかもしれません。さらに、正式な記録は残っていませんが、昭和11年頃には、「京都人会」という集まりが存在したという話も伝わっています。

一昨年（平成26年）11月、兵庫県に川西・川辺支部が誕生し、現在、全国の支部は51支部になっています。

※「」内の漢字は、一部現在の常用漢字に改めています。

大阪経済大学同窓会設立80周年記念特別インタビュー

本学元理事長　井阪 健一 氏

「同窓会設立 80 周年を迎えて」

井阪（いさか） 健一（けんいち）氏　略歴

昭和 6年 2月　生まれ
昭和28年 3月　大阪経済大学経済学部卒業
昭和28年 4月　野村證券株式会社　入社
昭和47年11月　同　取締役
昭和58年11月　同　取締役副社長
昭和58年12月　野村證券投資信託委託株式会社　取締役社長
平成 5年 7月　東京証券取引所副理事長（平成11年6月まで）
平成11年 6月　平和不動産株式会社　取締役社長
平成11年 7月　学校法人大阪経済大学　理事長
平成17年 7月　同　理事長退任

本学は、昭和7年4月に浪華高等商業学校として開設され、それから3年8カ月後の昭和10年12月1日、同窓会の設立総会が大阪難波の高島屋の特別室で開かれました。そして昨年末、ひとつの区切りとなる同窓会設立80周年を迎えました。

同窓会設立80周年記念号である本号の特集に、本学の卒業生で、その後、評議員、理事、さらに理事長という重責を担い、数々の功績を残され、本学の“中興の祖”とも評される井阪健一氏にご登場いただきました。

◆本日は、お忙しいなか、急遽、お時間をお取りいただき、ありがとうございます。本学の同窓会（現・大樟会）は本年（平成27年）12月1日、設立から80周年を迎えます。本日は、永年、本学発展のために尽力されました井阪健一元理事長をお迎えし、母校に対する思いなどを語っていただきたいと思います。

まず、ご出身地をお伺いいたします。

井阪　三重県の伊勢市です。旧制の県立宇治山田中学校に入学したのですが、在学中に新制の県立宇治山田高等学校になりました。僕は新制の卒業生の第一期生になります。

◆本学に入学された経緯はどのようなものでしょうか。

井阪　旧制の中学では、戦争の影響で勉強もしていなかったので、上の学校に進むつもりはありませんでした。しかし、親父や兄から大学は出ておけ、と言われましてね。ただ、その頃にはすでにほとんどの大学の入試は終わっていて、残っているのは大経大と東京の法政と明治ぐらいでした。それで大経大と法政を受け、幸いどちらも合格しました。僕は、東京に行きたかったのですが、親父から「お前は、東京に行けばどこに飛んでいくかわからない。親の監督の目が届く大阪にしておけ」と言われましてね（笑）。親父は大阪経済大学という校名から、国立か公立の学校だと思っていたようです。僕は、当時の学長であった黒正巖先生の名前も知らないし、それくらいの認識でした。しかし、大経大に入学して、結果として良い大学を選んだな、という実感を持ちました。

◆それはどうしてですか。

井阪　一語で言えば、私の青春期は大経大時代と共にあったと言えます。上新庄駅前に医者で大地主の井上忠雄さんという人の大きな屋敷があり、そこに下宿させてもらいました。そこには、高知の中村出身の上岡覚さん、島根の安来出身の陶山益三さんという1年先輩がいて、一緒に自炊生活をしました。それは貴重な経験でした。

◆勉強もされたんでしょうね。

井阪　いやいや余りしませんでした（笑）。昼間は大学とアルバイトが半々、夜はダンスです。ただ、大経大に入って、まず洗礼を受けたのがマルクス経済学でした。当時はマル経全盛の時代でね。本も読まない、勉強もしないくせに、マルクスがどうの、ヘーゲルがどうのと屁理屈をこね回していましたね（笑）。そして、社研（社会科学研究部）に入ったのですが、自分の考えとは違うと感じたのですぐにやめました。その頃、経営学研究会というサークルを作ろうという動きがあって、僕は、そちらに移りました。大阪の町の中小企業をまわって、資本金の調達、従業員対策、商売の利益率はどれくらい、というようなアンケートをとりに回りました。大阪商工会議所など経済団体の下請けなどもやりました。そんな時期でした。伊勢人にはのんびりしたところがあるので、世の中に出る前には、そういう実社

会を知っておいた方が良いという気持ちがありました。

◆それで証券業界に進まれた。

井阪　4年生の夏休みに実家に帰っていたら、前期の『授業料が未納につき、至急納入されたし』と通知が来て、母からお金をもらって、学校に納入しに行きました。たまたま、そこに当時の四大証券会社のうち野村證券と日興証券の求人の貼り紙がしてあり、試験を受けたら運良く両社とも合格し、野村證券に入社しました。

◆当時の証券業界は…。

井阪　僕が就職試験を受けたのは昭和27年の夏頃ですから、朝鮮動乱の最中で株式はブームでした。ただ、昭和28年の入社直前にスターリン暴落があって、それから1年半ほど低迷が続きました。その後、昭和30年代、40年代の高度経済成長期に入っていきます。結果として、恵まれた職に就いたということです。

◆野村證券のお仕事が忙しかったと思いますが、本学との関わりが強くなられたのはいつ頃からでしょうか。

井阪　野村證券の役員を経由し、野村投資信託の社長になった時期に大学から理事就任の要請がありました。結局、学外理事と理事長で20年くらいやりました。毎月、理事会に出席するため、東京と大阪を往復することになりました。東京証券取引所の副理事長のときに大学の理事長の話があったのですが、東証の副理事長は公職ですから大学の理事長と兼務することはできませんので、それを退いてから平成11年7月に大学の理事長に就任しました。

◆本学は平成13年に創立70周年を迎えましたが、ちょうど理事長在任期間中でしたね。

井阪　70周年の時は、大経大をもっと社会に開かれた大学にしようということで、経済界の著名な社長さんとか、政治家やタレント等も含めて70周年記念の公開講演会を毎週1回、1年間続けました。もっと続けてほしいということで、結局、1年半で150人くらいの有名講師を呼んだでしょうか。毎週、講演会があるときは、大阪に来てました。

◆募金集めはたいへんだったのでは。

井阪　財界の方々にもご協力をお願いしました。それで70周年事業を行ったのですが、大経大が募金活動を大々的にやったのはあの時が初めてだったのではないでしょうか。財界も好意的でした。大経大の伝統と野村證券という証券業界のトップ企業にいましたから、財界からのご協力がいただけたのでしょう。日本経済が成長過程にあったということが大きな背景ですが。

◆理事長を退任され、10年が過ぎました。現在の本学に対する思いはどのようなものでしょうか。

井阪　大阪経済大学という校名にプライドを持ち続けています。僕は、初めて伊勢を出て、上新庄で自炊生活し、アルバイトを通して世の中の仕組みはこんなものかと自覚もできました。学校へ行けば、友人たちが、マルクスだ、ケインズだとやっている。また、一方では、今の吉田内閣のやっていることはおかしいぞ、と新聞記事をもとに議論百出という時代でした。そんな環境のなかで、僕の青春の心も刺激されたのでしょうか?

井阪氏と田村大樟会会長（左）

◆ご自身の成長に本学が一役買ってくれたということですか。

井阪　そうそう。「触発された」という言葉ですね。それは大いにありますね。

◆同窓会（大樟会）に対する期待はございますか。

井阪　私は理事長を経験しましたし、大経大に対する期待は深いものがありますが、理事長とかの職責に期待するよりも、同窓生、OBが、大経大の諸々のイベントに積極的に協力し、参加し、サポートするという姿勢を明確に打出した方がいいのではないかと…。ありふれた言葉だけど、「母校愛」、そういうものをもっともっと熱い思いに変える具体的な行動として大経大の行事や経営に参加するべきだと思います。

◆そういう役割を同窓会に求められるということですね。

井阪　それは同窓会に期待するし、OB全体が持つべき自覚だと思います。大学の経営は理事会、教授会、同窓会が各々の立場で三位一体となって「協力し合う」。そして諸々の問題を解決していく。それが広い意味での「母校愛」だと僕は思います。

◆大学の関係者が協力する姿勢が大事だと…。

井阪　皆がそれぞれの思いを込めて大経大をよくすればよい。“Who is right?”（誰が正しいか?）ではなく、“What is right?”（何が正しいか?）です。皆がお互いの立場を認め合い、称えながら切磋琢磨していくことが理想です。学園というのは、そういう社会です。企業は利潤追求だけど、大学というところは、知的研究の場であり、教育機関です。徹底的に大経大は“What is right?”、そして何を為すべきかの精神を理念として持ち続けていくべきだと、私は考えています。

（聞き手　大樟会広報部　内田敏雄）

（あとがき）
平成27年9月9日（水）、台風18号が関東地方に大雨を降らせました。この日の夕刻に東京銀座で開催された大樟会東京支部の総会終了後、突然のインタビュー申し出にもかかわらず、井阪元理事長は気持ちよく応じてくださいました。わずか40分程の短い時間でしたが、その一言一言に母校に対する熱い思いを感じました。

当日は、大樟祭も開催

受付風景

吹奏楽総部による
オープニングセレモニー

学歌斉唱（グリークラブ）

会場風景

進木伸次郎実行委員長に
よる開会宣言

司会の小林真人副会長

式辞（佐藤武司理事長）

式辞（徳永光俊学長）

式辞（田村正晴会長）

祝・設立80周年！同窓会の節目の年に集う

大阪経済大学2015ホームカミングデー・同窓会設立80周年記念総会・懇親会、盛大に開催

平成27年11月1日（日）午前11時から、ホームカミングデー・同窓会設立80周年記念総会が開催された。今年は、大学の前身・昭和高等商業学校の同窓会が設立されて80年となる記念の年であり、全国各地から663名の同窓生らが参加、会場は満員となった。会場のD館11教室では、開会セレモニー、式辞に次いで特別表彰と感謝状の贈呈があり、その後、記念講演会が行われた。午後は同館エントランスホールで懇親会が開かれ、参加者が旧交を温めた。キャンパスでは大学祭が開催されており、同窓生と学生が和やかに交流する姿も見られた。

記念すべき同窓会設立80周年を迎え 母校と大樟会の更なる発展を祈る

午前11時、開会に先立って吹奏楽総部12名が軽快で華やかな演奏を披露。進木伸次郎実行委員長が開会を宣言し、小林真人副会長の司会で総会が進行した。

グリークラブと参加者による学歌斉唱後、学校法人大阪経済大学・佐藤武司理事長が式辞として「同窓会の初代会長は、黒正巖初代学長。80年を経て、卒業生は9万人を超えた。平成30（2018）年から少子化が始まる。今後の発展をめざし大学改革を進めたい」と述べ、大樟会会員に支援や助言を求めた。

次に徳永光俊本学学長が壇上に立ち、式辞のなかで、前日に行われた「フレンドリー・ディスカッション」（卒業生

特別表彰状を受ける
佐藤武司第10代会長(左)

●特別表彰
陰下嘉典第 7 代会長
田中富三第 8 代会長
中平秀覧第 9 代会長
佐藤武司第10代会長
●感謝状
下土井康晴前神戸支部長

祝辞(田中富三元会長)

大阪メールクワィアーによる合唱

鏡開き(左から、井阪元理事長、田村会長、佐藤理事長、徳永学長、田中元会長)

司会の大学総務部・
高濵悠紀さん

受付会場の横では大学茶道部による野点、琴の演奏も

乾杯(井阪健一元理事長)

上新庄オールスターズのジャズ演奏

多くの参加者で盛り上がる懇親会会場

学歌・逍遥歌
(福田敏裕元応援団副団長)

万歳三唱
(山本隆造大樟体育会会長)

謝辞(北村實本学理事・教授)

と就職希望の学生の相談会)、「ZEMI-1グランプリ」の決勝戦、学生の自主的なボランティア活動について伝え、「学生の成長を確信している。大学の100周年に向け、『つながる力No.1』を一層高めていきたい」と決意を述べた。

続いて、田村正晴大樟会会長が「同窓会設立80周年を迎えた。未来に飛躍する、末広がりの年と考えたい。戦後の経営難の折には大学の依頼で同窓会長が募金集めに奔走したことがある。現在の大学サバイバル時代においても、大学の行く末に深い関心を寄せて歩みたい」と強く呼びかけた。

このあと、永年にわたって母校や同窓会の発展に力を尽くされた4人の元同窓会長（別掲）に特別表彰状、永く支部長を務められた下土井康晴前神戸支部長に感謝状が贈られた。特別表彰を受けた田中富三第8代会長は謝意を述べた後、謦咳に接した黒正巖初代学長の思い出に触れ「先生は、学徒動員に行く学生に『読書だけは続けろ』と訓辞されたという。イデオロギーにとらわれない、真のリベラリストだと思う」と感慨を述べた。恒例の記念講演は、岡田晃本学客員教授が「日本経済は復活できる!!　～アベノミクスと経済再生の行方～」をテーマに講演した（別掲）。

午後は懇親会に先立ち、全日本合唱コンクールで全国大会に出場した本学グリークラブOBOGと在校生部員で構成される大阪メールクワィアーによる合唱が披露され、大学総務部の高濵悠紀さんの司会で懇親会がスタートした。前垣吉男さん（36回卒）が専務取締役を務める広島県の蔵元、賀茂泉酒造の酒樽を用い、「ヨイショ」のかけ声と共に鏡開きが行われた。続いて、井阪健一元理事長の「昇り龍のような、大学の発展を祈って」という言葉で乾杯、会場は華やいだ雰囲気に包まれた。

会場では、軽音楽部OBOGのバンド「上新庄オールスターズ」がジャズを演奏し、穏やかな歓談の時が流れた。終盤には、福田敏裕元応援団副団長（37回卒）による演舞と共に学歌・逍遥歌を唱和し、山本隆造大樟体育会会長のリードで万歳三唱。最後に北村實本学理事・教授が「本学の歴史を調べていたが、戦後に同窓会が大学に寄付したことを知らず、田村会長のお話が印象に残った」と話し、参加者に謝辞を述べた。同窓会員は、互いに「来年も元気で再会しよう」と笑顔で誓い合った。

『日本経済は復活できる!!
～アベノミクスと経済再生の行方～』

講 師／**岡田 晃**先生　大阪経済大学客員教授

総会の最後に、岡田晃本学客員教授により、「日本経済は復活できる!! ～アベノミクスと経済再生の行方～」をテーマとした記念講演会が開催された。同氏は、日本経済新聞社編集委員、テレビ東京解説委員長を経て、現在は経済評論家として活躍中。日本経済について分かりやすく解説し、講演の最後は「日本の底力に自信を持とう」と結ばれた。

■日本経済の大転換が始まった

本学の同窓会が設立された昭和10（1935）年は、日本経済にとって重要な時期にありました。大正12（1923）年に関東大震災が起こり、昭和に入って金融恐慌、世界大恐慌、昭和恐慌と国内外で経済的危機が続きます。これに対して、平成2（1990）年のバブル崩壊、その後の金融危機、リーマン・ショック、東日本大震災が起こった現代は、やや共通したところがありそうです。日本の先輩たちが乗り越えてきた苦難の歴史の中から、何を学ぶことができるでしょうか。

日本経済は2～3年前まで、希望が見えない状況にありましたが、アベノミクスにより一定の効果がもたらされ、長いトンネルの出口が見えてきました。アベノミクスは、近年の歴代内閣が講じてきた景気対策とは異なるように見え、奇跡のカムバックが始まる可能性が展望できます。

バブル崩壊後、政府の経済対策や米国のITバブルにより、日本経済は3度、小さな景気回復を起こします。しかし、それは一時的なものであり、構造的な経済の建て直しには至りませんでした。アベノミクスの目的は、長期低迷の要因となるデフレ脱却と、日本経済の再生。現在、景気回復が持続し、長引いていた不良債権問題も解決済みです。過去3度の回復期には緊縮財政への転換やゼロ金利解除など引き締め政策がとられましたが、これは時期尚早。アベノミクスでは引き締め政策を考えていません。

一方、上場企業が過去最高益を更新し、全体的には企業の競争力が回復して、積極経営に転じつつあります。

■日本経済復活の展望とアベノミクスの課題

日本を訪れる外国人数は平成24（2012）年から右肩上がりの傾向を見せ、平成25（2013）年は約1,340万人。今年、平成27（2015）年は9月の時点で約1,448万人を数え、この伸び率であれば年間1,900万人に達する見込みです。政府は東京五輪の開かれる平成32（2020）年までに2,000万人とする目標を立てていましたが、平成28（2016）年には達成する勢いです。五輪との相乗効果も期待でき、ホテルや観光施設の雇用、建設投資、交通インフラ整備などが進み、経済効果は非常に大きいでしょう。

アベノミクスは「新3本の矢」を打ち出していますが、法人税の引き下げや規制改革といった成長戦略の充実、財政健全化と経済成長の両立、地方経済の活性化など、まだまだ課題があり、経済再生は道半ばです。

実は、日米経済関係と安保体制は表裏一体にあります。90年代の冷戦崩壊後は、米国による対ソビエトの警戒感が薄れて日本を軽視し日米貿易摩擦が激化し円高に。9.11やイラク戦争が起こると同盟国としての日本を重視し円安に。中国が強大化した現在は日本の役割を再認識し円安を容認しています。つまり、米国の対外政策、米国の対中政策は為替相場と日本経済の大きな方向を左右することに注視する必要があります。

■「何を失ったかより、何を持っているか」

冒頭の80年前の話の通り、日本経済は幾度も困難を乗り越えてきました。バブル崩壊後の日本企業は、危機を乗り切ることで、むしろ強くなったと言えます。日本の底力は失われてはいなかったのです。技術力とクォリティの高さや安全性、きめの細かさなどが再認識され、海外の日本製品などへの評価は高まっています。企業の構造改革もまた、海外で評価されています。日本の底力に自信を持ち、経済の大転換に合わせて、思考回路を転換しましょう。

最後にパラリンピックの代表選手・佐藤真海さんの言葉をお伝えします。「重要なことは、何を失ったかではなく、何を持っているかだ」。彼女は骨肉腫で右足を切断しましたが、その後、陸上選手となり、パラリンピックに3度も出場。日本経済も、バブル崩壊で多くのものを失いましたが、それぞれが自分のビジネス、企業の強みを伸ばして頑張っていきたいですね。

熱心に聴講する会員の皆さん

各支部、同期会、クラブOB、ゼミ同窓会の皆さん

●懇親会会場にて

80歳以上の皆さん

30期の皆さん

北大阪・北摂・北河内の皆さん

税理士の皆さん

●懇親会会場にて

34期の皆さん

32期の皆さん

山岳部の皆さん

箕面・豊中・池田の皆さん

22・23・24期の皆さん

●懇親会会場にて

伊丹・川西・神戸の皆さん

各支部長の皆さん

京都・滋賀・奈良の皆さん

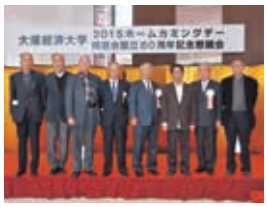
37期の皆さん

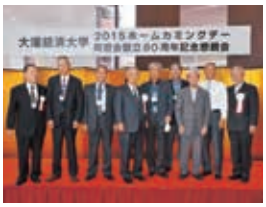
日本拳法部の皆さん

●懇親会会場にて

大学院の皆さん

陸上部の皆さん


ハンドボール部の皆さん


応援団の皆さん

●総会後別会場にて

税理研究会OB会

●総会後別会場にて

52期生会

43期生会

37期生会

30期生会

32期生会

●総会後別会場にて

大樟体育会

とりあえず34期会

山本恒ゼミ

徳永ゼミ

中村ゼミ

●総会後別会場にて

草薙ゼミ

高松ゼミ

難波ゼミ

29期の皆さん(ひでよしにて)

30期の皆さん(ひでよしにて)

各支部のふるさと自慢

わがまちイチオシ

全国各地で、地域のあり方を見つめ直そうという機運がますます高まってきたように思われます。そこで、全国各支部に依頼し、「これぞ、わがまちのイチオシ」というものや「ふるさとで自慢できるもの」などを自由にお書きいただきました。

北海道の収穫祭　北海道支部

平成20年にスタートした「さっぽろオータムフェスト」は毎年9月中旬に開催され、昨年は100万人以上が来場しました。広大な北海道各地の逸品を「食べ尽くしたい！」と思う観光客の方々にイチオシのイベントです。札幌市中心部の大通公園に、農畜産物、加工品、ワイン・日本酒などが集まります。ご当地グルメの販売ブース、地元食材を使った飲食店、道内の100を超える市町村が出店し、人気店のシェフが料理を提供する「さっぽろシェフズキッチン」などがあり、全国各地からファンが訪れています。食いしん坊の皆さん、お腹を空かしてお越しください。

幹事　鵜飼泰正（51回）

京都紫野今宮神社　京都支部

京都市北部の紫野にある今宮神社は、良縁を願う女性に大人気の『お薦めスポット』です。神社の氏子である八百屋の娘『お玉さん』は、八百屋の娘→下級武士の養女→尼僧の侍女→その尼僧が将軍家光の側室になったため大奥へ→大奥の女中から家光の側室に→生まれた子供が将軍綱吉にと、とんとん拍子に出世していきます。この様に八百屋の『お玉さん』が『輿』に乗るほどに出世した様子を『玉の輿に乗る』と称します。社務所で受けられる『玉の輿守』は大人気アイテムで、休日には求める女性の行列ができるほどです。なお、お帰りには門前の茶屋で必ず『あぶり餅』を食してください。店先で焼きたてのお餅はほんのり甘くて、旅の疲れを癒してくれること間違いなしです。　支部長　田中伸治（45回）

福井県立恐竜博物館　福井支部

福井県立恐竜博物館は福井市の東、約30キロの勝山市村岡の丘の上にあり、卵型の巨大な銀色のドームが遠くから望めます。4,500平方メートルの無柱空間には40体を超える恐竜の全身骨格が常時展示されている「世界の恐竜ゾーン」のほか、地球科学の歴史や化石、地球を構成する岩石、鉱物を展示する「地球科学ゾーン」、46億年の生命の進化をジオラマで展示する「生命の歴史ゾーン」があります。展示内容は量、質ともに極めて高く、日本を代表する恐竜博物館であり、カナダのロイヤル・ティレル古生物学博物館、中国の自貢恐竜博物館と並び世界の三大恐竜博物館と称されています。JR福井駅下車、えちぜん鉄道に乗り換え、勝山駅からコミュニティバスまたはタクシーで約10分。

支部長　石橋隆夫（32回）

世界に冠たる「国立循環器病研究センター」　北大阪支部

母校から北へ車で20分。吹田市北千里の閑静な住宅街に「国立循環器病研究センター」（国循）があります。開院は1977年ですが、今や世界最高水準の循環器病治療を可能にする病院として世界中から注目を浴びています。

心臓病、脳卒中、大動脈を含む血管疾患、高血圧症などの循環器病の制圧を目指し、「心臓」と「脳」の最先端集団が連携し、“救える命をもっと救うために”一分一秒の戦いに日夜挑んでいます。心臓移植や人工心臓などの治療ではわが国の治療の3分の1を手掛け、心臓移植では2013年2月現在53名の方が元気に活躍されておられます。15歳未満の小児の心臓移植や臓器提供の受け入れ、移植も日常行なわれており、2001年には世界でもまれな「重症心不全・移植病棟」が設置されました。

国循では10年、20年後の医療に向けた病院と研究所との一体的整備を図るため、2018年、新大阪駅に近い「吹田操車場跡地」に全面移転し、国際的な医療クラスターを目指します。　支部長　平田義行（31回）

高槻まつり

北摂支部

第46回高槻まつりが、平成27年8月1日(土)、2日(日)に灼熱の太陽のもと行われました。

昭和45年、大阪万博の年に始まり46回目となりました。高槻まつりは多くのボランティアで支えられています。暑さでヘロヘロになりながら私も参加してきました。高槻音頭の総盆踊り、ちびっこみこし、パレード、高槻ウエーブが繰り広げられました。高槻市役所正面大通りにはズラリと祭提灯が飾られ、夜店・縁日が開かれました。

今回は東日本大震災復興支援として「被災地へ元気を送ろう」を合言葉に、陸前高田市の氷上太鼓へ義捐金を寄付したそうです。(現地の岩手日報社・東海新報等にも大きく掲載されました)

高槻まつりは、昔は“ええじゃないかまつり”と呼ばれていました。(歌：島倉千代子)

♪ヤーアレェ　高槻城下はヤーアレェ　冬は寒天　夏トコロテン
ヤーアレェ　笛と太鼓でエーエエー日が落ちる　ヤレサヨーイ
ヨーイーヨー♪

この歌詞のように、高槻では昔から冬の風物詩として寒天干しが有名です。今の高槻音頭とは歌詞が変わっていますが、昔も今も元気一杯の老若男女が思いっきり夏の暑さを吹き飛ばしています。

副支部長　細井三郎(35回)

大阪国際空港の圧巻

伊丹支部

伊丹市に大阪国際空港があります。3,000ｍ滑走路の完成後は大型の国際便が離発着する姿は圧巻でした。しかし当初のDC8やボーイングのジャンボ機の騒音は本当にすさまじく、空港撤去が大きな課題になっておりました。

そのため伊丹市のイメージは、空港があり、飛行機騒音のまちといわれていました。しかし、今では国内線のみで、エンジン音も非常にソフトな音になり、あまり気にならなくなりました。

さらに滑走路の伊丹市側は防音堤がスカイパークとして公園化され、身近に旅客機をみることができる場所として、現在の伊丹を象徴する場所として、多くの親子連れ、アベック、カメラマンが訪れ、土日は駐車場も満杯になっています。

代表幹事　瀧内和之(35回)

勝尾寺の『勝ちダルマ』

箕面･豊能支部

大阪府箕面市には1300年の昔より勝運の寺として信仰されている勝尾寺(かつおうじ)があります。正式名は応頂山勝尾寺といい、歴史は古く、草創は奈良時代の末期に遡り、古流記によると神亀四年(727年)です。大阪の真北に位置し箕面国定公園の中心にあり、西国三十三所の第二十三番札所で、また、紅葉でも有名で約26万平方メートルもの境内を美しく彩ります。

“人生のあらゆる場面に勝つ寺”として、受験・厄除け・病気・スポーツ・商売・選挙・芸事などに対する参拝者が訪れ、“勝ちダルマの寺”としても知られ、願いが叶った勝ちダルマを奉納する棚もあります。境内には小さな勝ちダルマが色々な所に点在し、お土産には勝ちダルマ、金太郎飴もあります。

会計　吉仲美智子(68回)

宝塚のシンボル「花のみち･手塚治虫記念館」

阪神支部

宝塚駅から宝塚大劇場を結ぶ段葛(だんかずら)型の道路で、劇場開場により造成された劇場のイメージを象徴する道です。

春の桜をはじめ、四季おりおりの花々が植えられ、人々の憩いの歩道でもあり、歌劇ファンの方々のフォト・スポットにもなっています。また、平行したショッピング街、花のみち1番館・2番館は、2000年の改修時にオープンしました。

この花のみちを通り抜けると、手塚治虫記念館があります。宝塚市で約20年間を過した彼の生涯を称えて、ここに設立されました。生い立ちから、貴重なコレクションまで見ることができ「自然への愛と生命の尊さ」を基本テーマとするアニメ・マンガ・ミュージアムです。

支部長　木岡良郎(36回)

野崎観音　慈眼寺

北河内支部

“野崎参りは、屋形舟で参ろう”と東海林太郎が歌った「野崎小唄」や、近松半二が書いたお染・久松の悲恋物語、近松門左衛門の「女殺し油地獄」などで知られる野崎観音・慈眼寺は、今から1300年ほど前、大仏開眼のため来朝した婆羅門僧正が行基に彫らせた観音様を安置したのがこの寺の始まりと伝えられている。

これまで何度も戦火にあって焼失したが、元和2年(1616)青厳和尚がこの寺を復興し、元禄宝永(1688～1710)頃から病や、縁結びのご利益がかなうと『野崎参り』が盛んに行われるようになった。

JR学研都市線「野崎」駅を下車して徒歩15分。背後の飯盛山山頂からの展望もさることながら、一帯に広がる楠木正行像や飯盛山城址などを巡るハイキングコースも人気があり、休日は大変な賑わいを見せている。

支部長　森川義一(25回)

日本三奇「石の宝殿」

東播磨支部

東播磨支部には日本三奇のひとつ「石の宝殿」があります。JR宝殿駅の南西にある「石の宝殿」は、社の形に彫られた奇岩で底に水がたまり、浮いている様に見えるので、「天の浮石」とも呼ばれ、生石神社のご神体です。

713年の播磨風土記に記述が見られ、ここの竜山石は、遠く奈良県の飛鳥地方でも古墳の材料石に使われ、仁徳天皇の石棺も竜山石であることがわかりました。車のない時代に、奈良県まで130㎞を運ぶのは気の遠くなるような仕事だったでしょう。

いずれにしても、この「石の宝殿」は何のために彫られ、どうして途中でやめられたかは不明です。幕末には、シーボルトも訪れ、スケッチ画を残しています。

前支部長　山本憲章(35回)

三輪そうめん

奈良支部

奈良といえば東大寺や法隆寺が定番の観光スポットとしてよく知られており、皆様も一度は行かれたことがあるでしょう。今なお観光客でたいへん賑わっております。

さて、奈良には世界遺産が数多く存在し、古都ゆえに歴史的な魅力で語られることがほとんどですが、グルメに関しては語られることがほとんどありません。

そこで奈良のグルメを一つ紹介させていただきます。

日本三大素麺の一つに「三輪そうめん」がありますが、とくに三輪そうめん山本さんの「白龍」は個人的におすすめです。麺の繊細さとコシとの調和があまりに秀逸で、他の素麺とは一線を画します。

お値段は高めですが、素麺が喉を通るときにはこの上ない感動を覚える素晴らしい逸品です。　保田まち子（77回）

丸亀藩 京塚家 別館 中津万象園

香川支部

この中津万象園は元禄元年（1688年）丸亀藩の京極二代目藩主高豊侯により、丸亀藩中津別館として築庭されました。15,000坪の園内には白砂青松の松原に続いて1,500余本の矮松を植え、庭の中心には京極家先祖の地である近江の琵琶湖をかたどった八景池を置いています。近江八景になぞらえて帆（矢橋帰帆）、雁（堅田落雁）、雪（比良暮雪）、雨（唐崎夜雨）、鐘（三井晩鐘）、清嵐（粟津晴嵐）、月（石山秋月）、夕映（瀬田夕照）と銘した八つの島を配し、その島々を橋で結んだ池泉回遊式の大名庭園です。

その他に、丸亀市指定文化財の茶亭と母屋が園内に残っています。また、コロー、ミレーなど本物の絵画を展示した絵画館や陶器館なども見学できます。

JR丸亀駅から車にて6分程の至近距離にありますので、是非お出かけください。　支部長　鈴木澄夫（36回）

カープ

広島支部

広島の今のイチオシは「カープ」です。マツダスタジアムは真っ赤なユニホームで埋め尽くされ、「カープ女子」も加わり大歓声。この頃は外国人のファンも。

昨年、広島は被爆70年。平成27年8月6日のカープ戦は「ピースナイター」と銘打ち、カープ選手全員が背番号「86」、胸には「PEACE」の文字。積極的に平和を考える試合となった。

市内では、JR車両、路面電車、バスがカープデザインで。弊社のタクシー1両は「カープ応援タクシー」としてラッピングし、乗務員もユニホーム姿です。

24年ぶりの優勝を目指してペナントレース奮闘中。勝って嬉し、負けて悔しの悲喜こもごもの毎日です。数ヵ月後「カープ優勝」に酔いしれているかどうか。頑張れカープ!!

支部長　陰山秀明（44回）

“えひめのお祭り”

愛媛支部

全国各地にはいろいろな祭りがあり、それぞれに特色があって地元で愛されているものです。私たちの住む西条市にも、街全体を絢爛豪華に彩り、市民を熱狂させる全国に誇る祭りがあります。

その歴史は、江戸時代初めに遡るようですが、市民にはだんじり（屋台ともよばれる）・神輿・太鼓台と呼ばれるものが、150余台あり、10月中旬より市内は祭り一色となり、人々は途端に活気づき、仕事が手につかなくなるとさえいわれています。

“盆や正月には帰らなくても、祭りばかりは帰省する”とさえ言われているほどです。早朝（午前2時ころ）の宮出しに始まり、市内巡行、フィナーレは宮入りの神輿（神様）の名残りを惜しむかのような川入りに、土手には80台の屋台が並び圧巻です。

お隣の新居浜祭りを含め、今年はぜひとも“祭り見物”に愛媛へお越しください。“待ちよるけんねぇ～！”

支部長　眞鍋一美（32回）

松下村塾（しょうかそんじゅく）が世界遺産登録

山口支部

昨年7月、ユネスコは「明治日本の産業革命遺産」として九州・山口など8県23施設を世界遺産へ登録しました。

この中には三池炭鉱（福岡）、韮山反射炉（静岡）、旧集成館（鹿児島）などがありますが、何で「松下村塾」が世界遺産なの？と思われる読者もおられることと思いますが、ここは昨年NHKで放送された大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台となった幕末の兵学者吉田松陰の私塾です。

建物は木造瓦葺平屋建てわずか50㎡の小さなものですが、この90名の塾生の中から倒幕の指導的役割を果たした高杉晋作や明治政府の初代内閣総理大臣となった伊藤博文などのほか、日本の近代化、工業化の過程で重要な役割を担った多くの人材を輩出したのです。

あわせて全国の城下町の中では唯一「萩城下町」も世界遺産へ登録されました。　前支部長　小林真人（32回）

自然を満喫しに高知へ来いや!!

高知支部

高知県は南を太平洋に面し、山地率89%（全国平均54%）の海と山の県で、夏の空はまさに南国。

そして清流四万十川を西に、東には清流安田川があります。

川では6月1日解禁の鮎漁を楽しむ人々が見られます。友掛けという鮎の縄張り争いの習性を逆手にとった漁法を使い、20cm弱位の鮎がたくさん釣れています。写真は東部の“安田川”。この川の鮎は数年前には鮎の味を競う大会で優勝したこともあります。

もう1枚は海沿の町の貝料理店。色鮮やかでいきいきとした貝類がたくさん。

自然の海・山・川、そしておいしい水・空気どれをとっても天下一品。田舎というものは、見方をかえれば、この上ない贅沢三昧です。ぜひ皆さん、自然を満喫しに高知へ来いや!!

まちゆうきんね。　支部長　南 宏道（52回）

「一期一会」　一人一人の出会いを大切に

2015年度パソコン教室を終えて

実行委員長　髙木 麻衣（情報社会学部情報社会学科３回生）

皆様のご協力の下、2015年度パソコン教室を開催させていただくことができました。スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。

パソコン教室は学生が運営し、同窓会員並びに後援会員の皆様にパソコンの知識を提供する場であり、現在の大阪経済大学の現状を知っていただく場でもあります。

2015年のパソコン教室のテーマは受講者一人一人との出会いを大切にしたいという気持ち、そして昨年度よりもスタッフ同士の「団結」を深めたいという想いから、「一期一会」と「団結」、この二つのテーマを掲げて準備を行ってきました。パソコン教室の準備は思った以上にたいへんで驚きました。しかし、今まで運営をされていた方はたいへんな思いをされながらも、皆の前では笑顔でいらっしゃったので本当に尊敬しました。そして、準備を通してパソコン教室は様々な方の支えがあって成り立っていることを知りました。同窓会事務局、同窓会員・後援会員の皆様、教務課、総務課、学生課、管財課、広報課、情報処理センター、守衛室の皆さまの協力があったからこそ、無事にパソコン教室を終えることができました。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

パソコン教室本番は至らない面もありましたが、受講者の皆様が温かく見守ってくださったので、私たち学生スタッフも楽しく講義を行えました。多くの方が声をかけてくださって、「今年も来たよ」や「毎年楽しみにしているよ」、「あの学生さん、授業上手やね」等、嬉しいお言葉をいただけて幸せな気持ちでいっぱいでした。

私はこのような素敵なイベントに、代表として携われたことを本当に感謝しております。二日目の閉会式でも申し上げましたが、パソコン教室に参加したことによって、本当に大経大に入学できて幸せだなと感じました。これから先もずっとパソコン教室が続くよう、応援よろしくお願いいたします。

来年度はよりパワーアップしたパソコン教室を開催できるよう、私たち学生スタッフも頑張りますので、来年もぜひご参加ください!

本当にありがとうございました。

本でつながる 大経大古本募金

2015年10月より、教育振興募金の取り組みのひとつとして、古本募金「本でつながる大経大古本募金」を開始いたしました。この募金は、本やＣＤ・ＤＶＤ、ゲームなど使い終わったものをリサイクル換金してご寄付いただくことで、本学学生の活動にご支援いただく仕組みです。ご不要になった本等をご自宅で段ボールに詰め、申込書に記載して、電話またはWEBで申し込みいただければ、ご指定の時間に宅配業者が受け取りに伺います。

なお、いただいたご寄付は、教育振興募金として受け入れ、本学学生の課外活動支援の充実に充てさせていただきます。

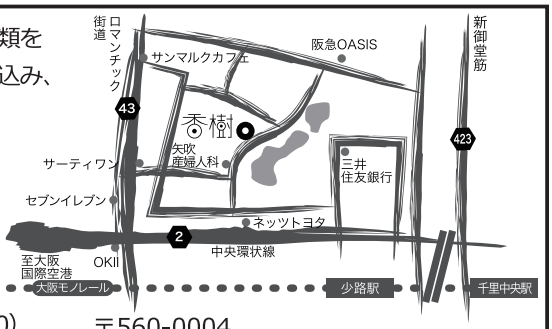
※ 5点以上から、送料無料で集荷します。
※ 5冊以上から何箱でも受付できます。
※ お品物を返送することはできません。申し込み用紙の贈与許諾証にあたるご案内をお読みになり、ご署名をお願いします。

詳しくは、本誌同封のちらしをご覧ください。

香樹では、厳選したスパイス十九種類を低温で自家焙煎して、じっくりと煮込み、コクとバランスに気を配りながら極上のスープに仕上げました。

香樹 Soup Curry & Cafe

TEL:06-4865-5258
営業時間：11:00～21:30（LO.20:30）
定 休 日：毎週月曜日（祝祭日は営業）
翌日振替定休とします



〒560-0004
大阪府豊中市少路 2-9-18　１Ｆ
アクセス：大阪モノレール少路駅　徒歩５分

躍進するクラブ

準硬式野球部

「秋季リーグ優勝」

秋季リーグは2015年9月9日(水)から10月24日(土)までの日程で開催されました。

第1節対神戸市外語大学戦では10対1のコールド。第2節対兵庫県立大学神戸校戦でも9－0のコールド勝ち。第3節和歌山大学戦では同点で迎えた9回大西(人科3回)が右中間へタイムリースリーベースヒットで2－1と逆転に成功。第4節対兵庫県立大学神戸校戦も苦しみながらも2－0。第5節神戸市外語大学戦も9－1コールド。第6節対甲南大学戦は3－1。第7節対和歌山大学戦でも10－0と6回コールド。第8節対近畿大学戦は5－1、第9節対甲南大学戦では2－9で7回コールド負け。しかし、第10節の近畿大学戦では勝てば優勝の期待がかかる最終戦。4回に1点を先制されて相手に流れが傾きかけたのですが、6回に同点とし、8回には岩崎(人科3回)のタイムリーなどで逆転に成功し、投げては石田、東、木村とつなぎ、2失点に抑え結局4－2で勝利。リーグ優勝をなしとげました。4期連続で優勝を逃したものの、今季は杉浦主将(人科3回)の胴上げを目標に頑張った結果の勝利でした。

バドミントン部

「2年ぶり全国大会出場」

2015年8月30日(日)から9月7日(月)まで、北九州市の北九州メディアドームなどで開催された西日本学生バドミントン選手権大会に本学バドミントン部が出場しました。1回戦は広島工業大学に2－0、2回戦は中京大学と対戦3－1と順当に勝ち進んできたチームは、9月1日はベスト8をかけて近畿大学と対戦しましたが、第1シングルは吉田が1－2で、第2シングルでは千葉が0－2で敗退。ダブルスもチームは0－3で敗れました。しかし、西日本地区ではベスト16に入り、団体で関西の推薦枠で2年ぶりに全日本学生バドミントン選手権(インカレ)への出場を決めました。日ごろの厳しい練習に耐えてきた部員たちが、大阪経大バドミントン部ここにあり、と。母校の名誉をかけてさらなる上位をめざして全国発信してくれることを期待しています。

躍進するクラブ

柔道部

「8年ぶり全国大会出場」「個人は講道館杯」

2015年8月30日(日)全日本学生柔道体重別団体優勝大会への出場権をかけた関西学生体重別選手権大会が開催されました。この試合では個人戦でのポイントで出場が決まり、ベスト16は1ポイント、ベスト8は2ポイント、ベスト4は3ポイント、2位は4ポイント、1位は5ポイントが与えられる仕組みです。

大経大は田中寿斗、椹木恭仁、藤田康平、中川翔太、山下将輝、西山蓮の活躍によって10ポイントを獲得し、5位となり全国大会出場権を獲得しました。また、今大会での優勝、準優勝者は講道館杯への出場が認められ、中川翔太選手が準優勝を果たしたため、見事講道館杯へのキップを手に入れました。柔道部員は全員でわずか15名。他大学と比べると多いとは言えないまでも、一人ひとりの絆を深めた結果がこの記録につながりました。

大阪メールクワィアー

「関西合唱コンクールで金賞」

1954年(昭和29年)に設立されたグリークラブは、隆盛時には100名を有したこともありました。その後、部員の減少に悩み、このままでは技術も運営も維持できなくなるのではないかと考え、永年グリークラブの音楽監督を務めてこられた須賀敬一先生の下、学生を支援し、一緒に活動をすることを目的として〇Bを主体に2003年(平成15年)に設立された男性合唱団です。

現在では経大グリークラブ員20名に加えて〇Bのみならず、須賀先生や学生のアンサンブルトレーナーの横田清文先生を慕い、経大生を応援する社会人団員を含めて総勢60名で毎週水曜日の夜、本学体育館地下の音楽室で練習に励んでいます。音楽の質を高めるため関西合唱コンクールに挑戦し続け、8年目にして見事昨年1位の金賞を獲得し、長崎で開催された全日本合唱コンクールに出場しました。全国大会では銅賞をいただきましたが、遠征費は、大学や同窓会からも支援を受け、感謝されております。

ガンバレ 経大ラグビー部！

ACE GUARD SINCE 1992

あらゆる生活シーンで安心と安全を提供したい
それが私たちエース警備のテーマです。

株式会社 エース警備保障

本社　〒660-0815　尼崎市杭瀬北新町4丁目9-7　TEL 06-6481-0055　FAX 06-6481-0011
支店　大阪・神戸　URL：www.ace-guard.com　ISO 9001 認証　S55卒 ラグビー部　河内　龍澈

支部だより

北海道支部

近年で最高の盛り上がり

平成27年10月29日(木)東京ドームホテル札幌で大学から佐藤理事長、同窓会から小林副会長のご出席をいただき支部総会・懇親会を開催しました。

例年、メンバーの多くが居住している札幌市で開催していますが、十勝地区や旭川地区からも、毎年出席していただけるメンバーもあり、とても頼もしく思います。

今年はさらに、東京からの出張に合わせて出席していただいた他支部の同窓生や、佐藤理事長の奥様もご出席いただいて、近年で最も盛り上がった会となりました。

北海道内ではほとんど報道されない体育会クラブの活躍など、大学の近況を知るとても貴重な集まりで、毎年楽しみにしています。

鵜飼泰正(51回)

東京支部

初めて支部総会に参加して

平成27年9月9日(水)、私は雨の中、大阪経済大学東京支部総会に参加させていただきました。初めての参加ということもあり、緊張しましたが、周りの方々が気さくに話しかけてくれて、色々な話をすることができたように思います。

人間不思議なもので、共通の学校で育った人同士、世代は違っても、初対面で色々と和気あいあいと話もできて、元気づけられ、励みにもなり、心強く思えました。

私自身大学時代、周囲の方の色々な協力や、サポートの上に卒業できたように、他の同窓生の方々も大経大で学んできたこと、過ごした日々を糧にして、選んでよかったと思える学校、誇りのもてる学校であってほしいなと思います。

私自身も未熟ですが、そんなサポート、応援をできたらいいなと思います。

最後にみんなで歌った学歌やエールが在校生にも届き、励みになったらいいなと思います。

今後も大阪経済大学の発展とご活躍をお祈り申し上げます。

中野裕貴(73回)

富山支部

今回は高岡市内のOB経営の割烹で開催

富山支部総会は、平成27年7月5日(日)、富山県高岡市内で本学OBの中村勝治さん(38回)が経営される老舗割烹「千鳥」での開催となりました。

当日、15名の同窓生と同窓会からは田中伸治常務理事、大学からは草福弘樹総務部長にお忙しいところご出席いただきました。

総会に先立ち、同窓会からは同窓会設立80周年記念行事についての説明と現況報告、大学からは北陸3県の受験生・合格者・入学者の状況、卒業生の就職状況の説明、体育会では34年ぶりにサッカー部が大阪で開催される全日本大学サッカー大会出場決定などの報告等があり、総会は資料の議題に基づいて進められ、出席者全員の承認を得ました。

その他、教育振興募金に富山県支部として10万円振込の件、支部総会への出席者を一人でも増やすため、年末に会合を持ち、皆で会員に働きかける件、この2件についても皆様の承認を得ました。

懇親会に移り、出席者の近況報告、終りに「学歌」「逍遥歌」を歌い解散、二次会も盛り上がり、次回の再会を約して散会しました。

支部長　安田秀雄(31回)

岐阜支部

総会をより魅力あるものに！

平成27年11月29日(日)、平成24年に11年ぶりに岐阜支部を復活させて以来、4回目となる総会を開催しました。本年は一人でも多くの卒業生に参加を促そうと、様々な取組みにチャレンジしました。

まずは、内容を充実させるため、総会終了後同窓生の知り合いのシャンソン歌手をお招きして、ミニライブを実施しました。また、開催1ヵ月前くらいの間の10月24日(土)には、ゴルフコンペを行ないました。

また、岐阜県は広いので、分科会と称して可児市・美濃加茂市等、岐阜県東部地区で小規模の飲み会を企画し、参加者を支部総会へ誘いました。

結果的には、それほどの参加者増には結びついていませんが、今後も継続して「総会」を魅力あるものにしていくことで総会への参加者を増やしていきたいと考えています。　支部長　山根一男(46回)

福井支部

支部創立50周年記念事業　盛大に挙行

福井支部は昭和41年10月9日、敦賀市の料亭「あみや」に有志が集い創立総会を開いて支部が誕生して以来、今年創立50周年を迎えました。この節目の年を記念して平成27年7月25日(土)、盛大に記念講演会、記念式典、記念祝賀会を開催しました。

記念講演会は本学の同窓生(37回卒)でもありますジャパネットたかた前代表取締役高田明氏を講師に迎え、福井商工会議所地下大ホールを埋めるおよそ700名の聴衆を前に「感動を伝えたい、夢持ち続け日々精進」をテーマにご講演をいただきました。

記念講演会の後、ユアーズホテルフクイで開かれた記念式典は大学から佐藤武司理事長、德永光俊学長、大樟会から田村正晴会長、小林真人副会長、田中伸治京都支部長、五十棲保彦愛知支部長、小池勝章備後支部長、鍛冶一英石川支部長ほか大勢のご来臨をいただき開催されました。また、創立以来支部活動に尽力された吉田叡氏に感謝状を贈り、その功績を称えました。

式典の終了後開催された祝賀会には講演をいただいた高田明氏も交え、ジャズの生演奏を聴きながら和気あいあいの時間を過ごしました。最後は恒例の参加者全員が肩を組み円陣となって学歌、逍遥歌を歌って締めました。

支部長　石橋隆夫(32回)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福井支部では7月25日(土)午後3時から全国的にも超有名人のジャパネットたかたの前社長高田明氏(本学37回卒)の記念講演会を福井商工会議所ホールに超満員の700名の市民を集めて開催しました。この催しは石橋支部長が5年がかりで佐世保市の本社を訪問し、高田前社長に三顧の礼を尽くして実現したものです。一代で年商1500億円を超える企業に育てた高田氏の講演は一言一句に説得力がありました。その一部を掲載します。

皆さん、私の声を聞いて「本当に高田さん?」(笑い)高田ですよ。いつも29,800円というだけの高田ではありません。いつもあのような話し方をしていたら66歳の今まで持っていなかったでしょう。私が何であんなテンションが高いかというのは人間に一番大切なのは「情熱(passion)なのです。前向きに情熱を持って話していくとテレビの前に立つとテンションが高くなってくるのですよ。(笑い)

私は優秀な学生とは言えませんでした。上新庄駅前のパチンコ屋へ寄って大学へ通っていた学生でした。ただ、一つだけ誇れるのは将来英語を使う職業につきたくて一生懸命英語を勉強したことです。

小さなカメラ屋からスタートしてここまでになったということは全国の皆さんのご支持をいただいたということに感謝しております。

過去を参考にするのはいいけど過去に捉われてはダメですよ。林先生が言っているでしょう。やるなら「今でしょう!」「ダメよダメダメ」テレビで流行しましたが、これらの言葉は僕のためにあるのですよ(笑い)。人間でも企業でも今を自分がどれだけ精一杯生き続けているかということです。

私は今世阿弥に凝っています。皆さん70歳でも80歳でも「初心」がありますか?「初心」は10代、20代でどんどん変わっていくのです。自分の中にある目標を変化させながら今を生きていれば、「初心」がどんどん進化していき、その結果どうなるのか?世阿弥の言葉を借りれば「自己更新」です。「初心」は「老後の初心」などいっぱいありますが、「初心」はどんどん変わっていきますから自分だけの目標を持つことが大事なのです。だから「初心忘るべからず」。

※高田明氏の詳しい講演内容は「大樟会ホームページ」の本部だよりにも掲載しています。

広報部長　小林真人

石川支部

能登部会主管により羽咋市内で開催

平成27年6月20日(土)午後4時より、NHKで今話題の能登の玄関口である羽咋市内の「ホテルゆ華(ばな)」にて21名の参加で開催しました。本年は能登部会が担当し、笠間孝一さん(42期)が中心となり段取りしていただきました。開会の前に同窓生の物故者に黙祷を捧げました。

大学本部より崎田洋一事務局長、同窓会本部より田村正晴大樟会会長、石橋隆夫福井支部長を迎えての総会となりました。記念写真撮影の後、懇親会に入る。

ここは元保養施設で、のと里山海道、また千里浜なぎさドライブウェイの出入口に近接した松林の中にあり、ゆったりとしたたたずまいの中で楽しむことができました。

大学の現状報告、同窓会の今後の活動方針など聞かせていただきました。福井支部は本年50周年、その記念事業の一環として同窓生の高田明氏の講演会への招請もありました。

懇親会は田中治夫能登部会長(33期)の歓迎のことばの後、嵐良隆南加賀部会長(39期)の乾杯の音頭で宴会に入り、懐かしい昔話に花を咲かせ、楽しい歓談が続きました。

古川久次さん(34期)の詩吟で始まり、おのおの得意ののどをカラオケの伴奏で楽しく歌い、最後は高塚芳郎さん(53期)の音頭で学歌、逍遥歌を全員で高らかに歌い、能登部会古川さんの締めでお開きとなりました。

金沢まで戻った人の中には香林坊で二次会を開き、再度盛り上がったと聞いております。なお、来年は南加賀部会の担当となります。より多くの同窓生が参集することを願うところです。

事務局長　小嶋外志夫(38回)

支部だより

静岡支部

いつものように

平成27年8月1日(土)、ホテルセンチュリー静岡にて静岡支部総会を開催しました。大学より橋本浩二財務部長、大樟会より秋山治信監事にご出席いただき、支部会員6人で大学の現状をお聞きするとともに、会員の近況報告を行い、親睦を図りました。また、今年は35回卒の熊谷博恭さんに初めて参加していただき、静岡支部の家庭的な雰囲気を味わってもらったものと確信しています。

我々静岡支部は会員数も少なく、静岡県は東西に広いため、なかなか参加人数が増えませんが、一人でも多くの人に参加してもらえるよう、頑張っていくつもりです。次回総会の参加者が増えますように。

支部長　大塩博喜(40回)

京都支部

過去になく盛り上がった京都支部総会

平成27年11月14日(土)、京都新阪急ホテルにて、京都支部総会を開催いたしました。来賓として、大学より北村教授、藤本情報社会学部長、黒正進路支援部長、大樟会より春木常務理事、五十棲愛知支部長、石橋福井支部長、城山滋賀支部幹事、山内大阪支部会計、杢保、福富、両但馬副支部長の各位にご臨席賜りました。出席者は、昭和18年(10回)卒の大先輩から平成23年(77回)卒の若手まで総数63名となりました。

北村教授からは益々発展する母校の様子を、また、黒正部長からは最近の就職状況についてお聞きしました。春木常務理事には、大樟会80周年の記念総会の報告等をお聞きしました。10回卒の池田大先輩から、最近詠まれた黒正巌先生のお歌をご披露いただき、石橋福井支部長が即興で吟じるというハプニングもあり、会場は大いに盛り上がりました。

中締めをお願いしました南相談役から、哲学の道にある黒正先生が名付け親であるとの看板が老朽化しているので新調したいとの提案があり、急遽皆さんからのご寄付を募りました。来年は京都支部80周年に当たりますので、記念行事として取り組んでいきたいと思います。

余りの内容の濃さに、時の経つのも忘れて歓談しておりましたが、残念ながらお開きの時間となってしまいました。その後、興奮醒めやらぬまま地階のバーに移動して二次会となりましたが、予想以上の参加をいただきました。毎年、この様な楽しい総会を開催していますので、来年はさらに多くの皆さんの参加をお待ちいたしております。　支部長　田中伸治(45回)

三重支部

大学、同窓会の現状報告に聞き入る

平成27年度三重支部総会・懇親会が、10月24日(土)、松阪市内の「和田金」で開催されました。大学から岸田情報処理部長、大樟会本部から田村大樟会会長、山本常務理事、さらに愛知支部より五十棲支部長のご臨席を賜り、総勢27名の参加を得ました。

総会では、岸田情報処理部長から大学の現状や将来のビジョンに至るまで詳しいお話をいただき、たいへん感激いたしました。

さて、日頃、母校へあまり行くことのない我々にとって、今回の総会に来賓でご臨席いただいた大樟会の田村会長、山本常務理事、お二人の大学、同窓会の現状のお話は、非常に興味深いものでありました。参加者全員、久しぶりに母校へ行ってみたいと思える素晴らしいお話でした。

懇親会では、終始和やかな雰囲気の中で親交を深めることができました。特に、出席者全員による近況報告は、意義深く、楽しいひとときとなりました。

最後に、次回の開催の確認と三重支部のさらなる発展を祈念して、盛会裡に終えることができました。　事務局長　御調和雄(66回)

愛知支部

初めての試み、お昼時の支部総会

9月27日(日)名鉄ニューグランドホテルにて、今回初めての試みですが、お昼時に開催いたしました。

大学本部からは草福総務部長、大樟会からは山本常務理事、近隣支部からは石橋福井支部長、田中京都支部長、山根岐阜支部長、三重支部の西川様のご臨席をいただきました。近況報告として、大学本部からは入学や就職状況、また長期計画であった大学建物の改築が終了したことなど、大樟会本部からは活動状況などの報告がありました。

愛知支部は、その前身である東海支部として発足以来、再来年で70年という歴史を持つ伝統ある支部です。多くの同窓会先輩に支えられての歴史です。

支部では、毎年多くの方のご出席をいただきたいと願っています。総会の内容としては、大学から毎年来賓の方にご出席いただき、現在の大学の様子をお聴きすることができます。卒業して何年、何十年と経っていますが、母校を身近に感じるひと時です。

大学が掲げる『つながる力』を同窓会としても共有して、多くの同窓会メンバーとつながっていきたいと思っております。節目の年に多くの方とお目にかかることができればと願っております。　西川雅美(38回)

北大阪支部

“相手を知り己を知ろう”
「立命館大学大阪いばらきキャンパス」で総会を開く

第5回支部総会を6月27日(土)梅雨空の中、平等文博人間科学部長、田村正晴大樟会会長、近隣4支部の支部長ら計7名の来賓と25名の会員が出席、開催しました。

会場は平成27年4月に開校した「立命館大学大阪いばらきキャンパス」。“なんでそんな所でするんや”という疑問も聞えましたが、大学の位置は経大から約7キロ、車で15分と近く、すでに2学部5500人が在学しています。地元支部として母校支援は何ができるか、を話しあった結果“まず相手を知ることで己の立ち位置を知ろう”と考え、全国の支部総会では初めてだと思うが、他大学へ“のり込んで”の総会となりました。田村大樟会会長も挨拶で「茨木キャンパスは2～3年以内には経大をはじめ周辺の大学に必ず影響をもたらします」と認識を示されました。

大学に入り一望するに、キャンパスを取り巻くフエンスなどは一切なく、隣接する茨木市の広大な防災公園「岩倉公園」には少子化をはじき飛ばすかのようにたくさんの子どもたちが遊ぶ。私たちを案内してくれた地域連携課の課長さんは「経大さんの卒業生がこんなに大勢こられたのは大変光栄です」と懐の広いあいさつがあり、キャンパスの規模、設備、環境、学生のマナーなど短時間ながら見ることができました。

見学を終え、印象としては大学のブランド力を生かし地域・行政と深く連携・開放しながら幼少時代からの“立命館ファン”作りを進めるという他大学では見られない戦略で“大阪に立命館のクサビ”を打ちこもうとしています。“大阪に伝統ある大経大あり”をアイコンに、同窓会と大学がスクラムを組む時代に入りました。

総会は議案も承認され、新役員が2年間の任期で選出されました。酒席はプロのフラメンコギターを聴きながらのゴージャスな雰囲気を楽しめました。

支部長　平田義行(31回)

「澱江」購読料のお願い

「自らの購読料で『澱江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました。

お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。編集子一同、このご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。
振込手数料は不要です。

大阪市支部

支部総会で4支部誕生への道筋

平成27年7月12日(日)、道頓堀ホテルで支部総会を開催しました。

大阪市支部の再編については、平成26年3月、5月、7月と、支部内で協議を続けてきました。同年8月18日(火)、新任の田村大樟会会長と竹中事務局長が出席した会議の席上、「支部の名称について本部で検討した結果、従来どおり大阪市支部の名称は残す。ただし、運営上、支部内において『大阪市総支部』の使用を認める」との報告を受けました。

無駄なように思えたこの1年でしたが、4支部体制(淀川支部、北支部、南支部、住吉支部)で運営したいとする各支部長の思いがより強くなり、暮には晴れて「総支部の懇親会」を開き、30名の会員が集結。4支部体制への道筋が整いました。

本年もすでに4回の総支部の会議を開きました。そして本日の総会ではすでに4支部のテーブルに別れて着席しています。役員選出には、先輩後輩は関係ありません。若い40期生以下からも選出してほしいとお願いしました。「4支部の役員が一気に誕生」した瞬間でした。

支部長　春木洋次(32回)

北摂支部

“温泉女将”の講演で大いに盛り上がる

平成27年3月14日(土)午前11時から北摂支部総会が高槻の料亭「錦松鶴」で開催されました。当日は大学から前学長重森曉先生、橋本浩二理事財務部長、大樟会から田中伸治、上田敬二郎両常務理事、近隣支部から平田義行北大阪支部長、森川義一北河内支部長、雑賀保洋箕面・豊能支部長も駆けつけていただき、大学の近況や大樟会の動向について拝聴いたしました。

総会の目玉は、テレビやラジオにたびたび出演されている、岡山県湯原温泉の旅館「八景」の名物女将上塩浩子さんの講演です。高槻市に真庭から直送の市場がある関係で以前から懇意であり、お願いしたところ気持ちよく承諾していただきました。過去の生い立ちや旅館経営の立て直し、誘致の苦労話など、独特の話法で1時間余り熱弁をふるっていただき大いに盛り上がりました。感激した会員から、早速秋の予約が2件入りました。

北摂支部は今期も、バスツアーによる三十三カ所観音めぐりを春秋2回、魚釣り、桜の花見、読書会、ハイキングと盛りだくさんの行事を予定しております。また3北トリオ(北大阪、北河内、北摂支部)でパークゴルフ大会もこの秋に実施いたします。今後は近隣支部と連絡を密にし、大学および大樟会を盛り上げていきたいと思っております。

支部長　本郷公夫(33回)

支部だより

箕面・豊能支部

整備された大学構内に一同感激!!

第4回箕面・豊能支部総会を平成27年3月22日(日)午前11時から、大学から佐藤理事長、大樟会本部から2名、近隣5支部から7名のご来賓をお迎えし、大学E館7階会議室にて、総勢28名にて開催いたしました。

当日、OBである佐藤理事長は「現在好調な学校運営に甘えず、厳しい将来を見据えた改革を断行し、学校をより発展させたい」との、力強いお言葉もあり一同感激しました。

総会を終えた後、素晴らしく整備された大学構内の見学会を開催。ほとんどの皆さんは数十年ぶりの大学に懐かしさ一杯で、昔の記憶と重ねながらの見学となりました。19回卒の富山さん、立派になった構内に「信じられない」を連発、ピリッと辛口の「勉強も頑張ってな～！！！」との声も。

懇親会では、服部副支部長からマジックが披露され、皆さん、食べること、飲むことも忘れ、ワイワイガヤガヤと種探しをする等、楽しい一時を過ごしました。

今回、大学での総会開催は、学校の縁で地域の縁を持った仲間が、より強固に「つながる力」を得る有意義なキッカケになりました。

本総会開催に当たりまして、大樟会本部の関係者には大変お世話になり、ありがとうございました。　　支部長　雑賀保洋(33回)

◇箕面・豊能支部では、支部設立5周年記念行事として宝塚観劇会を開催します。

©宝塚歌劇団

開催日時…平成28年4月16日(土)11時公演
※3時間＋お茶会＋集合写真

公演…星組公演
■MUSICAL「こうもり」
…こうもり博士の愉快な復讐劇…
■ショー・スペクタキュラー
「THE ENTERTAINER!」

S席(8,300円)は100名(予定)
(集合写真郵送代等含めて@9,800円)

B席(3,500円)は20名
(集合写真郵送代等含めて@5,000円)

※観劇後、支部特別バージョンの飲み物付き公演デザートプレート(1,080円)にてお茶会。宝塚歌劇の殿堂見学半額優待券付き。
※応募上の注意:大樟会会員、または、大樟会会員+配偶者やご家族、お友達の組合わせのペア。(チケットは当日お渡しになります。)
※観劇ご希望の方は、往復ハガキに「S席」または「B席」と明記し、観劇希望枚数(シングルかペアか)・住所・氏名・連絡先・卒業回(または卒業年)を記入の上、箕面・豊能支部長宛てに、**2月20日締切**でご応募ください。3月上旬に先着順に当選者を決定させていただき、振込用紙、当日の日程等の詳細を発送いたします。

宛　先…〒562-0044　箕面市半町4－19－37
大阪経済大学「大樟会」箕面・豊能支部　雑賀保洋
問合先…072－723－9715

北河内支部

支部運営で熱のこもった論議

平成27年5月24日(日)、本学D館8階80周年記念ホールで、大学側から木村俊郎経営学部長、大樟会本部から上田敬二郎常務理事、近隣支部から平田義行北大阪支部長、本郷公夫北摂支部長らのご来賓をお迎えし、総員22名と例年に比べてやや少ない参加者でありましたが、支部運営などに積極的な議論ができ、これまでにない有意義な支部総会となりました。

まず、木村経営学部長から「キャンパス整備事業の効果もあって、3年連続して入試志願者が増加し、就職率も73.6%と前年比4.7ポイント増(2月1日現在)と順調に推移しており、引き続きグローバル社会の要請に応えられる人材育成に努めております」と。上田常務理事からは「今年は同窓会設立80周年にあたり、卒業生10万人時代がすぐそこまでという時代になってきました。規模拡大にともなう具体的な方策を打ち出さなければならないが、何よりも大切なことはタテ、ヨコのつながりを密にした同窓会活動をお願いしたい」とし、とくに「本部から支給している支部運営費を最大限に活用し、支部会員全体に情報の伝達をお願いしたい」と強調されました。

1600名を超える支部会員に総会案内を送るだけで、本部から送られてくる支部運営費のほとんどを費やします。それでもその努力に報われることのない現実に頭を痛めている支部役員にとって、「上田常務理事のご提案は、本部の意向として理解できますが、3年に1回しか全員への配信をしない我々の現場対応への理解もお願いしたい」と反論する声もあり、予定時間をオーバーするほど熱のこもった論議が行われました。

会議終了後の懇親会では、参加者全員が近況報告をし、中には苦学した学生時代を涙ながらに語る人もいて、会場が学校ならではの一コマもありましたが、最後は声高らかに学歌、逍遥歌を歌い会を終えました。　　支部長　森川義一(25回)

泉南支部

支部総会で提案 総会以外のイベントの企画も

平成27年5月30日(土)、関西空港隣接のりんくうタウン内関西エアポートワシントンホテルで泉南支部総会を開催しました。大学より崎田理事・事務局長、大樟会より竹中事務局長、近隣支部より堀本堺支部長、新田和歌山支部長のご来賓の出席を賜り、総勢22名で開催いたしました。

今回初めて参加された方、何年ぶりかでなつかしく参加された方も何人もおられ、和気あいあいとした雰囲気のなか楽しい時間を過ごしました。学歌、逍遥歌合唱のなか、初めて学歌を歌われた方もあり、改めて感慨にふけっておられました。

泉州支部は現在2年に1回の総会の開催ですが、総会以外に何かみんなが参加できるイベントはないか、企画してやっていこうという話ももち上がり、今後検討してゆきたいと考えています。

支部長　塩谷善一郎(39回)

豊中支部

佐藤理事長に「題名のない講演」を依頼する

平成27年6月20日(土)午前11時より本学E館7階の会議室および大樟ラウンジにて第31回支部総会を開催しました。出席者は来賓を含め24名でした。

大学から佐藤武司理事長、大樟会から廣野義直組織部長をお迎えし、近隣支部からは久保太郎様(尼崎)、雑賀保洋様(箕面・豊能)、湯村徳光様(北大阪)、今村武司様(池田)、山崎正順様(伊丹)にご出席いただきました。

今回は、前年同窓会から初めて理事長になられました前大樟会会長の佐藤武司様を、支部として、もっと深く知りたく、また、今までに培われたご経験など、その一端をお聞かせいただければと講演をお願いした次第です。

佐藤理事長は、神戸生まれの神戸育ち。高校2年生の時に空手道場に入門され、お母さんの思いもあり大経大に入学されました。そして本学の空手道部に入部、4回生の時には全日本大学空手道選手権大会で本学が準優勝、空手道部として一番強かった時代とのことです(優勝は拓殖大学)。それ以来、空手道部に関係されてこられました。日本ジッコウ㈱を創業されましたが、その活力は、空手道というスポーツ精神が源にあると感じ取りました。お話しをお聞きして、改めてそのお人柄と愛校心を知ることができました。貴重なお話をいただき有難うございました。

その後、議事に入り、平成27年度の活動報告と会計報告があり、28年度の活動計画と収支予算案が承認されました。この後、大樟ラウンジにて懇親会に入り、近隣支部の方からエールを受け、支部会員からの近況が報告されました。最後は学歌および逍遙歌を斉唱して、閉会の辞の後、一本締めでお開きとなりました。

場所を変え、午後3時から支部行事のカラオケ大会が開催されました。出席者は13名でした。

それぞれの持ち歌が披露され、点数に一喜一憂しました。中でも特別参加のシンガーソングライター鮫島まさみさんの「涙そうそう」の歌声に、一同うっとりと聞き入ってしまいました。それは正に、騒音の中で静寂を取り戻したかのようでした。　　支部長　田中功一(42回)

同窓会ホームページもご覧ください！

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、ＨＰを作成しています。

年間行事予定などの掲示のほか、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。ご活用いただき、ご意見ご感想をお寄せください。

ＨＰアドレス　http://www.osaka-ue-denko.com/

池田支部

池田市長を迎え、同窓会設立80周年を祝う!!

平成27年9月6日(日)、池田の老舗「太郎兵衛寿司」にて支部総会を開催しました。新涼を誘う秋入梅の中、大学より森詩恵経済学部教授、大樟会から田村正晴会長、竹中亨事務局長(伊丹支部長)、川口正義常務理事、田中功一豊中支部長、雑賀保洋箕面・豊能支部長、竹本勇川西・川辺支部長のご臨席を賜わり総勢26名のご出席です。まず、中一正池田支部長から開会の挨拶があり、大学より森教授、大樟会本部より竹中事務局長、川口常務理事のご挨拶があり、同窓会設立80周年記念行事の紹介、大学のブランド力上昇率が11位であり、予備校で大経大コースを設置する動きもあるなど、大学が目覚ましい発展を遂げている現状についてお話をいただきました。田中豊中支部長、雑賀箕面・豊能支部長、竹本川西・川辺支部長からもご丁重なご挨拶を頂戴いたしました。

また、原田こうじ大阪府会議員からは、お祝いとしっかりとしたご決意のご挨拶をいただきました。

総会は松田今朝男副支部長の司会で始まり、活動報告、会計報告の各議案、太田史郎氏(36期)・原田有紀子氏(75期)の幹事新任がいずれも満場一致で承認され、無事に終了しました。

次いで、森教授に「介護保険制度の仕組みとその課題　～要介護高齢者とその家族の現状を踏まえて～」と題してご講演いただきました。介護保険制度のご説明から、介護現場での具体例も踏まえた介護の留意点をユーモラスなお話も交えて、わかりやすく解説していただき、たいへん有意義な時間を過ごさせていただきました。森教授ありがとうございました。

ここで、小南修身池田市長が地域からのご来賓として駆けつけてくださり、大樟会のますますの発展を祈念するとのご挨拶を頂戴いたしました。また、森教授のご講演に関連して、「介護」には難しい問題が多く、介護に携わる方々の処遇の改善も重要な問題の一つであり、改善を進めていく必要がある、とのご意見もいただきました。

懇親会は田村大樟会会長の高らかな乾杯のご発声で始まりました。参加者全員の自己紹介では軽妙なお話、愉快なお話が続出し、何度も会場が沸きました。ビンゴゲームでは中支部長自ら進行役を務め、満座の喝采を受ける名司会者ぶりでありました。

愉快な懇親会は山形輝三副支部長の中締め、次いで竹本川西・川辺支部長の先導による学歌と逍遥歌の斉唱、大学・大樟会・参加者へのエールが送られ、次回の再会を約しお開きとなりました。

最後になりましたが、お蔭様で総会・記念講演・懇親会とも非常に充実した内容になりました。これも偏に大学並びに大樟会のご支援の賜物と改めて感謝申し上げる次第です。　　監事　今村武司(43回)

支部だより

川西・川辺支部

支部設立後、初の総会を開催

平成27年7月12日(日)、川西市内にて支部総会を開催しました。支部設立後8か月での総会開催になりましたが、これは竹本勇支部長はじめ役員の皆さん、そして支部メンバー全員の大樟会への熱い思いとご理解ください。

さて、日頃母校へあまり行くことのない我々にとって、今回の総会に来賓でご臨席いただいた大学の草福総務部長、竹中大樟会事務局長お二人の大学、同窓会の現状のお話は、非常に興味深いものでありました。参加者全員、久しぶりに母校へ行ってみたいと思える素晴らしいお話でした。

記念講演では、川西市役所の職員お二人から、皮革工場跡の中央北地区整備事業「キセラ川西」の進捗状況と今後の計画をお話しいただき、熱心に聞き入りました。

今後は“交流”と“親睦”を深め、大学と地域への貢献を！をモットーに活動してまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。　　広報担当　宮東豊一(55回)

伊丹支部

伊丹支部会員の宮武情報社会学部准教授が講演

平成27年度伊丹支部総会が、平成27年6月6日(土)午後6時から伊丹シティホテルの「寿の間」で開催されました。今回の参加者は会員が20名、来賓が7名の総勢27名となりました。毎回、参加する会員の顔ぶれがほぼ固定化されるなかで、今回初参加の会員3名の方が紹介されました。

続いて、竹中伊丹支部長の挨拶、来賓の田村大樟会会長の祝辞の後、議事に移り、まず、今回、任期満了となる支部役員の改選が行われ、従来の役員19名全員が留任となり、新たに2名の幹事を選出しました。さらに通常の議案も原案どおり承認されました。続いて、伊丹支部会員の宮武記章情報社会学部准教授による「オーストラリア留学を終えて」と題する講演があり、地球温暖化とエネルギー問題などを織り込んだ話に全員聞き入っていました。

引き続き、懇親会となり、冒頭、少し遅れて到着された来賓の佐藤理事長の祝辞をいただき、久保尼崎支部長の発声で乾杯、歓談に入りました。恒例となったビンゴゲームも賑やかに行われ、最後は全員肩を組んで学歌斉唱を行い、盛況の裡にお開きとなりました。

事務局長　内田敏雄(39回)

尼崎支部

懐かしのアメリカン・ポップスで盛り上がる

尼崎支部は平成27年度総会を4月24日(金)に尼崎商工会議所会議室において開催しました。

来賓として佐藤理事長、大樟会より中坪財務部長、内田事務局次長、豊中支部から田中支部長、堺支部から堀本支部長、伊丹支部から岡田副支部長のご出席と会員34名の参加がありました。

総会は久保支部長の挨拶の後、佐藤理事長、大樟会の内田事務局次長よりご祝辞をいただき、その後会計報告、役員改選を行いました。支部長につきましては久保支部長が再任されました。

懇親会は、今回初めてバンド名「AIR SOUNDS」さんによるバンド演奏会を開催。1曲目「ダイアナ」から始まり「ルイジアナ・ママ」「恋のバカンス」「想い出の渚」などアメリカン・ポップスから日本の歌謡曲まで幅広い曲目を演奏いただき、参加者は思い思いに口ずさみ楽しんでいました。

最後に学歌を皆で熱唱し、常深俊昭様(昭和32年卒)による締めのご挨拶と万歳三唱をして閉会しました。　副支部長　福島裕規(65回)

但馬支部

10周年記念総会 新支部長に田渕善人氏を承認

但馬支部は今年度、節目となる10周年を迎え、平成27年6月28日(日) HOTEL・KOSHO (旧ホテル幸祥)において総会および懇親会を開催しました。

大学から佐藤理事長、同窓会本部から竹中事務局長、廣野組織部長、田中常務理事兼京都支部長、また、明石支部から池上支部長と安川様にご臨席を賜るとともに、但馬支部からは役員、会員合わせて19名の参加をいただきました。

総会では冒頭に今年1月に急逝された髙本前支部長に黙祷を捧げた後、新しく田渕善人氏を支部長に満場一致で承認し、その後議事を慎重審議し、すべて承認されました。

総会後の懇親会のオープニングでは芸名「芋家焼酎(いもやしょうちゅう)」(福富副支部長)によるプロ顔負けの落語で会場が笑いに包まれ、その後も和やかな歓談のなかマジックショーも始まり、テーブルマジックでも大いに盛り上がりました。

大阪経済大学並びに同窓会本部の温かいご支援を賜り、但馬支部設立10周年の節目を迎えられたことに感謝を申し上げると共に、田渕新支部長の元で今後更なる発展を遂げるよう役員一同頑張る所存です。　　副支部長　李保哲史(39回)

神戸支部

女性や新卒者の出席を目標に

平成27年度神戸支部総会を、平成27年9月27日(日) 12時より、神戸・元町駅北側の「パレス神戸」において開催いたしました。総会には、大学から佐藤武司理事長、大樟会から竹中亨事務局長、角庵勝巳常務理事、近隣支部の阪神支部、伊丹支部、淡路島支部、東播磨支部、明石支部からの代表のご臨席を賜りました。来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況や卒業生の就職状況、大樟会の活動状況などの報告と今後の大樟会の在り方、そして大樟会会員の活躍情報等、心温まるご挨拶をいただきまして、出席者40名で支部総会の幕が開かれました。

また、総会中ほどで、ピアノの生演奏を披露していただき、その後、恒例の抽選会を今年もビンゴゲームで行い、盛りあがったところで予定の2時間半も、あっという間に過ぎました。最後に逍遥歌を全員で斉唱して閉会といたしました。

神戸支部総会は、女性や新卒者にもたくさん出席していただくことを目標に準備しましたが、今年度は例年に比べて少人数であったことが残念でした。しかし、来年度の総会に向けて新たな課題が見つかったことと、更なる意欲が生まれたことが、27年度総会の総括となりました。

そのため、来年の目標として「参加年齢層の幅の広さと充実、そして多くの女性会員の参加」を掲げ、実行委員会を立ち上げ、開催日時、会場、内容等、お知らせしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

支部長　正岡健二(36回)

阪神支部

役員改選を実施　新支部長に木岡良郎氏(36回)

平成27年3月21日(土)午後1時から、平成26年度大樟会阪神支部総会をノボテル甲子園において大学から佐藤武司理事長、大樟会から田村正晴会長、竹中亨事務局長のご臨席をいただき開催、同窓諸兄36名が集いました。

今回は役員改選を行い、33回卒業の進木伸次郎支部長が阪神支部のために新しい風を吹き込むことが望ましいとのことで、36回卒の阪神支部副支部長(宝塚市)木岡良郎氏が選ばれました。進木支部長は、平成14年10月の支部総会で15回卒の広田神社宮司中山隆氏からバトンを引き継ぎ、12年間活躍されました。副支部長には秋山治信氏(西宮市)、西澤正彦氏(宝塚市)が選出されました。新支部長からは新生・阪神支部を目指して頑張りますとの力強い言葉がありました。

事務局長　北野信一郎(26回)

丹有支部

つながる丹有支部

大樟会丹有支部総会を、三田地区担当で、11月15日(日)に開催しました。三田市の歴史を散策しようと企画され、旧三田藩主・九鬼家の菩提寺「心月院」を訪ねました。ここは白州次郎・正子さんの墓所でもあり、各地からのお参りが絶えない寺院です。児島住職のユーモアあふれる院内の説明を受け、また江戸時代の貴重な宝物も拝見させていただきました。

移動して、レストラン「ももたろう」で総会を開催しました。開会前に、今年亡くなられた大先輩梶村文弥さん(8回卒)と、竹知正明さん(37回卒)のご冥福を祈り、黙とうを行いました。梶村さんは丹有支部の生みの親でもあり、今の支部の存続も先生のお陰です。また竹知さんは、丹波市議会議員として活動をされていました。

総会には、大学の佐藤理事長をはじめ大樟会の内田事務局次長、北摂支部の梶村貞男さんをお招きしました。佐藤理事長の大経大経営に対する熱き思いを感じ、嬉しく思いました。「心月院」での心安らぐ時間、楽しい懇親会、最後は全員での逍遥歌を斉唱して、幕を閉じました。

支部長　足立徳太郎(36回)

明石支部

支部長交代後 初の総会

平成27年度明石支部総会は、9月5日(土)午後6時よりグリーンヒルホテル明石で開催しました。大学側から佐藤理事長、大樟会廣野組織部長、山本常務理事、また近隣支部の方々のご臨席を賜りました。

前任の佐藤武司支部長が大学の理事長に就任され、後任の池上照夫支部長になって初めての総会になります。ご来賓の方からご祝辞、大学の近況報告をいただきました。

懇親会は元宝塚歌劇団(月組)出身のシャンソン歌手森岡怜子(綾乃にしき)さんを招き、楽しい夢のようなディナーコンサートに、参加者全員が酔いしれました。また、今回初参加の方には、壇上にて自己紹介等をしていただいて、クジによる景品をお渡ししました。和気あいあいのなか、最後に全員で学歌・逍遥歌を斉唱し、閉会しました。

総会終了後、カラオケラウンジに席を移し、20名が参加し二次会が開かれ、大カラオケ大会となりました。今後ともよろしくお願いします。

幹事　吉本明浩(41回)

支部だより

北播磨支部

本年、支部創設10周年を迎えます

創設9年目となった北播磨支部の平成27年度総会を、11月21日(土)に小野市内の「雅　いのうえ」さんで開催しました。出席者は14名。

当日は、大学より平等文博人間科学部長と大樟会本部から秋山治信監事にご出席いただき、最近の大学の様子や同窓会活動などについてご報告いただきました。

新しい学部である人間科学部の紹介や就職状況について詳しくご報告いただき、施設リニューアルや地下鉄今里筋線瑞光四丁目駅から徒歩2分という交通利便性や、大阪市内に立地するという多くの好条件を存分に活かした大学運営で、受験生数も順調に増加し、就職状況も順調であることに感心した次第でありました。また、前大樟会会長で現大学理事長の佐藤武司様も頑張っておられるとのことで、今後益々健全運営が強化されるものと感じました。

昨今、やや支部活動がマンネリ化しているので、本年は支部創設10周年となりますので、何か新しい事業を展開して多くの皆さんの参加を図りたいと思っております。

27年度支部事業では、恒例の関西大学・関西学院大学・甲南大学・近畿大学の同窓会支部とのゴルフ交流戦も予定しているところです。なお、現在、大学同窓会対校コンペでは連勝中であります。

横山種機(45回)

東播磨支部

新支部長に福田敏裕氏を承認

平成27年10月25日(日)、加古川プラザホテル「東京　田村」におきまして、東播磨支部総会を開催いたしました。支部再興総会から、早いもので5回目の支部総会となりました。

ご来賓に、大阪経済大学より経済学部　福本幸男准教授、本部より角庵勝巳常務理事、上田敬二郎常務理事、明石支部より安川武延氏、神戸支部より北山富久氏をお迎えし、議事ならびに役員改選で、福田敏裕氏の新支部長選出が承認されました。その後、福本幸男准教授のご講演があり久しぶりに学生時代に戻りました。懇親会では、初めてご参加の方、各種行事でご参加いただき、また再会させていただいた方、毎回お会いできる方など話が弾み、幹事の森本信市氏の歌謡吟、新支部長の福田敏裕氏の学歌，逍遥歌など、楽しい時間は、またたく間に、お開きとなりました。

また、4月に開催した「ヤマサ蒲鉾工場＆芝桜ツアー」のような支部会員同士の交流が図れる支部活動を今後も進められればと思っております。今後も東播磨支部をどうぞよろしくお願いいたします。

前支部長　山本憲章(35回)

姫路支部

67年の伝統の支部 今年も親睦を深める

平成27年度姫路支部総会は、平成27年10月24日(土)午後6時より姫路キャッスルホテルにて38名の参加者で開催いたしました。昨年は、当日配布の写真が終了ぎりぎりでしたので、今年は急遽総会前に撮ることとしました。全員集まるかどうか心配しましたが、さすが大樟会の皆さん、時間どうりの出席で添付の記念写真を笑顔でとれました。感謝！感謝！

その後、永井支部長より、姫路支部は、67年の長きにわたり先輩、先人の努力によりここまで続けられた、これからも微力ながらがんばりますと挨拶があり、引き続いて来賓の佐藤理事長、大樟会の内田事務局次長から大学、同窓会の現状や活動状況等々についてのご説明と報告を兼ねたご挨拶をいただきました。さらに会計報告、監査報告の後、懇親会に入り、和気あいあいとした自己紹介などを通じて大いに会員同士の親睦を図りました。

また、来年はお互いに同窓生を誘って参加することも宣言してくれました。全員で学歌・逍遥歌を合唱し、懐かしくも大変楽しいひと時を過ごすことができました。最後に大学の一層の発展とお互いのご健勝を心から祈念しながら、来年度の再会を誓い合って三本締めで散会いたしました。次回総会は、平成28年10月22日(土)、同じ時間、場所で開催します。なお、恒例の記念品は、ぶんせんの播磨佃煮でした。

支部長　永井孝治(37回)

鳥取支部

8年振りに支部総会を開催

鳥取支部は、支部役員の努力が実って、平成19年以来、実に8年振りに支部総会を開催することができました。

平成27年5月30日(土)午後6時から、同窓生が経営する鳥取県三朝温泉「花屋別館」において、来賓として大学から佐藤武司理事長、大樟会本部から田村正晴会長、廣野義直組織部長、山本隆造常務理事を迎え、支部会員18名が参加して開催されました。総会では、秋口支部長の挨拶に始まり、各来賓からの祝辞が披露され、和やかな雰囲気のなかで、久し振りに支部会員の親睦を深めることができ、今後の支部活動についても、大樟会本部役員との間で意見交換を行いました。

地方支部の活動を続けることは難しい面がありますが、今後の鳥取支部のご健闘を期待いたします。

大樟会事務局

奈良支部

今後の大樟会の活性化のために

本年の奈良支部総会は、平成27年11月15日(日)午前11時より、奈良商工会議所ホールで開かれました。大学から木村俊郎経営学部長、大樟会本部から竹中亨事務局長、堺支部から堀本修支部長のご出席をいただきました。支部員は、例年通り30名位のいわゆる見慣れたメンバーの会となりました。運営内容は、大学および大樟会の活動報告、その後懇親会という流れでした。

今回も若い世代の参加者は4名でした。内1名は、本年4月からの新社会人岡田啓暉さん(81回生)の参加でした。新社会人の彼からのお話では、とても新鮮で働く意欲に溢れており、出席者にとって活力となりました。

さて、皆さんとの意見交換の中、懸念されることは、まだまだ参加人数が少ないこと、そして次世代を担う若い方の参加者があまりに少ないことが挙げられます。せっかくの貴重な交流の場なので、もっと活性化されて然るべきであり、そのためにはより多くの参加、とくに若い方にもっと積極的に参加していただき、幅広くかつ活発な意見交換を行うことが肝要であります。

次に、会運営に主体的に取り組んでいる方が少ないことも課題と感じました。よりたくさんの方々に積極的に様々なイベントの提案や運営などに関わっていただき、今以上に楽しく盛り上がる会になれば、奈良支部全体の発展にもつながるのではないでしょうか。

皆様、とくに若い方の参加をお待ちしております。共に盛り上げましょう！　保田まち子(77回)

淡路島支部

南あわじ市で支部総会開催

平成27年9月26日(土)、世界遺産登録を目指す『鳴門の渦潮』が眼下に迫るホテルニューアワジプラザ淡路島において、第25回支部総会が34名の出席のもと、盛大に開催されました。

竹内支部長の挨拶のあと、佐藤武司理事長、春木洋次大樟会常務理事からご祝辞ならびに大学の近況報告をいただいた後、議案審議に入り全ての議案について可決承認いただきました。

今年は「松帆銅鐸の出土」「淳仁天皇没後1250年」と、淡路島の歴史にとって特筆すべき年でもあり、淡路地方史研究会長の武田信一先生を特別講師にお招きし、『淡路の歴史に学ぶ』と題して、記念講演会も開催いたしました。

熱心な聴講の後、赤松副支部長より講師お礼と総会審議のお礼があり、会場を移して記念写真、懇親会。はじめに祝辞を兼ねた乾杯のご発声を、元大経大客員教授の西村康稔衆議院議員からいただき、宴たけなわの折、大樟会旗のもと円陣を組み、全員で学歌・逍遥歌の大合唱、最後に上田敬二郎大樟会常務理事より当支部発展を祈念するとのお言葉をいただき、盛会のうちに閉会となりました。　幹事　榎本輝夫(47回)

岡山支部

初参加は8名 今後の課題は参加者を増やすこと

6月27日(土)午後5時より、平成27年度岡山支部総会を50回卒の松山さんが支配人を務める岡山プラザホテルにて開催いたしました。

大学から徳永学長、黒正明評議員、大樟会本部から角脇常務理事、津山支部から竹本支部長のご出席を賜りました。

第1部の支部総会では26年度決算報告、27年度予算が全員一致で承認されました。その他次年度の総会開催日について質疑応答があり、毎年6月最終土曜日とすることが賛成多数で決定されました。来年度以降も毎年6月最終土曜日に開催しますので、皆様予定に入れておいてください。

その後徳永学長から大学の近況についてのご報告があり、施設整備も進み新しく綺麗になった母校にぜひ立ち寄ってほしいとのお話でした。また、入学志願者も増加し、就職率も向上しているとのこと、「さらに100周年に経済、経営系の私立大学でナンバー1へ」という力強いお話で同窓生一同思いを強くしました。

全員記念撮影の後、お待ちかねの懇親会へと移りました。今年が初めての参加という方が8名でしたが、同じ大阪経済大学出身の仲間同士、すぐに打ち解け、永年の付き合いのようになれました。話も盛り上がりとても楽しい時間を過ごすことができました。毎年初参加の人が多く来てくださるのですが、なかなか参加者総数が増えないので、増やすことが今後の課題だと思います。

最後に例年通り全員で肩を組み学歌、逍遥歌を斉唱し、会を終えました。本当に同窓生の絆が深まった良い会になりました。

今回都合がつかず出席できなかった皆さん、来年は6月最終土曜日(25日)に開催しますので、是非ご参加ください。　支部長　松永清彦(41回)

津山支部

2回目の真庭での開催

平成27年8月22日(土)、真庭リバーサイドホテルにて、大学より崎田洋一事務局長、大樟会より山本隆造常務理事、岡山支部より松永清彦支部長にご出席いただき、また34期の内藤さん、70期の井浪さんの初参加を含め28名の会員の参加により、総会を盛大に開催することができました。

総会では、崎田事務局長、山本常務理事より大学・同窓会の近況等のお話しをしていただいたのち懇親会へと進み、乾杯の後、近況報告そして今回も35期の岡田さんの一人芝居で盛り上がり、みんなで学歌・逍遥歌を斉唱し、最後に一本締めで閉会しました。

前回の真庭での開催より参加者が少なかったのは残念でしたが、お世話をしてくださいました皆様、ありがとうございました。来年は、一人でも多くの参加を期待しています。　幹事　前田基美(46回)

支部だより

備後支部

第11回備後支部総会 瀬戸内の魚料理を堪能

本年は、同窓会設立80周年という記念すべき年にあたり、いつも福山駅前のホテルを同窓会会場として利用しておりましたが、会場の都合がつかなくて、色々模索した結果、沼隈半島の南端、通称『阿伏兎観音』のある『みかど別館』に決めました。当日はあいにくの曇り空で、福山駅北口へ集合しバスで会場へ行きました。バス到着後全員で『阿伏兎観音』を拝観し、記念写真をとりました。

『観音堂』の真下は断崖絶壁のため、最初に拝観いたしました・・・・・。今回の出席者は21名で、前回より若干増、また大学より藤本情報社会学部長、大樟会より角脇常務理事、また近隣の陰山広島支部長のご臨席を得て開会しました。恒例により、来賓二氏の学園近況報告の後、陰山広島支部長の音頭で開宴し、海の畔の、魚料理を楽しみました。今回は、今までと会員のメンバーが入れ替わり、昔話に花が咲いたようでした。

一番の若年者は75回卒の広島銀行福山営業本部勤務の三好孝平君でした。年々高齢化していく会員の中で若年者の参加は嬉しいものです。最後に支部長の音頭で、学歌を歌い会を終えました。

副支部長　岡崎正廣(37回)

広島支部

第74回支部総会 マツダスタジアムで開催

平成27年4月29日(水・祝)、大学から崎田事務局長、大樟会から田村会長、角脇常務理事のご出席を賜り、支部総会をマツダスタジアムのラグジュアリーフロアにて開催しました。

午後2時からの対DeNA戦開始2時間前に集合、ご来賓の皆様からご報告等、お言葉をいただき、28回卒の清水義弘先輩の乾杯のご発声で食事会スタート。初参加の先輩、広島に転勤で来られ、営業もナビでしか動けない後輩等、楽しく歓談しました。

試合が始まり、赤いユニフォームを着て、カンフーバットを打ち鳴らして、カープ応援!!マル!!しっかり打て!!等、応援もヒートアップ!!結果は9対2と快勝。皆さんが、一つになって楽しく過ごせた1日となりました。

まだ若い後輩の方々の参加が少ないのが残念ですが、いろいろな場面を今後も造り出しながら、支部の活性化に努めていきたいと思います。支部の皆様よろしくお願いいたします。支部長　陰山秀明(44回)

山口支部

限界集落回避で新支部長に期待

山口支部総会は10月24日(土)午後3時30分から山口市湯田温泉の老舗旅館「かめ福」で開催しました。大学からは藤本髙志経済学部長、大樟会からは竹中亨事務局長にご出席いただきました。直前になって欠席者が相次ぎ、17名と少し寂しい総会となりましたが、元山口県知事の二井関成客員教授、また昨年本学理事に就任された元山口大学の副学長を務められた坂手恭介氏、前全国市議会議長会会長の関谷博氏も多忙な公務の中、時間を割いて下関市から駆けつけていただきました。また、現役時代は米軍基地を抱えて難しい市政のかじ取りをこなされてきた元岩国市副市長の大伴国泰氏も久々に顔を出していただきました。

レセプションに移り、参加者の近況報告をしていただきましたが、出身は愛媛県ですが、単身赴任で柳井学園高校野球部監督を務めている高橋克好氏は甲子園を目指して闘志を披露しました。同校は数年前に山口県代表になったこともあり、夢をもう一度と会場からエールを送りました。また現役時代は周南市の競艇場を担当していた石田公希氏は「財産を減らしたかったら是非競艇場へ。ギャンブルは必ず胴元が儲かる仕組みになっている」と舞台裏を披露し、参加者から大受けでした。

最後に小生、江村前支部長から引き継ぎ19年間務めた山口支部長を後輩の藤原俊明氏にバトンタッチすることにしました。彼は山口県庁在職中は周南県民局長を務め、リタイア後は山登りのため東北地方まで車で出かけるほどのバイタリティーがあり、今後の山口支部が限界集落になるのを阻止してくれることを願っている次第です。

前支部長　小林真人(32回)

香川支部

伝統ある香川支部

去る平成27年6月27日(土)、高松市内のホテル・ルポール讃岐において香川支部の総会が開催されました。今回は初めて愛媛支部より眞鍋支部長並びに宮崎事務局長をお迎えし、総勢46名という近年最多の会員の方々にご列席いただき、当面の目標の50名まであと一歩まで近づきました。懇親会では宮崎事務局長や寺嶋英世さんの見事なクラッシックギターの演奏、また私のエレキギターなどで会場の熱気が高まり大盛況のうちにお開きとなりました。

さて、我が支部は姫路支部につぐ全国で二番目の支部として昭和26年に結成されました。24年前の和田支部長(四代目)の時代には66名という参加者を結集した偉大な実績を残されております。私も常にこの数字を意識しながら鋭意努力しており、支部創立70周年を迎える2021年迄にはこの記録を超えることを目標にしています。

大学も少子化問題を抱え、先行きの不安感を覚える昨今ですが、我々の地道な活動と努力によりこうした支部総会に一人でも多くの会員の方にご参加いただくことが本校発展の一助になると信じ、奮励しております。

支部長　鈴木澄夫(36回)

徳島支部

卒業生による講演会など充実の本年度事業

平成27年1月24日(土)午後6時からホテルクレメント徳島で平成26年度支部総会を開催しました。

樫本孝支部長の挨拶から始まり、大阪経済大学理事長佐藤武司氏、大樟会会長田村正晴氏より、それぞれご挨拶をいただきました。

本年度事業報告としては、卒業生による講演会を実施。第1回は、平成26年1月26日(日)、ホテルクレメント徳島に、講師として(株)徳島銀行頭取吉岡宏美氏(41回)をお迎えしました。参加者は25名。第2回は、平成26年9月18日(木)、グランドパレス徳島にて講師を(株)アイ杉原代表取締役会長杉原勲氏(37回)にお願いしました。参加者は26名。恒例のゴルフコンペは、平成27年10月18日(土)月の宮CCで開催。参加者は10名で、三木敏氏(37回)が優勝されたことなどが報告されました。続いて次年度事業計画案の発表も行われ、総会を終了しました。

その後、吉田稔光氏(55回)の司会により懇親会へと進み、各自お酒を酌み交わし親交を深めました。終盤にはビンゴゲームを行い、午後9時まで長時間となりましたが、楽しく過ごすことができました。

最後に、阿部好宜顧問(30回)の一本締めにより、来年の再会を誓い合いました。　事務局次長　川真田博敏(42回)

北九州支部、大分支部、熊本支部

三支部合同総会を開催

平成27年度は大分支部の復活を祝し、7月4日(土)、北九州・大分・熊本各支部合同とし、玉名温泉ホテルしらさぎにて開催。

まず、熊本支部、濵の開会挨拶に続き、小林大樟会副会長、藤本情報社会学部長の祝辞と続き、乾杯の発声を植田北九州支部長の声高らかな音頭で懇親会へと移行。途中、北九州支部の河野氏をリーダーとする生バンド演奏を約45分間お願いし、場を盛り上げていただきました。中締めの挨拶が寒田大分支部長よりあり、総会は終了。

続いて近くのスナックに場所を移し、二次会となり、約2時間、一刻もカラオケの途切れることなく、ホテルへと酩酊状態で帰りベッドにて就寝、一晩の楽しい夜を過ごしました。総員23名の良き思い出となったことと思います。

地方支部の置かれた位置は厳しいものがあります。費用対効果理論で地方入試はなくなり、九州からの入学志願者は激減、卒業生は地方へ帰らず、いよいよ今後の支部存続は厳しいものがあります。遅きに失した感はありますが、何らかの対策が望まれます。皆様方の賢明なるご意見、行動をお願いするものです。　支部長　濵　忍(35回)

高知支部

平成27年度大樟会高知支部総会

平成27年10月24日(土)、三翠園にて高知支部総会を開催いたしました。当日は天気にも恵まれ、すぐ目の前の鏡川でふるさと祭りがおこなわれていました。出席者は若干少なめの16名です。大学からは木村経営学部長、大樟会からは川口常務理事、近隣の愛媛支部からは宮﨑事務局長にご出席いただきました。

今回は初の試みとして、総会前の30分“厚生年金と共済年金の統一について”というテーマでセミナーをいたしました。来賓の先生方からは、大学の現状や11月1日のホームカミングデーの話等々、ハード面、ソフト面で目まぐるしく変化する周辺環境についてお話しいただきました。

続いて懇親会に移り、来賓の皆さまも高知県人のように、“ワイワイ”“ガヤガヤ”と土佐流の宴を堪能していただき、宴席の中締めには学歌の斉唱、そして井上一仁(50回卒)さんの見事なエールにて終了しました。

同窓生の皆様、年に一度大学時代にタイムスリップしませんか？皆さまの出席を楽しみにしています。　支部長　南　宏道(52回)

愛媛支部

愛媛支部と四国サミット

「古事記」に「伊予国は愛比売といふ」とあり、女の神様の名が付されています。伊予国は東予・中予・南予に三分されており、当初、八つの藩がありました。南予の宇和島藩・吉田藩・新谷藩・大洲藩の四藩が合併し神山県が成立。中・東予の松山藩・今治藩・小松藩・西條藩が合併し石鉄県が成立。さらにこの二県が合併して、現在の愛媛県が誕生。その南予・八幡浜市にて、平成27年7月12日(日)大樟会愛媛支部総会が開催されました。32回目にして初めての南予開催です。大洲市の川西さん(35回)には、会場設置等、ご尽力賜りました。また、八幡浜市の菊池さん(37回)からは、出席者全員に手製の名産「オレンジジュース」をいただきました。ここに、誌面をお借りして御礼申しあげます。

四国四県は険しい山々に囲まれており、歴史的にも意外に交流が少なく、独自の県民性や文化が育まれてきました。これが「四国は一つ、ではなく一つずつ(・・)」と言われる所以であろうか・・・？

この様な四県をつなぎ止めているのが、四国88ケ所遍路網であろうと思われる。ところで現在の大樟会四国ブロックも一つずつの感がありますが、四国サミットという形で一つにまとまれば・・・と近年試行錯誤しております。

来年は、県都松山市での開催を予定しております。ぜひ足をお運びください。　事務局長　宮崎　望(37回)

支部だより

宮崎支部

会員の日頃の協力に感謝

平成27年11月21日(土)、第13回宮崎支部総会をホテルメリュージュ宮崎で開催しました。出席者は日頃から支部活動に協力的な会員を中心にした顔ぶれでしたが、遠方からの出席や出張帰りの人がその足で駆けつける等の協力により一定の人員の確保ができました。今年は久し振りに南九州支部の前薗支部長が出席されたため、話題が多く旧交を温めることができました。

総会では活動報告や次年度の案件等が上程されましたが、当支部の課題は現会員の高齢化が進んでいること、さらにこの数年の間、若い会員が誕生していない状態であることから、「新会員の掘り起こし」を目標にすることを確認しました。なお、大学から草福総務部長、大樟会本部から上田常務理事に遠路ご臨席いただき、各々近況報告をいただきました。大学における入試関係、就職内定状況やクラブ活動の活躍等、そして大樟会については新会長就任に伴い、全国支部の拡充等の運営方針や活動状況の報告があり、地方におる者として母校の規模拡大に驚くと共に、頼もしさを感じました。

懇親会では沖縄(出張土産)、鹿児島(前薗支部長差入れ)、宮崎の各県の酒・焼酎を酌み交し、大いに賑わいました。

支部長　福田俊彦(32回)

南九州支部

今回もまたなつかしい顔がありました

平成27年11月14日(土)、鹿児島ワシントンホテルプラザ三十三間堂において例年通り支部総会を開催しました。大学と同窓会からお二方参加していただき、今年も小規模ながら、にぎやかに会を進めることができました。

3年後を目途に、沖縄を独立させるべく努力しようということになり、幸い会員の拠点が浦添市にあるということで、とりあえず南九州支部の分室と位置づけて名簿の充実をはかり、同窓生への呼びかけを試みることとします。沖縄には、各企業に就職されている同窓生が、多数在沖されているようです。この記事を読まれた諸兄のご連絡をお待ちしています。

加えて今年から、在学中の学生のご父兄にも参加いただくようにご案内しましたら、早速出席をいただき光栄でした。来年からも色々な方法で、呼びかけをしてまいりますので、諸氏諸兄のご協力をお願い申し上げます。大学に対し同窓会の名簿の充実と個人情報に敏感すぎるのでは、また卒業生名簿の公開室があってもよいのではというご意見もありました。

支部長　前薗博隆(34回)

部　会

大樟春秋会

大樟春秋会(西部)開催

平成27年度大樟春秋会(西部)の総会は、4月6日(月)午後6時から京都「あと村」で行われました。出席者は来賓を含め19名でした。

会は矢倉会長(エー・アイ・ティー社長)の開会の挨拶、佐藤理事長、徳永学長の挨拶と続きました。理事長は、5月に学内が新体制になるので、前向きに動いていきます。9万2千名のOBをバックにしていますが、特に春秋会のバックアップは力強く思っていますと述べられました。学長は、受験生も順調に増加し、学生に対するアンケートでは、本学を第一志望とした学生も多く、本学に対する満足度も高いという結果が出ました。創立100周年に向け、大学の力を着実につけていきたいと挨拶されました。

事務局より会計報告、監査報告、本年度の会の開催予定(案)、進路支援部とのタイアップ事業等について説明が行われ、いずれも承認されました。

次いで、高岡副会長(タカショー社長)より30分間にわたり「大経大が今後目指すもの」「春秋会のあり方」について熱く明快に語られました。

懇親会は、午後7時から、大河内副会長(京都西川社長)の挨拶、乾杯の発声に始まり、田村大樟会会長の挨拶もあり、午後9時15分、竹内洲本市長の挨拶と一本締めでお開きとなりました。

なお、春秋会(東部)は6月初旬から中旬に開催予定。

事務局長　志水利通(23回)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

忘年会を兼ね講演会と懇親会を開催

平成27年12月1日(月)午後6時から、師走の雰囲気が溢れる大阪天満橋大川沿いの大阪キャッスルホテルで、忘年会も兼ねた大樟春秋会(西部)が20名の参加を得て開催されました。

まず、矢倉英一大樟春秋会会長の開会の辞の後、来賓の佐藤理事長から、この一年間の春秋会の活動に対するねぎらいの言葉が述べられました。続いて、春秋会会員の大阪成蹊大学専務理事佐藤英夫氏(40回卒)が「少子化時代の大学改革」という大学関係者にとって最も興味のあるテーマで講演が行われました。さらに、大学の黒正洋史進路支援部長から最近の学生の進路支援に関する大学と春秋会の連携について報告がありました。また、今回初参加のいちよし証券㈱執行役員の玉田弘文氏の挨拶も行われました。

その後、田村大樟会会長の挨拶、㈱京都西川社長大河内徹心氏(39回卒)のユーモア溢れる乾杯の発声で懇親会に入り、和やかな雰囲気のなか、カラオケも交えて、この一年を振り返り、歓談が続きました。

大樟春秋会事務局

大樟体育会

第15回大樟体育会総会を開催
学校経営におけるスポーツの位置づけとは…

平成27年6月13日(土)午前11時から、本学E館7階の第1・2会議室で第15回大樟体育会総会(平成26年4月～27年3月)が開催されました。出席したクラブは23クラブでした。

開会に当たって、山本隆造大樟体育会会長は、「大樟体育会は15年前に体育連絡協議会として発足しました。今では34クラブになりましたが、まだまだ入会していないクラブがあります。我々はクラブに助けられ、クラブに育てられ、そして今があります。その恩返しとして、学生を支援していかなければならないと考えます。そして大樟会会長出身の佐藤理事長を、スポーツクラブが一致団結して盛り上げ、さらに大学を盛り上げていくことが必要です。今後、大学経営はますます難しくなります。今こそ、大樟体育会としてやるべきことをやらなければならないときです」と力強く挨拶されました。

続いて、佐藤武司理事長は「本日、ご出席の指導者の皆さん方には、現役の学生諸君に対し『スポーツはもちろん、勉強の方も頑張れよ』と言っていただきたい。そして会釈など日々の行動、立ち居振る舞いもきちんとするように指導していただきたい。スポーツクラブの学生が他の学生の手本となれば、学校側の体育会の学生に対する評価もさらに高まることになります。

推薦枠が70名とか75名といった数字の問題ではなく、学校が経営の一環としてスポーツをどのように捉えているかということです。少なくともスポーツが一つの核となるような大学にしていきたいと考えています。その結果、70名とか75名といった枠も自ずと変わってくると思います。

上新庄のキャンパスにはグラウンドがありません。摂津まで行かなければならない。これについてもいろいろと施策を進めています。皆さん方からのご提案があれば私に出していただきたい。言うべきことは言い、変えるべきことは変えていきます。そういうことで大学の改革を進めていきたい」と体育会OB諸氏に訴えられました。

次に挨拶に起った田村正晴大樟会会長は「昨今、世間では東京六大学で連戦連敗していた東大野球部が勝利しました。また、京大から初めてプロ野球選手が誕生しました。正に文武両道の流れが定着してきた時代だと思います。そういうなかで、大学と同窓会は学生スポーツをどのように支援していくのか、その態勢づくりをきちんとしていかなければならない。スポーツ推薦の問題もありますし、学業の問題もあります。皆さん方には個々のクラブの勝ち負けにこだわらず、今、大学におけるスポーツのあり方を確立することにご支援を賜りたい。

同窓会は、今年、設立80周年という節目を迎えます。大樟体育会は、学生、大学を支援するための組織です。と同時に、同窓会大樟会も大学を支援するための組織です。そういう意味で、皆さん方には大樟体育会はもちろん、同窓会大樟会全体へのご支援もお願いしたい。本年11月1日の大樟会総会には、是非、ご参加いただきたい」と述べられました。

続いて、山本会長を議長に選出し、議案書に基づき役員改選、本年度の活動報告、決算報告、さらに次年度の活動方針(案)、収支予算(案)等、議案の審議が行われましたが、すべて原案どおり承認されました。さらに、本年度優秀選手の表彰が行われ、弓道部など5団体と個人3名が表彰されました。

この後、大学の斉藤裕士学生部長から「クラブ活動のサポート状況とお願いについて」の解説が行われました。

なお、会議の席上、今後は表彰の対象者をトップアスリートなどに絞る一方、永年、手弁当で体育会に協力され、特に功績のあった指導者を表彰してはどうかという提案や、スポーツで怪我人がよく出るが、怪我をしないためのセミナーの開催を検討してはどうかといった意見も出された。

この後、隣の「大樟ラウンジ」に場所を移して、懇親会が行われた。

広報部　内田敏雄

池田泉州銀行大樟会

合併5周年を機に【経友会】から【大樟会】へ名称変更
陸野新会長の下、新体制がスタート！

平成27年度経友会総会を8月4日(火)、梅田の「大阪新阪急ホテル」にて開催いたしました。大学から平等人間科学部長、大樟会から田村会長、山本常務理事、当行の藤田頭取、㈱自然総研の大久保社長をご来賓にお迎えし、総勢79名(会員数136名)の参加となりました。

総会は東副会長の挨拶の後、議案審議に入り、経友会から大樟会への名称変更、役員改選が承認され、陸野新会長の下、新体制が発足しました。続いてご来賓の方々よりご祝辞を頂戴し、大学の近況や大樟会の動向について拝聴しました。

大野副会長の音頭で乾杯の後、懇親会となり、世代を超えた卒業生の各職場での奮闘ぶりに相互刺激を受け、母校の「つながる力」を実感する場となりました。途中かけつけてくださった藤田頭取からも激励のお言葉をいただきました。

その後、新入会員の紹介、ビンゴゲームで盛り上がり、グリークラブOBの里谷さんを中心に学歌・逍遥歌を斉唱。田中名誉会長による閉会挨拶で盛会裡にお開きとなりました。

事務局長　田中晃正(59回)

税理士大樟会

台風襲来のなか、第24回定期総会無事終わる

平成27年7月17日(金)午後5時10分からハートンホテル心斎橋で定期総会が開催された。当日は、台風11号の暴風雨の影響で交通手段が遮断され、出席予定者が来られなくなった事情もあって、25名と例年に比し出席者は少なかったが、盛会であった。松浦総務部長の司会の下、三木泰前会長が選ばれて議長となり開会を宣し、1号議案、事業報告・収支計算報告が執行部から上程され、異議なく承認された。引き続き2号議案、事業計画・収支予算案が上程され全員異議なく原案通り承認可決された。引き続き、その他の事項で植村会員から「ほとんどの大学で二部が廃止されているなか、本学のみが夜間に学びたい人々のために門戸を開き、社会に貢献している。ついては二部生のOB会を創設して何らかの協力をしていきたいので、情報提供等ご協力願いたい」との発言があった。

檜垣会長は議事に入る前に、明るく親しみやすいフラットな運営をしてきた。その一つとして、今年度は家族を含めた親睦会、社労士大樟会とのゴルフコンペ等、多くの参加者を得て実施した。また、広報部においては、遠方の会員でなかなか会合に出席できない会員に投稿依頼をし、紙面参加をいただき意義があったとの報告を交えた挨拶があった。

議事終了後、本学佐藤理事長より「少子化の進展により消えていく大学が増えるなか、生き残るため変化し、変化に耐えうる大学運営に取り組んでいる。本学は経済経営系の大学であるが、建学の精神を生かしつつ総合化への道も模索している」との、OBとして、また事業経営者の目線で、さらに元同窓会長の視点から挨拶があった。

最後に田村大樟会会長から「事は節目節目をクリアーして成長する。本学はすでに80周年を終えたが、本年、同窓会が80年の節目を迎える。11月1日(日)のホームカミングデー・同窓会設立80周年記念総会に多くの参加を期待している」との挨拶があり、中坪専務理事の閉会の辞をもって総会は和やかなうちに終了した。

総務部員　東　和伯(近畿会東淀川支部)

支部だより

日立大樟会

大樟会との絆をさらに深めて

平成27年9月4日(金)、第29回の日立大樟会を昨年の母校から元の大阪市北区「ガーデンシティクラブ大阪」に会場を戻し、大学側からご来賓として佐藤理事長、田村大樟会会長並びに事務局から秋山監事のご三名をお迎えして開催しました。

当日は総会に続き懇親会で、この一年間の大樟会の行事(佐藤理事長就任祝賀会、ホームカミングデー・大樟会総会、支部長会議・理事会など)の写真をプロジェクターで投影し、大樟会の活動についてさらに関心を深めてもらう目的で皆さんにご覧いただきました。皆さんは「澱江」などで大半のことはご存じでしたが、改めて見ていただくことで、より一層のご理解を深めていただいたことと思います。

席上、佐藤理事長からは、2018年からはじまる大学受験者人口の減少問題や近隣の他大学の動向に対して本格的な対応(改革)を進めていく。田村会長からは、大樟会は、本年同窓会設立80周年を迎え卒業生10万人時代に入っていく。本年はその節目の年なので、大樟会総会への皆さん多数の参加をお待ちしている。また、秋山監事からも大樟会への参加とご支援をお願いしたい等のお言葉をいただきました。当日、事務局から大樟会「設立80周年記念」のボールペンをいただきました。

その後、皆さん各々の近況報告を行い、最後に全員で学歌・逍遥歌を斉唱し、元応援団の小坂朋弘さんのエールで中締めをし、大樟会総会での再会を約束してお開きといたしました。

会長　山下徹男(37回)

大学院大樟会

大学院支部総会の報告

平成27年11月1日(日)、ホームカミングデーと同窓会設立80周年記念総会の後、E館7階会議室で大学院同窓会総会を開催しました。参加者は4名でしたが、大学院大樟会のあり方をめぐって熱心な議論が交わされました。

まず、北浜の大学院修了者の同窓会を活発化するにはどうするかが話題になりました。つまり、北浜キャンパスで学んだ修了者だけでなく、経済学研究科、経営学研究科、経営情報研究科、人間科学研究科の全修了者が手を結ぶ同窓会でありたい。そのためにも、なお一層、同窓会活動が活性化する努力を重ねていきたいということです。

次に、留学生の支部をつくれないかという議論になりました。たとえば、中国支部、韓国支部、カナダ支部、ドイツ支部などができたら、後から続く者の支援になるのではという意見です。ただ、個人情報の保護という観点から難しいという結論になりました。

最後に、経済学研究科の振興を図るにはという話題になりました。これらは、いずれも大阪経済大学と大樟会の発展に寄与したいという熱い思いの表われでした。

会長　川口正義(41回)

大樟教育研究会

平成27年度　総会・分科会開催
講演「いじめと向き合う」に耳を傾ける

平成27年11月14日(土)午後、第15回目となる本会総会・分科会を大阪経済大学E館にて開催いたしました。会員の卒業生・学生諸君合わせて80名を超える参加者でした。前日から予想された雨模様でしたが、事前のマナーアップ活動にも学生諸君とともに卒業生が参加させていただきました。ほとんどゴミ1つない大学構内に感心しました。

今年度の総会は、「いじめと向き合う～大学で何を学んだか～」と題した、神戸市こども家庭センターの中南勲先生のご講演をうかがうことで、教育実践から学ぶ本会の目的を達成できたと自負しております。

また、分科会では、小・中・高・支援学校それぞれに、教職を希望する学生との懇談に熱く充実した時間を過ごすことができました。懇親会での学歌・逍遥歌もよい思い出となりました。

このような活動を続けさせていただけるのも、当日ご挨拶をいただきました徳永学長先生をはじめ、大学教職員の方々のご支援・ご指導のお陰です。田村大樟会会長様、同窓会事務局の皆様にもたいへんお世話になりました。今後ともご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

会長　西村幸雄(43回)

社労士大樟会

税理士大樟会との連携強化を確認

平成27年7月25日(土)、社労士大樟会第8回定期総会を本学E館7階会議室で開催いたしました。当日は広島県や高知県からも会員の方々に駆けつけていただき、たいへん充実した総会を開催することができました。

ご来賓として、大学より崎田洋一事務局長、大樟会本部より竹中亨事務局長・内田敏雄事務局次長、税理士大樟会より檜垣典仁会長・中坪健治専務理事のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

総会に先立ち、社労士大樟会久保太郎会長より、会員の増強を図り、税理士大樟会との連携を深めながら着実に発展していきたいという挨拶がありました。

ご来賓を代表して、崎田事務局長から、大学も実学を教育する時代になってきた感があり、社労士大樟会、税理士大樟会の今後ますますの活躍を期待したい、とのご挨拶を頂戴いたしました。

総会は議長に久保会長を、議事録署名人に古池浩二郎氏を指名し、審議を開始いたしました。そして、第1号議案：平成26年度事業報告並びに平成26年度収支決算および監査報告承認に関する件、第2号議案：平成27年度事業計画(案)並びに平成27年度収支予算(案)承認に関する件、がそれぞれ審議され、平成29年7月に迎える社労士大樟会10周年を記念する行事についての質疑応答などを経て、満場一致で承認されました。

引き続き行われた記念講演では、大阪経済大学経営学部講師小川悦史先生より『組織を変える人材育成～実践的方法と考え方～』と題してご講義いただきました。人材育成については経営人材の果たす役割が大きく、上司の仕事とは人材育成であり、部下の意識を変え知識やスキルを業績に結実させる要となることであるというたいへん示唆に富んだお話を頂戴いたしました。

記念講演終了後に懇親会が開かれました。税理士大樟会から大山伸之副会長も駆けつけてくださいました。税理士大樟会の檜垣会長からご挨拶を頂戴し、次いで大樟会本部の竹中事務局長の高らかな乾杯のご発声でスタートです。今回も大山副会長から貴重な日本酒と焼酎をご恵贈いただき、美味しく頂戴いたしました。大山先生ありがとうございました。

時の経つのも忘れる賑やかな懇親会で、同窓の絆がいよいよ深まり、大いに盛り上がりました。終盤、当会の酒井三雄副会長による中締めが行われ、内田事務局長次長の学歌先導、桧垣会長の逍遥歌先導という豪華なリレーで、学歌、逍遥歌が斉唱される中、飛び入りのエールも登場し、爆笑のうちにお開きを迎えました。

社労士大樟会では引き続き会員の募集を行っております。入会ご希望の方は、下記までご連絡ください。

社労士大樟会事務局長　西平綾太
〒599-0212 大阪府阪南市自然田1915-37　西平労務事務所
TEL 072(472)2297 FAX 072(471)7226
mail:ayata@silver.ocn.ne.jp　　事務局長　西平綾太(48回)

社労士大樟会

社会保険労務士は企業の健全な発展と働く人々の幸福を目指します!!

育児介護休業法・労働者派遣法・労働契約法・高年齢者雇用安定法が改正されました。「雇用」をめぐる情勢は大きく変化しようとしています。「社労士」は雇用管理のエキスパートとしてこれらの法改正を企業の現場にソフトランディングさせる「コンサルテーションを行う実務家」です。

社労士大樟会　会長　久保　太郎(31期)
【2013年11月3日　旭日小綬章　受勲】

社労士大樟会は2008年7月に誕生した大阪経済大学同窓会の職域支部です。学術の研究、講演会の開催等会員の資質向上及び社会的貢献につながる事業と会員相互の親睦をはかる事業を行っています。社労士資格をお持ちの同窓生の皆さん！ぜひご参加ください。「つながる力」を結集しましょう。

お問合せ先:事務局長　西平　綾太(48期)
TEL 072(472)2297　FAX 072(471)7226

23期生の集い

23期生会

平成27年2月15日(日)、母校50周年記念館(E館)7階会議室において開催されました。今回で連続31回目の集いとなります。

出席者は28名でした。卒業してから58年目になりましたが、皆元気で参加されました。年齢も皆80歳に入りました。大学よりは崎田事務局長と大樟会より竹中事務局長をお迎えしたところに、大樟会の田村会長も特別に出席していただき、たいへん良かったです。田村会長をはじめ各事務局長より学校および大樟会の現況とご挨拶を共に話していただき、ありがとうございました。

その後、皆で楽しく食事をしながら出席者が一人づつ現況について色々と話してもらい、全員の現況を聞くことができました。本当に和気あいあいの楽しい一日でした。その後、常深さんの音頭で全員が学歌を久し振りに合唱しました。その後、記念写真を全員でとりました。なお、本日都合悪くて欠席の人達も来年は是非出席してください。

来年は2月の第三日曜日で平成28年2月21日を予定しております。私達の年齢になると何よりも健康第一です。皆様の元気なお顔を拝見したく思っています。　酒井弘光(23回)

同期生で旅行したいな～
―今年もホテルモントレ大阪で―

27期会

かつての裏町のイメージを一新して近代的な高層ビルが立ち並ぶ西梅田の一角にレトロ調の建物で一際目を引く「ホテルモントレ大阪」があり

ます。卒業55周年記念となる今回の澱江27期会は、平成27年4月17日(金)午後6時30分から、いつものこの会場での開催となりました。

今回の参加者は角田喬計さん(阪南市)、鴨田博司さん(高石市)、角本喜八郎さん(池田市)、岸野光雄さん(高槻市)、車野修三さん(泉佐野市)、松田英志さん(豊中市)、神代憲治さん(尼崎市)で、昨年より2名少ない7名の方々となりました。

角田さんの司会で始まった懇親会は、まず、大樟会から同窓会と大学の近況報告、そして鴨田さんの開会の挨拶の後、歓談に入りましたが、やはり話題は健康のことと同窓生の消息が中心です。

「○○さん、どうしてる？」。「亡くなったらしいで」。「何言うてんね。元気やで。あんたすぐに人を殺してしまうなぁ」で、一同大笑い。おいしい料理とお酒は飲み放題ということでしたが、さすがにお酒は控え目、ビールではなく健康によいと言われるワインを注文する方もありました。「また、同期生で旅行に行こうや」と話は弾み、最後まで和気藹々の雰囲気で、いつの間にか予定を超える3時間余りが過ぎました。

最後は角本さんの閉会の挨拶で来春の再会を約して、記念撮影の後、解散となりました。

大樟会広報部　内田敏雄

全国9府県から20余名 京都に集う

35期会

平成27年5月23日(土)、大樟会35期会を京都にて開催しました。大学大樟会総会での語らいから始めた経緯もあり、わずかなメンバーで声を

かけ合って輪を広げてきました。ご案内の不行届きから、参加希望があるにも拘わらず、参加願えていない方には誠に申し訳なく思っています。

当日は、20余名の集まりとなり、夕刻より料亭にて歓談後、京の情緒を生かした地へと懇親の輪を広げました。

北は埼玉県から九州・熊本県に至る全国9府県からの参加がありました。

自己紹介では、ゼミでの繋がりで共通点が見つかったり、クラブの昔話が出たり、いろんな共通課題が発見され、話に花が咲きました。学園の想い出は、懐しい半世紀前にまで及ぶ昔へと導いてくれました。

来年は地を変えて、また、会おうと気勢を上げ閉会となりました。

追伸、入会希望者は事務局までご連絡を！　井元喜一(35回)

第35回卒 園田ゼミ(32名)
第3回地域巡回同窓会報告

園田ゼミ「樟々真情会」

第3回目の今回は、恒例の連休明けの平成27年5月9日(土)～10日(日)に開催いたしました。今回は松山で親子2代の老舗、目下3代目のご子息を指導中の多忙な金井氏と四国の銀行に入行され、現在は団体役員としてこれまた多忙な日々を過ごしておられる相田両氏の番で、今回も前回同様素晴らしい企画が実現いたしました。

“瀬戸内しまなみの春風と大橋「海宿千年松」でとれとれの魚料理をお楽しみください”。3回目となるとゼミ

同窓横串の強みで、気心も知れ仲間意識も戻り、全員新尾道駅に集合。ただ、当ゼミ名物男の塩尻氏が腰痛のため、無念残念の休場となりましたが、古希を目前にした仲間が元気よく勢揃いしました。

しまなみ街道をジャガーランドローバーは快走。各大橋を渡り平山郁夫美術館に立ち寄り、さらに亀老山展望台で一休みし、来島大橋と海峡の絶景を楽しみ、本日の宿泊先「海宿千年松」へ到着。

35期生の中で共通の教授を戴き、共通の話題を持ち、共通の青春を送った仲間達。故園田理一先生に優秀な学生の集まりと誉めていただき、校庭の大きな樟の下で競い合った仲間達が、今度は大三島の大山祇神社の天然記念物・大樟の下で楽しく語り合うこの幸せ。

上から読んでも大経大、下から読んでも大経大、横から読んでも大経大、繋がる力「大K大」、絆の強い35回園田ゼミの仲間達です。

当ゼミお抱えのギター・ウクレレのオッサンバンドが「瀬戸の花嫁」を演奏しだすとスーパーサプライズ。千年松女将はじめ全従業員さんが参加で大合唱！皆大感激・大感動。後日夫婦でのんびり来ると言い出す始末。「大経大専属海宿」になるか？これこそ繋がる大経大の底力か？それとも、今回幹事役の二名の人柄か？

さすが今回は、「爆笑駄洒落師弟コンビ」も海宿の皆さんの温かい心遣いの前では不発気味。最後は生演奏での「逍遥歌」「学歌」をスクラムを組んで歌い、終宴となりました。

この写真を見れば、全員屈託のない素晴らしい笑顔。でも皆大経大を思い、後輩達のために道筋を作り、役目を終えた先輩達の微笑ましい笑顔です。

後輩達にも申し上げたい。現役の学生の時代に競い合い、励まし合い、語り合いができるゼミ仲間を大事にして、絆を強固にして、大経大此処にありの気風で頑張ってほしい。

ただ、これだけ同窓会事務局のバックアップがあっても、確認できる仲間以外からの連絡がないことを少し寂しく思う次第です。

次回は、小路・木築両氏により、世界遺産に登録された姫路城のある姫路での再会です。

代表幹事　門永久彦（35回）

創部58周年OB会総会開催 新役員を選出

日本拳法部OB会

平成27年２月21日（土）正午より、母校E館7階第一会議室において、部長の山本俊一郎経済学部教授、大樟会常務理事内田敏雄事務局次長出席のもと、OB、本年の卒業生23名が集い、創部58周年OB会総会、および卒業生５名のOB会入会の歓迎会を行いました。

まず、総会に先立ちOB会員の物故者に黙祷をささげた後、議長に選任された山本隆造OB会会長（10代）・大樟体育会会長より日本拳法会の状況報告、大樟体育会の状況報告等があり、その後、総会議事に入りました。

議事は、平成26年度会計報告、活動報告、27年度活動予定が発表されたほか、新組織の新理事長に沼田悦男氏（10代）、事務局長に古隈節氏（29代）が選任され、執行部の一部改選も行われ、いずれも異議なく承認されました。この後、内田事務局次長から大樟会の近況報告があり、さらに山本教授から新社会人となった卒業生にお祝いの言葉が贈られました。

懇親会は、午後２時より上新庄の中華料理店にて行い、創部60周年に向けてOB会の結束を強めるよう山本会長より締めくくりの挨拶があり、無事閉会となりました。

副会長　細原輝美（42回）

平成26年度総会・懇親会並びに現役学生歓送迎会を開催（報告）

柔道部OB会

平成27年２月22日（日）午後12時30分から、本学50周年記念館（E館）７階会議室において、OB、現役学生40名が集い、平成26年度の総会・懇親会並びに現役学生歓送迎会を開催いたしました。

まず、総会では、石橋事務局長からの開会宣言の後、OB会員の物故者に対し黙祷をささげました。中田副会長の開会の挨拶の後、議事に入り、26年度事業報告、会計報告、監査報告、27度事業案、予算案について各審議を行った結果、いずれも異議なく承認されました。そして、安田監督から、部員の減少はあるが、今後活躍が期待できる新入生も加わり現状以上の戦績を期待したい、との報告が行われ、中田副会長の閉会の辞をもって、総会は終了しました。

引き続き、現役学生歓送迎会に移り、ご出席のご来賓やOB諸氏から、３月に卒業する永井君や４月に入学予定の新入生および現役学生へ、これからの活躍・健闘を祈念する、とのお言葉をいただきました。

卒業してゆく永井君からは、社会に出てからも今まで培ってきた経大魂を発揮して邁進する旨が述べられた。一方、新入生からは、一生懸命練習に励み、レギュラーの座をつかみたいとの抱負が述べられた。

続いて、現役任命式では、新幹部として、主将に椹木恭仁、主務に中川翔太、副将に藤田康平、風紀係に浅井

仁希の各君を任命いたしました。

OB懇親会では、高橋先輩のご発声で乾杯を行い、和やかな歓談の後、上地先輩の万歳三唱、学歌、逍遙歌、柔道部遠征歌を斉唱し、無事閉会しました。　事務長　尾崎義廣(38回)

平成27年度 硬式野球部OB会総会開催

硬式野球部OB会

平成27年２月14日(土)、ホテル阪急インターナショナル・アプローズタワー内の「美味酒楼 佐勘」で平成27年度のOB会を開催。深谷事務局長の開会宣言と司会で議事に入りました。まずOB会員物故者のご冥福を祈り黙祷の後、木岡会長が議長に選出され、会長挨拶に続き河野幹事長から平成26年度事業報告、内海会計から会計報告、岡崎会計監査より監査報告があり、いずれも出席者全員に承認されました。引き続き、平成27年度役員改選に入り、木岡会長、松﨑副会長の留任、新副会長に赤井氏、岡本氏が選出されました。平成27年度の事業計画が河野幹事長、会計予算案が内海会計よりそれぞれ説明があり、原案通り承認されました。

親睦会では田中監督より中村コーチ(昭和46年卒)、山田コーチ(平成16年卒)の紹介があり、今シーズンに懸ける想いを語ってもらい、藤田主将からも「リーグ戦優勝」のために日々猛練習に励んでいる報告を受けました。OB会としてもこの歴史ある硬式野球部の益々の発展と支援体制の強化、OB会員の交流、親睦をより一層深めることを誓い、松﨑副会長の締めで幕を閉じました。

会長　木岡良郎(36回)

OB・OG総会開催 監督に小田 正太郎氏の就任決める

硬式庭球部OB・OG会

平成27年5月31日(日)本学江口グラウンドでOB・OG総会を開き、平成26年度の会計報告と、同27年度の予算案、そして田淵公孝監督の辞任に伴う後任監督に小田正太郎氏(平成４年卒)就任を全員一致で承認しました。

当日は真夏を感じさせる好天に恵まれ、総会を挟んで行われた現役を交えた交流戦では、久しぶりのラケットの感触に参加者一同大満足。OGの参加がかなわず、寂しいものを感じさせられたが、新入部員1年生6名、２年生２名が、今年から新調した真っ赤なユニホームを着てテニスコートを走り回り、硬式庭球部の将来に期待を感じさせてくれました。

なお、当日行われた交流戦では、見陰・島田組が立上・和田組を破って見事優勝しました。

森川義一(25回)

卒業して40年、金毘羅さんで再会

吹樟会(吹奏楽総部OB会)

昭和50（1975）年に卒業して40年という節目に当たり同期で一度も集まったことがないため、一度集まろうと、２代上の九州旅館観光連盟代表理事の松瀬先輩に声をかけ、琴平温泉に宿を確保してもらいました。

新大阪駅発のぞみにて岡山まで。岡山にて真庭市からの同期生とまず合流。岡山から各停でのんびり琴平まで行きました。旅館で大分と地元香川からの卒業生と合流、まずは風呂にゆったりと入り会食が始まりました。40年振りなので顔を合わせても一瞬お互いがわからず戸惑いましたが、すぐに打ち解け40年前のクラブ部室の状態となりました。しかし還暦を過ぎた面々ですので、以前は豪快な酒豪がドクターストップをかけられていたり、体にメスを入れたりとかいった話も出たりで、月日の経過がもたらす現実に一同感慨深いものがありました。

二日目は金毘羅さん詣で、785段の階段を40分かけて登り切りました。上る前は元気だった面々、登れば息が切れ下りは膝が笑い、と大変でしたが、皆無事に下ってきました。朝もしっかり食べたはずが、少し早い目のお昼はもちろん讃岐うどん。おでん一品がつくサービスで皆完食。

参加者は先輩後輩３名を含め10名。トランペットやトロンボーンを今でも吹いている現役がいて、還暦を過ぎても吹奏楽への情熱を失っていないのに感心しました。年に１回集まりたい、という声に励まされ次年度以降もこういった形で集まりたいと思います。

また、11月1日のホームカミングデーに吹奏楽総部初期のOBが集合しました。昭和43年に応援団より独立した当時の先輩たちが、地元の大阪、兵庫、奈良から、また遠くは金沢、福井といったところから参集しました。40数年振りに見る母校は記憶にある校舎がまったくありません。D館での後輩たちの演奏を聴き、体育館の部室に行ってもきれいな建物に感心するばかり。子や孫の世代の現役学生の挨拶を受け皆ご満悦でした。懇親会でビールや立食を楽しみ、あと3年後に迫った独立50周年記念に向けてアイデアを出し合って行こう、と皆で誓い合い解散しました。

高塚邦夫(41回)

来年は卒業50周年記念会を

32期生会

第7回32期生会は、平成27年11月1日(日)、大樟会総会後にE館22教室おいて開催されました。

同窓会(大樟会)設立80周年記念総会の開催日で、32期生会には39名の参加者があり、第1回開催以来のメンバーが集まりました。卒業以降初めて会うメンバーも多く、楽しい一時を過ごすことができました。

32期生会は、来年には卒業50周年を迎えることになります。次回は記念会として開催したいとの提案が、竹中代表幹事よりあり、企画を考えて実施する予定です。多数の参加をお待ちしております。

(おもしろい案があればご提案、お願いいたします。)

五十棲保彦(32回)

監督に廣田英一氏の就任決める

ラグビー部OB会

平成27年6月7日(日)、本学E館7階会議室においてOB総会を開き、今年度の指導体制ならびに会計報告が発表されました。

昨年度まで指揮をとっていた栢本和哉氏の辞任に伴い、OB会長である廣田英一氏が今期から監督を兼務されることになり、挨拶がありました。コーチには黒河伸之氏と一昨年から指導している織戸一馬氏が就任し、OB会事務局の森岡良介が総務担当としてサポートします。

今年度のOB総会は若手OBの参加もあり総勢25名となり、大樟ラウンジで和やかな懇親会が開催されました。　事務局　森岡良介(45回)

3年半ぶりに総会開催

吟詠部OB・樟耀会

なつかしい顔とかお。平成27年6月27日(土)、40数年前、毎昼に、大経大の屋上で大きな声で発声練習に明け暮れていた仲間27名に出会いました。3年前と変わらぬ先輩、また卒業後初めて出会う仲間には「○○さんですよね」と確認し、にっこりとほほ笑みあい、エールの交歓をしながら、ハートンホテル西梅田ガーデンキッチンでくつろぎのひとときが持てました。

総会のはじめに、経過報告と物故された仲間にしばし黙祷、その姿を偲びました。その後大先輩の杉林さんの発声で乾杯。その後懇談に移る。話はそれぞれにたくさんあり、オードブルを取りに足を運ぶのも話に夢中で、もどかしそうな様子でした。

大学の大樟会支部長会で、私の住所地、川西・川辺支部の設立報告のご挨拶をさせていただいたことがきっかけとなり、私の吟詠部時代と同時期に活躍された二部吟詩部の桝本さんとつながることができ、3名の特別参加をいただきました。今後とも参加の確約ができ、新しい仲間が増えました。まさに「つながる経大」の実践版でした。

時間の経過が早く感じられるなか、近況報告をいただきながら、また現在詩吟をやっているメンバーから吟詠の披露もありました。その後、学歌・逍遥歌をみんなで肩を組み合って唄い、大いに若返りました。

会長　竹本 勇(35回)

新会長に吉本雅家さんを選出

アイススケート部OB会

平成27年7月4日(土)～5日(日)ひょうご憩いの宿「六甲保養荘」で平成27年度のOB総会を開催。38回卒井田実幹事長の開会宣言と司会で議事に入りました。梶村貞男会長から26年度事業報告、会計報告があり、いずれも承認されました。役員改選では新会長に32回卒吉本雅家さんが全員一致で選出されました。今後は後輩からも非常に信頼の厚い吉本会長の下、OBが結束し、さらに強いアイススケート部を作り上げていくことを誓い合いました。

懇親会では例年どおり酒を浴びるほど飲みながら、現役選手の試合内容に辛口評論をしたり、過去の自慢話や逸話で会場はおおいに盛り上がりました。総会終了後は、部屋に戻り朝まで一睡もせず飲み明かしたOBが多かったそうです。

総会に先立、4日(土)早朝から有志9名にて兵庫カントリークラブでゴルフコンペを実施しました。

成績

1位　梶村貞男(37回卒)　71.4

(寸評)ラッキー、ハンディに恵まれる

2位　依藤弘樹(68回卒)　72.6

(寸評)若手の実力者、300ヤードのドライバー

3位　吉本雅家(32回卒)　72.8

(寸評)年配ながらパワーは凄い

幹事長　井田 実(38回)

経翔会総会を開催
創部55周年記念誌を配布

経翔会(ワンゲルOB会)

平成27年度経翔会(ワンゲルOB会)総会は、平成27年6月21日(日)午前11時から昨年同様母校E館7階会議室にて開催されました。

出席人数は29名で、例年よりやや少なかったですが、平成世代のOBもおり少しは若返った感じです。会長挨拶のあと出席者の自己紹介があり、続いて総会議事にはいりました。昨年7月より今年6月までの活動報告、会計報告、27年度の活動計画、等が出席者全員の承認を得ました。

わが部も昨年創部55周年を迎え、これを機に記念誌を今年発行、出席者全員に配布、欠席者には後日郵送することにしました。

議事終了後全員で集合写真を撮影、午後12時30分より学生会館食堂を拝借、懇親会を開催。昭和38年卒の国西顧問の乾杯の音頭で約1時間30分歓談、最後は全員で肩を組み、学歌、逍遥歌を歌い、来年の再会を誓い午後2時過ぎお開きとなりました。

会長　牧田征雄(31回)

二部で優勝、一部昇格を目指す

空手道部OB会

平成27年4月18日(土)、本学E館7階会議室において平成27年度空手道部OB総会を開催しました。

開会に先立ち、挨拶に立った佐藤武司前空手道部OB会長(現本学理事長)から体育会空手道部の部員としてのマナー、礼儀、学生として資質向上等に関する厳しいご指導をいただきました。

続いて、宇陀武司監督より、第一号議案の平成26年度の事業活動報告および会計監査報告、第二号議案の27年度の活動計画等の報告、第三号議案の今後の指導体制とエネルギッシュな若いOB諸先輩を中心に組織づくりを行うことを、それぞれ決定しました。第四号議案では役員およびOB会新組織体制について説明、佐藤武司OB会長に代わる第5代新OB会長に45期生坂本勝宣氏が満場一致で選出されました。今後はOB会組織を充実させるため、関東、関西地区、中国・四国、九州地区に幹事長を配置し、さらに宇陀監督を核に幹部から一回生までが一丸となって試合に臨むことを確認しました。

総会終了後の懇親会では、OBと現役学生が一緒になり、和やかな楽しいひと時が始まりました。本年秋に開催される第57回関西学生空手道選手権大会の話となり、5度目となる二部で優勝し一部昇格を目指すことを確認しました。

幹事長　與世田正雄(34回)

最後の法研OB会

法研OB会

平成27年11月1日(日)ホームカミングデー当日、グランド白楽天にてOB会を開催いたしました。参加人員は7名と少なかったのが残念でした。法律研究部から法学研究部へと名称変更したのも小生が現役時代であり、OB会を発足したのも卒業時の昭和44年であった。マルクス法学の立場へと移行、現役時代は反帝反スタを標榜し、全日本法ゼミ京都丸山公会堂での三府連デモ等懐かしい思い出です。しかし、40回生以降現役生がいないなかで色々悩んでおりましたが、今回出席者の意見を拝聴し、今回にて正式な法研OB会は解散することといたしました。今後は有志で色々な場所で集まって旧交を温めていただきたいと思っております。46年間OB諸士、ありがとうございました。これからのご健勝を祈念いたしております。最後に永らくお世話いただいた奥君(36回)に"感謝"申し上げます。

濵 忍(35回)

11回目の旅先は蒲郡温泉と
岡崎城方面へ

軽音楽部OB会

今年で11回目になる軽音学部OB会の旅行は、平成27年4月19日(日)～20日(月)の両日、愛知県「蒲郡温泉」となりました。

新大阪駅に集合し、マイクロバスで出発。途中、長久手にある「トヨタ博物館」に寄り、沢山のクラシック車に目を奪われ、一路蒲郡温泉のホテル「竹島」へ。眼前に離れ小島「竹島」と海が眺められる絶好のロケーション。雨天でなければ歩いて竹島に渡れたのにと少し残念に思いました。以後は恒例の大宴会、カラオケで盛り上がりました。そして今年も元気に参加できたことをお互いに感謝しながら、第1日目の夜は更けていきました。

2日目の目的地は家康ゆかりの岡崎城とその公園へ。雨に煙る岡崎城を遠望。(立派に管理された美しいお城でした)公園内の食事処で「八丁味噌料理」に舌づつみ。次回大阪での再会を約束してここで解散、各自帰路につきました。

今回の幹事役の笠原・森田・上田先輩に感謝を。そして毎回バスの運転に携わっていただいている八倉・矢野両先輩にも感謝の意を表したいと思います。来年も元気で再会できますことを祈り、筆を置きます。

粉川誠三(35回)

邦楽部第6回OB会を盛大に開催 平成31年に創部55周年記念祝賀会開催

邦楽部OB会

昨年6月、「邦楽部創部50周年記念OB会祝賀会」を大阪梅田にて徳永光俊学長をお迎えし盛大に開催できたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、平成27年6月27日(土)午後4時より、邦楽部第6回OB会総会および懇親会が例年通り大学構内のE館(50周年記念館)7F会議室および大樟ラウンジにて盛大に開催されました。今回は現役幹部4名を含む15名の出席ではありましたが、大変有意義な1日を過ごすことができました。

OB会総会では ①平成26年度事業報告および決算報告 ②平成27年度事業計画案および予算案が尾上会長より報告があり、満場一致にて承認されました。

さらに次回の記念祝賀会は平成31年に「邦楽部創部55周年記念OB会祝賀会」を開催することが意思決定されました。

また、懇親会では冒頭の尺八演奏を恒例の住田名誉会長・尾上会長の2人ではなく大合奏としたところ、OBより1名の申し出があり初めて3名での演奏となりました。次回OB会での尺八大合奏は倍増の6名くらいになりそうです。大いに期待をしております。

乾杯のあとOB・OG及び現役部員出席者全員による近況等々の一言が和やかにありました。

なお、現役第50代幹部からは邦楽部第49回定期演奏会「響」の開催案内がありました。

日時は11月29日(日)で、場所は例年通り吹田メイシアター中ホールです。

締めは恒例の学歌と逍遥歌を大合唱し、来年の第7回OB会での再会を約束し閉会しました。二次会は上新庄駅前のいつもの居酒屋にて時間を忘れて深夜まで酒を酌み交しました。

会長　尾上眞己(36回)

山小屋55周年

山岳部OB会

白馬経大ヒュッテ建立55周年記念行事が、平成27年10月11日(日)に紅葉真っ盛りの北アルプス長野県小谷村の大阪経済大学白馬ヒュッテにて行われました。

あいにくの小雨降る中でしたが、大学より徳永学長(55年の歴史で学長が来るのは初めて)、斉藤学生部長参加のもと、現地山小屋管理人降籏義道氏、OB含め32名が集結しました。

物故者黙とう、会長挨拶ののち、学長よりお祝いの言葉をいただき、学生部長の発声で乾杯。久しぶりの再会を喜び、初の学長の参加に興奮し、締めの山岳部部歌をフルコーラスで歌うなど例年以上に盛会となりました。

最後は、恒例古久保OBのエールにて大学、山岳部、OBの今後ますますの健闘を祈ってお開きとなりました。

本文をお読みの皆様で山小屋に興味のある方は、毎年8月に2週間程度OBが常駐する白馬ヒュッテカミングウィークに小屋をご利用いただいてはいかがでしょうか。女性や子供も安心してお泊りになれます。

藤原広太郎(54回)

鳥取市の老舗の宿に寮生が集う

第5期寮友会

恒例となっている第5期寮友会の集い。第6回目となる今年は、平成27年10月18日(日)～19日(月)の両日、山陰の地、鳥取市で開催しました。宿泊地は江戸時代末期創業の老舗の宿「こぜにや」で、昭和天皇もお泊りになった温泉地でした。当日は秋晴れの中、全国から22名とその夫人4名の26名が集いました。72名中8名の物故者を偲んで黙とうした後、宴会に入り、50年前の学生時代にタイムスリップ、当時の思い出や、現在の生活ぶり等、夜の更けるのも忘れて語り合いました。

2日目は鳥取砂丘と砂の美術館で開催中の「砂で世界旅行・ドイツ編」をテーマとした砂の彫刻を見学し、その素晴らしさを堪能しました。来年もお互いに元気で次の開催地である和歌山県白浜温泉での再会を約束して散会しました。

広末 修(35回)

大阪経済大学合氣道部「氣流会」総会

氣流会(合氣道部OB・OG会)

平成27年11月3日(火・祝)、本学70周年記念館において平成27年度の「氣流会」総会をOB・OG24名、現役23名参加のもと開催しました。創始者古谷貞雄氏挨拶の後、議題に入る。第53期事業報告、会計報告、会計監査、第54期事業計画ならびに第54期、第55期の役員選出が行われ、いずれも異議なく承認された。

総会終了後、恒例の「現役・氣流会会員合同稽古会」が古谷師範の指導のもと、和気あいあいと行われました。また稽古会終了後は「合同懇親会」を上新庄駅前の「贔屓屋」にて開催し、本当に楽しい一時を過ごし、最後に来年の再会を約束し、万才三唱をして解散としました。

名誉会長　浜田修造(34回)

卒業生は560名に

徳永ゼミ・野風草会

大樟祭のホームカミングデーで、ゼミ卒業生が集まる「野風草会」を開き、20名ほどが集まってくれました。現役の4年生とも交わり、その後は行きつけの「セブン」で二次会でした。卒業生は26期生までいて、560名ほどになっています。京都・大阪はじめ各地で会っていますし、ゼミのある水曜日の夜「セブン」を訪ねてくれる人もいます。ゼミ卒業生の結婚式にお誘いがあれば、スピーチなどしています。ありがたいことです。これからも連絡待っています。

学長　徳永光俊

第5回「とりあえず34期会」開催報告

とりあえず34期会

今回も同窓会設立80周年記念総会終了後E館7階にて、午後3時30分より開催し、今年は、ほとんど古希を迎えた我々ながら22名が集合しました。最初に今年亡くなられた若林正彦君への黙とうを捧げ、懇親会に入りました。

初参加の方々から自己紹介が始まり、皆さんリラックスし、すでにお酒も入っているためすぐに打ち解けて、定年後第二の人生での「自己紹介と近況報告」をし、今も商売で、話題の太陽光発電設備一式を施工から発電まで一手に引き受け、販売で頑張っておられるバリバリの現役経営者、また、若い時に仕事で扱った石綿の被害で、肺がんと闘っていながら、奥様をなくし、しかし、元気に娘と一緒に頑張っている友、それぞれ奥深く重い内容の話でありました。しかし、皆に感じられたことは決して悲観的ではなく前向きで、現実を受け入れ、闘っている姿でした。まさに「本会」のネーミングの思い(どんな困難なことでも、まず「とりあえず」やってみよう、挑戦しようや！)の心であり、そしてまた、我が経大の「繋がる力」を信じ、一緒に頑張ろうとの前向きの元気な報告がありました。

世話人　廣野義直(34回)

理事長就任祝賀会を盛大に挙行

本学の同窓会・大樟会および空手道部の前会長である佐藤武司氏の大阪経済大学理事長就任祝賀会が、平成26年11月2日(土)午後6時よりホテルグランヴィア大阪において、大学関係者、同窓会(大樟会)関係者、大樟体育会各種競技団体OB会長および空手道部OB、現役学生を含め126名が参加して、盛大に開催されました。

式典はご来賓代表の本学徳永光俊学長の祝辞に始まり、田村正晴大樟会会長の激励の挨拶があり、発起人代表の空手道部創部一期生の新堂友衛大阪シティ信用金庫名誉会長の後輩となる佐藤理事長に対する愛情溢れる祝辞が参会者の心に響きました。

祝宴の余興では、阪南大学空手道部の河野さんの形と棒術の披露、本学空手道部宇陀武司監督の形、現役諸君の乱取り、組み手等エネルギー溢れる技が参会者の盛大な拍手を受けました。

ご出席いただきました大学関係者の方々や諸先輩に皆様には、旧交を温めるなど、楽しいひと時を過ごしていただけたものと思います。我々、大阪経済大学空手道部OB会といたしましても、今後とも学生空手道の普及・発展のために微力を尽くして参る所存でありますので、引き続き、ご指導、ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

本来であれば、理事長就任祝賀会にはもっと多くの諸先輩をご招待させていただくはずでありましたが、なにぶん急遽の開催となり、十分な準備ができず、「澱江」の本誌面を借りてご報告させていただきます。

大阪経済大学空手道部OB会
会　長　坂本　勝宣
就任祝賀会実行委員会(発起人)
委員長　與世田正雄

29回卒同期会「同朋のつながり」

29回卒同期会

同窓会設立80周年記念総会終了後、今年も民芸居酒屋「ひでよし」にて恒例の29回卒同期会を昨年と同様に30回卒のみなさんと合同で開催しました。

今回で27回目の29回卒同期会参加者は17名で、不参加の返事のうち50名から近況報告をいただきました。その概要は、元気で勤務、現役です、地域の世話役で多忙です、ボランティア活動を行っています、ボケないように元気で頑張っています等々もありますが、病院通いと薬が増えました、体調不良で参加したいが出て行けない等の近況報告を多くいただき、当日参加者には原文をコピーして資料に添付しました。

29回卒同期会の参加者は、年により都合で参加、または不参加もありますが、初回から何回となく参加されている方が多く、今年は四国の観音寺市からと守口市からの２名の方に初参加していただきました。

美味しい酒を飲みながら「おい・コラ・お前…」と学生時代と変わらぬ言葉で語り合えるのも、大樟の学園で共に学び過ごした「朋友のつながり」があるからこそです。

この「朋友のつながり」は、初回開催時の「29回卒同期会は毎年開催しよう、最後の３人になるまで続けよう」の約束によるものです。

幹事　米村紀代孝（29回）

第11回倉春会は大阪・京橋で

30期倉辻ゼミOB会

平成27年11月21日（土）倉辻ゼミのOB10人、喜田ゼミ１人合計11人で開催しました。

会場は今回で4回目の京橋ツイン21「芦刈ツイン21店」でした。

遠方からは東京町田の金岡さん、倉敷の石井さん両氏は久しぶりの参加です。

平均年齢74歳のためか、健康の話で生々しい手術の様子、お墓の維持の問題、旅の話、孫の話等、様々な話題でした。いつも話題で盛り上がるのはやはりゼミ旅行でした。日光に行き、鬼怒川温泉でみんなでわいわい言いながらお風呂に入ったことの記憶は鮮明に残っているようです。

船引さんに11月1日（日）、経大の同期会に参加した時のキャンパスレポートをしていただきました。昔の建物はすべて新しく立派に建て替えられていることや学生の3割が女性になっている様子等を興味深く聞きました。

和歌山の松本さんから恒例になりました立派に育てられたみかんと柿をいただきました。

来期の幹事は横山さんで、平成28年11月19日（土）14：00同じ場所にて再会することを誓って散会しました。

今回の参加者はメンバー総数20人の内、次の11名です。

写真左側から、岩貞茂樹（幹事、豊中市）、杉山卓（寝屋川市）、森本義夫（伊丹市）、石井俊生（倉敷市）、横山正一（高槻市）、松本公望（和歌山県伊都郡）、金岡正一（東京都町田市）、吉村文男（茨木市）、斎尾紀（西宮市）、大西教生（兵庫県加古郡）、船引洋生（喜田ゼミ、高槻市）（敬称略）

最後になりましたが、昨年7月ご逝去されました金澤公治様のご冥福をお祈り申し上げます。　吉村文男（30回）

お世話になった先生からのお元気なお便り

（敬称略・順不同）

孫娘との対話

山本　晴義

「おじいちゃん！ 今日誕生日とちがうの？ ９０歳よ！」

８月２日、猛暑の朝、去年結婚した最愛の孫娘望（のぞみ）からの電話で目を覚ましました。私は８５歳になる妻と宝塚の山の上で住んでいます。その日、望は私たちのマンションまで愛車でやってきました。そして一晩中騒いで、武庫之荘の自宅に帰っていきました。前夜「学徒出陣」のテレビ番組を見たとかで、詳しく知りたいと、いろいろ聞いてきました。

望：おじいちゃんは戦争に行かなかったの？

おじいちゃん：おじいちゃんは１９２５年（大正１４年）に大阪の上本町のど真ん中でうまれたんや。１９４４年、破滅的な太平洋戦争の渦中に早稲田大学の予科に入ったんやが、もうその年に徴兵されたんや。そやからおじいちゃんは「聞けわだつみの声」の世代ということや。ただ幸い、戦地に派遣される前に、四国での内務班勤務どまりで敗戦を迎えたんや。戦後、一緒に徴兵された早稲田の学友の三分の一が戦死したのを知った。その中には親しかった学友もいた。この時の驚きと痛恨の思いが、その後のおじいちゃんの生き方を決めたと言えるやろうな。

望：おじいちゃんは満州事変や日中戦争へと日本が突入していったとき、戦争反対とか平和運動とかやらなかったの？

おじいちゃん：残念ながらそんな問題意識は全くと言っていいほどなかったんや。そのころ、日本は農業国から重化学工業国になり、東京や大阪など巨大都市も生まれ、ラジオをはじめとするマス・メディア、映画、デパート、カフェなど、いわゆるモダン化が進んでいたんや。大半の若者は、歴史的意識が希薄で、「地下モダニズム」を追いかけつつ、ずるずる流されていったというのが実情やった。

望：最近は若い世代の平和を求める行動がひろがっているけど、現在の日本の情況はおじいちゃんの学生のころと似てきているんじゃない？

おじいちゃん：そやね。おじいちゃんの人生もあとわずかしかないけれど、最後まで頑張らないとね。

（写真は4歳の頃の望と私）

残された課題

松原　和男

昨年の『澱江』で、「人生の終末が近い」と書きましたが、まだ生きています。しかし、この数年間、老後の一仕事として、地球温暖化問題、原子力発電問題などを一緒に学んできた「相棒」（大学の同級生で、元名古屋大学教授・物理学者）が、最近、重い病に倒れました。気持ちの上で、ぽっかり、穴が空いてしまい、これらの問題を考える気力を失くしました。

その余波でしょうか、最近、中国を初めとする途上国の経済発展の停滞など、世界経済の混迷が深まっていますが、これを、経済変動の中でどう捉えるか、なかなかまとめられません。こちらが本業の筈ですが、・・・・。

残された時間、気力と体力が続きますかどうか？

著書が学会誌で評価される

滝内　大三

昨年出版した拙著『未完の教育学者』が「日本教育学会」と「教育史学会」の学会誌に紹介され、一定の評価を得ました。お世話になった高松の皆様、ありがとうございました。私はその後、晴耕雨読の日々で、新しい研究テーマに向かって研鑽を続けています。

お祭り

久保田　諄

昨年は京都伝統行事功労者として、祇園のおねえさん方と並んで府知事から表彰を受けました。永年にわたる葵祭への貢献がその理由です（おねえさん方は都をどり）。

京都には葵祭をはじめとして、祇園祭や送り火などたくさんの催事があります。数十年ほど前までは、これらの行事の多くは地域住民の参加も多く、人々の楽しみでもありました。しかし、現在では特定の人だけが参加し、楽しむのは観光客だけの催に変わりつつあります。

以前の祭の日には、氏子地域の各家庭ではご馳走を作り、遠来の親類や友人も加わって、盛大にお祝いをしたものでした。近頃の祭は家で祝うこともなく、何か腑抜けの感じです。観光中心ではやがて祭も精神を失って廃れるでしょう。

元気でやっています

渡邉　泉

卒業生の皆さん、変わりはありませんか。それぞれの分野で、活躍されてることと思います。私は、2010年3月で大阪経済大学を定年退職し、現在は、学会関係の仕事や関西学院大学の大学院で非常勤として、週一度出かけています。

この9月末に『帳簿が語る歴史の真実－通説という名の誤り－』（同文舘出版）と題する一書を脱稿しました。年末か来春初めには書店に並ぶと思います。昨年のFair Value Accounting in Historical Perspective (Moriyama-Shoten)と『会計の歴史探訪』（同文舘出版）に続く悪あがきです。一度見てやってください。1月23日（土）には大阪経済大学で同窓生の会（白水会）を開催します。こちらには是非参加して、元気な顔を見せてください。会えるのを楽しみにしています（2015.10.1）。

チャンスの時代

稲場　紀久雄

最近、『方丈記』冒頭の「ゆく河の流れは」の行がしきりに脳裏に浮かぶ。今年は、私の大学卒業50周年に当たる。名誉教授に就任して3年。現役時代より忙しく、頭脳も鋭敏になったような気がする。

世上に60年周期説がある。私が経験した50年をこの説に重ねると、「ゆく河の」の記述が生き生き輝き出す。卒業後長い間、人口増加・経済成長時代が続いた。しかし、今は正反対の人口減少時代、新アベノミクスも精彩を欠く。時代の流れは、留まることなく流転する。これは、見方を変えれば[チャンスの時代]である。

私は、この「ゆく河の流れ」を毎日見つめて飽きない。

死にかけた話

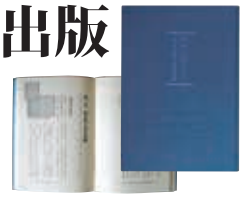
上島　武

2014年11月19日、いつものように晩酌と軽い夕食をすませて書斎に入る。いきなり強烈な眩暈が来て椅子に崩れ落ちる。意識が薄れ、体は宙に浮く感じ。痛みや吐き気はない。異常に気づいた家人が救急車を呼びましょうかと。ウンウンと頷くのみで「私は今、実にいい気持なのだよ」とも、「イッヒ　シュテルベ！」とも声には出ない。すぐ到着した救急車で近所の病院へかつぎこまれる。

どんな処置と検査を受けたか記憶は定かでない。「脳梗塞だ！　一日や二日で帰れると思うなよ！」と医師の叫ぶ声が聞こえる。実際は61日間の入院でめでたく帰還。喫煙厳禁、酒量大幅制限、読み書き結構。疲れやすいけれども、目下まずまず通常の生活中です。

社史・記念誌・自叙伝出版

ご希望・ご予算に応じて
原稿整理のお手伝いから
編集企画をご提案します



安全手帳・ノート・ハンドブック

企業様の安全管理を
オリジナルのイラストで
分かりやすく伝えます

大信印刷株式会社　www.dprint.co.jp　☆S58卒 畠山 昌憲 hatakeyama@dprint.co.jp
〒531-0076　大阪市北区大淀中4丁目13-11　Tel.06·6451·7631 Fax.06·6451·3735

ゼミ短信　先生方からのメッセージ

（敬称略・順不同）

卒業旅行は長崎・福岡方面へ

徳永　光俊

２・３年生は各１５名と、今まで20～30名とっていたのとは変わり、雰囲気も以前とは違ってきます。２年生のテキストは、鈴木孝夫『日本の感性が世界を変える―言語生態学的文明論―』（新潮選書）です。例年どおり城崎温泉に行きます。３年生は、就活のための合宿を京都の温泉で行いました。ゼミⅠグランプリは、残念ながら予選で敗退。４年生は、大樟祭でベビーカステラを販売し大儲けしました。卒業旅行は、長崎・福岡方面を予定しています。みんなで楽しくやっています。（学長）

時間感覚

六浦　英文

時間はどう流れるのか。直線的にか、円環的にか。トーマス・マンの『魔の山』ではどうか。主人公ハンス・カストルプは、結核で入院しているいとこを見舞うために、ドイツのハンブルクからスイスの高原のダヴォースに赴く。3週間ほどの予定だったが、7年間も滞在することになってしまう。そこでは時間感覚がおかしくなってしまうのだ。今日も昨日と同じことの繰り返し。明日も今日と同じ。明後日も……。「永遠の今」が続く。その世界では缶詰やビン詰の中のように時間が停止してしまうかのようだ。しかし、外界ではもちろん時間は過去・現在・未来へと流れていく。私の時間も砂時計の砂のように流れていく……。なんと速く流れていくことか。（経営学部教授）

LINEでゼミOB･OGをつなぐ

服部　圭介

私が本学に赴任してから、今年でちょうど10年となりました。私のゼミも今年、8期生を迎えることとなりました。ゼミOB･OGの方々も、結婚、出産、転職など、それぞれ頑張っている様子を聞くたびに、時間の流れの速さを実感しています。この夏、4期生ゼミ長が発起人となって、LINEというSNSにおいて、服部ゼミのOB・OGのグループを作りました。卒業年度に関係なく、ゼミのOB・OGで縦のつながりができれば嬉しいです。（経済学部教授）

大学英語教育学会で発表

吉田　弘子

昨年8月末に大学英語教育学会で発表するために鹿児島大学へ行ってきました。この学会はいろいろな研究分野の教員が専門の枠を超えて参加する国際学会です。新大阪から新幹線で鹿児島中央駅まで乗り換えなしで約4時間。鹿児島が今まで以上に近く感じられました。

私は、現在の研究トピックである英語多読について発表しましたが、フロアから制限時間を超えて積極的な質問が飛び交い、英語教育にかける熱い思いが伝わってきました。最近は大学入試に新しい方針が打ち出されるなど大学英語教育界をとりまく環境も大きく変わろうとしています。学会で得た知識や情報を本学の英語教育に活用できればと思っています。（経済学部教授）

合理化と人生

土居　充夫

卒業生の皆さん、お元気ですか？私は2015年3月末に人間科学部長の任期を終えました（その後、同年5月に進路支援委員長に就任しました）。

ここ数年、学内の仕事が忙しくあまり研究ができませんでしたが、今年度は久しぶりに、じっくり本を読み、考える時間が持てました。一例を挙げると、合理化が進むと人間の生活はどう変化するのでしょうか？合理化という言葉は多義的で難しい言葉ですが、人生経験を積んできた皆さんなら、何か思い当たることがあるのではないでしょうか。

余裕ができたら大学の研究室を訪ねてください。堅い話からたわいない話まで、ゆっくり語り合いたいものです。（人間科学部教授）

地方経済の衰退を考える

藤本　髙志

地方創生がマスメディアで取り上げられることが多くなりました。日本の人口が減少するなかで、その人口が都市へ集中し、地方経済が衰退しているのです。

そんななかで、最近は、地域経済、特に農村経済に気持ちが向いています。研究面では、この３月に、「離島経済の地域所得決定要因の定量分析：地域産業連関表の推計と適用」という論文を書きました。ゼミにおいても、テーマを「人口減少と地域経済」とし、地域の人口が減少するなかで、地域の生活、経済、農林地など地域資源をいかに維持するかを考えています。また、現場を見てもらおうと、ゼミ合宿では、沖縄県の伊江島、淡路島、小豆島へ出かけました。写真は伊江島で撮ったものです。（経済学部教授）

教え子から嬉しい報告

塚谷　文武

先日、本学に着任する以前にお世話になっていた秋田の大学の卒業生から、嬉しい結婚の報告がありました。報告をくれた卒業生は、大学を卒業後に、地元秋田の公務員として働き、地域社会に貢献しようと頑張っていました。生涯の伴侶との晴れの姿を見ながら、教員として卒業生の長い人生のわずかな時間を共有できたことを嬉しく思うと同時に、遠く離れても報告をくれたことに感動した次第です。

本学に着任してから３年目に入りました。来春にはゼミの1期生を送り出す予定です。今後も、秋田で出会った学生達と同様に、卒業してからもそれぞれの人生のなかでつながっていけるような信頼関係を学生との間に築けるように頑張っていきたいと思います。

（経済学部准教授）

現在５期生

鵜飼　奈津子

子どもの発達や心理療法について学ぶこのゼミも早いもので5期生を迎えています。これまでの卒業生と同じく、現在の3回生、4回生も福祉施設でのアルバイトや学外実習などに積極的に参加し、体験時に多くのことを学んでいます。

そんな中、今年はすでに3回のミニ同窓会を開くことができました。うち2回は、第1期生から現ゼミ生という学年を越えた集まりになり、先輩･後輩の交流がますます盛んになってきたことをとても嬉しく思っています。

メールアドレスの変更などで連絡がとだえてしまっている人は、ぜひまたこの機会に連絡をくださいね。　（人間科学部教授）

グローバル人材の育成

張　又心バーバラ

昨年、新たに16名の2年生を受け入れ、ゼミをスタートしました。企業の国際化戦略や海外における経営活動について学びます。グローバル化の時代に、経営活動の国際化は避けて通れないものです。真のグローバル人材になるためには、理論の勉強だけでなく、語学力を高めることも、異文化を理解することも、とっても重要です。また、実際に海外に旅をし、様々な国の人たちとの出会いも良い勉強になります。今年度のゼミ合宿は3年生を中心に台北に行ってきました。ゼミ生が街の中で台湾人を対象にアンケート調査を実施し、台湾企業の見学訪問も行いました。異文化を理解でき、グローバル化の時代に生きていけるような人材を育てていきたいと思います。

（経営学部専任講師）

「知的財産」に興味を持とう

眞島　宏明

私のゼミのテーマは知的財産法です。「知的財産」は、著作権・特許権・商標権などに関する総称です。略して「知財」ということもあります。

私たちの日常生活は知財に囲まれています。携帯電話やパソコン、自動車から電子レンジにも特許がいっぱいですし、映画、アニメ、ゲームプログラム、小説は著作権で守られています。また、コンビニに並ぶ商品の商品名の多くは登録商標です。

ゼミでは、3年次に知財検定（知的財産管理技能検定）3級の受検･取得を目指しています。知的財産は、これからの経営戦略の中心といわれており、今後ますますその重要性が高まることと思いますので、皆さんにも知的財産に興味を持っていただけるとうれしいです。

（経営学部准教授）

先輩から後輩へのリレー講義

城　達也

この春学期の人間科学部「特殊講義」で、総勢11名の卒業生の方々に、自らの学生時代や現在のお仕事の苦労とやり甲斐について、貴重なお話をしていただきました。

「30分程度の簡単な話で結構ですよ」と当初はご依頼しました。しかし、実際にはほとんどの方がパワーポイントや資料を準備して、90分間熱弁を揮ってくださいました。改めて感謝申し上げます。

後輩たちは先輩方の話に傾聴し、積極的に質問する学生もいました。睡魔に襲われる者もいましたが、大多数の学生は、教授たちの教養的な「学問論」よりは、遙かに刺激を受けたようです。

将来の進路を見据えて、目的意識をもって、有意義な学生生活を過ごしてほしいものです。　（人間科学部教授）

学ぶことの楽しさ

髙橋　亘

「経済学の正解は一つとは限らない」「大学では『知識ではなく社会に出ても一人で学び続けられる術』を学ぶ」「研究では解明できたことよりも解明できなかったことの方が多くて重要」。これらは若い時期に私が授かった言葉です。若き日に拙い英語で何時間も恩師に疑問をぶつけ続けた日々はいまでも忘れません。

その後30年以上の日本銀行での勤務を経て再び学びの場に戻ってきました。国を代表した国際会議、多くの国を訪問したり、多くの企業を訪問する中で、学び続けた経済学は助けになりました。

これから様々な道を歩む未来のある学生諸君に、学びつづけることの大事さや楽しさが少しでも伝わればと心がけています。

（経済学部教授）

同窓会設立80周年を迎え　地方支部の活性化を

平成27年度理事会

平成27年度大樟会理事会が平成27年5月23日（土）午後1時からＥ館41教室で開催された。当日は、理事総数215名のうち101名が出席、委任状提出64名であり、会議は成立した。

はじめに昨年の物故者に対し、全員で黙祷を行った。次いで、小林真人副会長が開会宣言を行ったあと、田村正晴会長が壇上に立ち挨拶を行った（要旨別記）。続いて議案審議に入り、議長に進木伸次郎常務理事（33回）、副議長に田中伸治常務理事（45回）を選出、審議に入った。

第1号議案の平成26年度の事業報告では、事務局から総務部、広報部、財務部、組織部の事業の実績が報告されたが、特に、広報部からは会報誌「澱江」50号の発行を記念して歴代同窓会長の放談会等の特集を組んだこと、財務部からは収支計算書の説明で本部事務所改装のため事務費が予算額を上回ったことなどが報告された。さらに組織部からは支部総会・部会が計53回、同期会・クラブOB会が計38回開催されたこと、新支部として川西・川辺支部が設立されたこと、また大分支部が再興されたこと、5支部、3団体の支部長、会長が交代したことなどが報告された。財務部の収支報告に関して、中村敏啓理事からKEIDAI DAYSの郵送費の大樟会負担について質問があり、事務局から説明がなされた。

第2号議案の事業計画および収支予算では、同窓会設立80周年記念関連で総務部、広報部の事業が新たに発生していること、これに伴う予算を計上していることなどが報告された。これに対し、中村理事から組織部では同窓生の減少が続く地方支部の活性化策などについてどのように考えているのかという質問があり、田村会長から本部としての取り組みについて説明がなされた。

第3号議案では、田村会長から同窓会設立80周年記念事業についての趣旨説明があった。

第4号議案の会則改定については、所管の進木常務理事より①常務理事の定員を5名増員する件②理事の補充手続きの規定を内規から本則に移す件③退任した支部長理事の各回理事に選任の件④事務局職員の手当ての改定と内規化の件⑤常務理事の会議出席に伴う日当の支払い⑥永年勤続の常務理事の表彰基準の変更（在任期間の短縮）の件について、それぞれ理由の説明と報告が行われた。これに対し、中村理事から事務局員の手当ての改定の一部について質問があった。

以上、審議の結果、それぞれ承認された。

全国支部長会議・理事会

会長挨拶（要旨）

私が平成26年7月佐藤前会長のリリーフとして会長職を仰せつかって10カ月が経過いたしました。思い起こせば、前同窓会長を理事長候補に押し上げたのは、まさにこの大樟会理事会でした。賛否両論ある中で、学校法人の皆様のご支持を得て佐藤理事長が誕生いたしました。そんな経緯から、母校発展のために大樟会は一枚岩となってこの体制を支えていかなければなりません。本日の理事会を「団結を確認する場」と申し上げたのはそんな意味合いからです。より一層の皆様のお力添えをお願いいたします。

■ところで、本年、同窓会は設立80周年を迎えます。

昭和10年12月1日、大阪南海高島屋の特別室で設立総会が開催され、本年で80年になります。

設立総会の様子を「同窓会誌」は次のように伝えています。

――午後2時30分総会に入り、中村清次郎君司会席に着き開会を宣し、先ず黒正校長起って校長就任の挨拶並びに同窓会設立の趣旨を述べられ、次いで菅野和太郎昭和学園常任理事起って昭和学園設立経過並びに将来計画について詳細説明されて、後縷々議事に入る。

議案1．同窓会規約草案審議。三浦利定君草案を説明すれば満場一致をもって原案拍手裡に可決、ここに同窓会は成立す・・・。――

このように、同窓会は昭和高商の誕生と期を同じくして設立されました。

そこで、大樟会はこの1年を「同窓会設立80周年記念事業」年度といたしたいと思います。

■同窓会設立の趣旨は、一つは同窓生の親睦と啓発を図ることであり、二つは母校に貢献することの二点に尽きます。これは設立以来、いつの時代にあっても変わることはありません。それは、歴代会長や役員のご尽力により、脈々と受け継がれ、同窓会80年の歴史と伝統、今日の隆盛があります。

しかし、歴史と伝統だけで組織を維持し発展させることは困難です。組織のあり方についても、大阪周辺の都市部と地方支部では問題意識を異にしています。都市部では支部の新設や会員の量的拡大の余地はまだまだありますが、地方にあっては組織の維持すら困難になりつつあり、将来、存続が危惧される地域もあります。少子化と地方受験生の減少がもたらす地方支部組織の環境の変化や、卒業生10万人時代を控えた新しい時代に対応した活動を付加しながら、大樟会も穏やかな進化を遂げでいかなければならないと考えます。

皆さんのご理解とさらなるお力添えをお願いいたします。

2018年問題を控えて学校改革を

佐藤武司理事長

平成26年7月に理事長に就任して10ヵ月になりますが、いよいよ18歳人口が急激に減り始める2018年問題が近づいてきました。本学では、これにどのように対応していくのかということが非常に大きな問題です。各大学でも様々な施策をすでに発表し、実施に移しています。理事長の立場で考えると、本学でも学生数を増やすこと、用地の有効活用を考えることはもちろんのことですが、やはり社会が求める学生をどうすれば育てられるか、足腰のしっかりした学生をどう送り出せるのかが大きなポイントになってきます。

本年は本学の受験生が大幅に増えました。しかし、こういったことがいつまでも続くのかと言えば、そうはいきません。高校生が受けたい大学にならなければなりません。現状維持では後退です。学校の将来のためにリスクはあるかもしれないが、改革に向かわなければならないのです。

私は、本学の卒業生であるという目線から学校改革に取り組んでまいります。

「大経大プロフェショナル」の育成内外への発信

徳永光俊学長

「大経大塾」というものがあります。教師を目指す学生が地域の子供達に補習授業をするのです。子供達は「大経大塾」を楽しみにしています。希望者が多いので、昨年は定員が50名であったのを本年は70名に増やしました。子供達のつながりができています。そして、お父さん、お母さんのつながりもできています。地域とつながる大経大ということです。前年は、大樟教育研究会のサポートもいただき、22名が教員になりました。教師を目指す大学ではない本学からの22名はすごいことです。

本学の100周年となる2032年には経済・経営系の私立大学としてNo.1を目指したい。その中身は「つながり度No.1」「満足度No.1」「達成度No.1」です。

「ゼミ・マナー・就職の大経大」から「つながる力No.1」の実現、そして、「大経大プロフェショナル」の育成、つまり大経大にはこんな素晴らしい学生がいるのだということを発信して、大経大をさらに高めていきたいと考えています。

2015年全国支部長会議開催

二支部長からの提案、臨時全国支部長会議で審議

平成27年度全国支部長会議は、大樟会理事会に先立ち、J館3階の第一会議室で行われました。全国支部長会議は、全国の51支部と6部会、2団体の支部長、会長で構成されており、今回は44支部と5部会、1団体が出席しました。

午前11時、小林副会長の開会の辞の後、田村会長の挨拶が行われました（要旨別記）。

引き続き、今回、新たに支部長、会長に就任された次の方々が紹介されました。

竹本勇川西・川辺支部長、山根一男岐阜支部長（代理）、田中功一豊中支部長、木岡良郎阪神支部長、正岡健二神戸支部長（代理）、池上照夫明石支部長（欠席）、山本隆造大樟体育会会長、檜垣典仁税理士大樟会会長、西村幸雄大樟教育研究会会長、田渕善人但馬支部長（代行）

続いて、次の新任の大樟会常務理事二氏が紹介されました。

春木洋次常務理事（大阪市支部長）、角庵勝巳常務理事（池田支部役員）

また、本年10月31日（土）に開催される臨時全国支部長会議に諮る提案が二支部長から提出されているので、紹介されました。

① 平田義行北大阪支部長から出されている「支部長定年制の導入」…（理由）支部長の若返り

② 眞鍋一美愛媛支部長から出されている「各支部からの推薦入学枠の設定」…（理由）少子化社会が進むなかで特に地方の同窓会の活性化を図る

なお、席上、同窓会設立80周年記念事業の一つとして、各支部の歴史を一冊の冊子にまとめてはという提案が田村会長から出されているので、各支部で検討を進めていただければとの要望が出されました。

大樟会本部組織図

会長
田村　正晴（30）

副会長
小林　真人（32）

監事
大西　健介（35）
秋山　治信（37）
山内　淳子（47）

事務局
局長　竹中　亨（32）
次長　内田　敏雄（39）
局員　寺本　孝子
　　藤原　広子

総務部
部長
進木伸次郎（33）
角脇　忠行（34）

広報部
部長
小林　真人（32）
内田　敏雄（39）
川口　正義（41）
角庵　勝巳（43）
石橋佳世子（65）
坂口　達也（68）
吉仲美智子（68）

組織部
部長
廣野　義直（34）
石橋　隆夫（32）
春木　洋次（32）
山本　隆造（37）
田中　伸治（45）
上田敬二郎（52）

財務部
部長
中坪　健治（41）
伊藤　和人（67）

注：（　）内は卒回

平成26年度収支決算書

自　平成26年4月1日　至　平成27年3月31日　（単位：円）

収入の部

科目	決算額	予算額
前期繰越金	14,567,244	14,567,244
会費収入	57,849,000	58,000,000
総会収入	453,000	1,000,000
利息収入	700,914	800,000
澱江収入	1,141,680	1,000,000
広告料収入	1,100,000	1,300,000
雑収入	164,400	0
合計	75,976,238	76,667,244

支出の部

科目	決算額	予算額
総会費	2,983,961	3,000,000
役員会費	1,206,514	1,000,000
支部費	11,701,291	12,000,000
事務費	1,950,216	1,000,000
人件費	8,372,489	8,000,000
旅費交通費	2,855,960	3,000,000
広報活動費	10,766,616	10,000,000
名簿調査費	324,373	300,000
学対費	11,657,566	13,000,000
諸会助成費	1,490,422	1,300,000
慶弔費	300,564	500,000
予備費	0	2,000,000
次期繰越金	22,366,266	21,567,244
合計	75,976,238	76,667,244

平成27年度収支予算書

自　平成27年4月1日　至　平成28年3月31日　（単位：円）

収入の部

科目	予算額	摘要
前期繰越金	22,366,266	
会費収入	59,000,000	
総会収入	1,000,000	
利息収入	800,000	
澱江収入	1,000,000	
広告料収入	1,300,000	
合計	85,466,266	

支出の部

科目	予算額	摘要
総会費	3,000,000	
役員会費	1,100,000	理事会・常務理事会・各部会
支部費	12,000,000	運営費・支部総会援助
事務費	1,000,000	
人件費	9,100,000	事務局人件費
旅費交通費	3,500,000	
広報活動費	12,000,000	
名簿調査費	300,000	
学対費	13,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
諸会助成費	1,300,000	諸会援助
慶弔費	500,000	
同窓会設立80周年記念事業費	3,500,000	
予備費	1,500,000	
次期繰越金	23,666,266	
合計	85,466,266	

大樟会支部長・各種部会会長一覧

平成 28 年 1 月 10 日 現在

支部・部会名	氏　名	卒回	現　住　所	電　話
北海道	池田　正勝	34	[illegible]	[illegible]
東京	藤本　二郎	34	[illegible]	[illegible]
富山	安田　秀雄	31	[illegible]	[illegible]
石川	鍛治　一英	36	[illegible]	[illegible]
福井	石橋　隆夫	32	[illegible]	[illegible]
岐阜	山根　一男	46	[illegible]	[illegible]
静岡	大塩　博喜	40	[illegible]	[illegible]
愛知	五十棲保彦	32	[illegible]	[illegible]
三重	池山　英典	57	[illegible]	[illegible]
滋賀	橋本　庫一	30	[illegible]	[illegible]
京都	田中　伸治	45	[illegible]	[illegible]
大阪市	春木　洋次	32	[illegible]	[illegible]
大阪市役所	南　正治	43	[illegible]	[illegible]
北大阪	平田　義行	31	[illegible]	[illegible]
北摂	本郷　公夫	33	[illegible]	[illegible]
北河内	森川　義一	25	[illegible]	[illegible]
豊中	田中　功一	42	[illegible]	[illegible]
池田	中　一正	27	[illegible]	[illegible]
箕面・豊能	雑賀　保洋	33	[illegible]	[illegible]
泉南	塩谷善一郎	39	[illegible]	[illegible]
堺	堀本　修	24	[illegible]	[illegible]
尼崎	久保　太郎	31	[illegible]	[illegible]
伊丹	竹中　亨	32	[illegible]	[illegible]
川西・川辺	竹本　勇	35	[illegible]	[illegible]
阪神	木岡　良郎	36	[illegible]	[illegible]
神戸	正岡　健二	36	[illegible]	[illegible]
丹有	足立徳太郎	36	[illegible]	[illegible]
明石	池上　照夫	40	[illegible]	[illegible]
北播磨	伊藤　俊博	32	[illegible]	[illegible]
但馬	田渕　善人	36	[illegible]	[illegible]
東播磨	福田　敏裕	37	[illegible]	[illegible]
姫路	永井　孝治	37	[illegible]	[illegible]
淡路島	竹内　通弘	34	[illegible]	[illegible]
奈良	西本　集一	23	[illegible]	[illegible]
和歌山	新田　和弘	32	[illegible]	[illegible]
鳥取	秋口　政俊	39	[illegible]	[illegible]
島根	浅原　宏	22	[illegible]	[illegible]
岡山	松永　清彦	41	[illegible]	[illegible]
津山	竹本　巧	37	[illegible]	[illegible]
備後	小池　勝章	32	[illegible]	[illegible]
広島	陰山　秀明	44	[illegible]	[illegible]
山口	藤原　俊明	37	[illegible]	[illegible]
徳島	樫本　孝	35	[illegible]	[illegible]
香川	鈴木　澄夫	36	[illegible]	[illegible]
愛媛	眞鍋　一美	32	[illegible]	[illegible]
高知	南　宏道	52	[illegible]	[illegible]
北九州	植田　達三	52	[illegible]	[illegible]
大分	寒田　陽	40	[illegible]	[illegible]
熊本	濵　忍	35	[illegible]	[illegible]
宮崎	福田　俊彦	32	[illegible]	[illegible]
南九州	前薗　博隆	34	[illegible]	[illegible]
大樟春秋会	矢倉　英一	39	[illegible]	[illegible]
大樟体育会	山本　隆造	37	[illegible]	[illegible]
池田泉州銀行大樟会	陸野　敬	57	[illegible]	[illegible]
日立大樟会	山下　徹男	37	[illegible]	[illegible]
税理士大樟会	檜垣　典仁	38	[illegible]	[illegible]
大樟教育研究会	西村　幸雄	43	[illegible]	[illegible]
社労士大樟会	久保　太郎	31	[illegible]	[illegible]
大学院大樟会	川口　正義	41	[illegible]	[illegible]

納得できるまで聞く

ペガサスミシン製造株式会社 代表取締役社長
美馬（みま）　成望（しげみ） 氏（58回卒）

ペガサスミシン製造は大正3年、美馬さんの曽祖父が創業、100年以上の歴史を持つ。ニットウェアーや下着など伸縮性のある衣料の縫製に使用する工業用ミシン「環縫い（かんぬい）ミシン」のトップメーカーである。そして、近年、自動車のシートベルト巻き取り装置のダイガスト部品の製造が急成長、同社の事業の二本目の柱に育ちつつある。業績は円安もあって好調である。

昨年（平成27年）4月、美馬さんは46歳で同社の社長に就任した。初対面の印象は、とにかく豪快で、エネルギッシュである。インタビューが始まって間もなく、「もともと私は生意気で、年上の人から話し方がきついとか、舐めているとか言われました。別に悪気はないんですがね（笑い）。気に入らなければ付き合いませんよ。年上の人から学ぶことはいっぱいあります。今の社会の仕組みをつくってきた先人に感謝しなければいけないと思っています」と。ざっくばらんな言葉の裏に、案外、シャイな一面も。経営トップとしては若い美馬さんが、20歳以上も年上の人たちとうまく付き合えるのも、この辺に秘訣があるのかもしれない。

子供の頃から納得できなければ絶対に引かないという。「私が通った高校は自転車通学が禁止でしたが、ときどきコソッと乗って行きました。それを先生に見つかり、弁当の入ったカバンを取り上げられましてね。お腹が空いていたこともあって腹が立って、腹が立って。職員室に怒鳴り込んでいったら、自転車に乗ってきたことについて反省文を書けと言われました。私は納得いかないので、自転車に乗ってきたことではなく、職員室に怒鳴り込んで先生の仕事を中断させたことについての反省文を書いたら、『論点がズレとるわ』と、また怒られました。なんだかんだと、大人の理論を振りかざされてもわからないですよ。納得のいく説明をしてくれれば、スッと引くんですけどね」。そんな性格は、今も変わらない。「会社でも部下の説明が足りないと、解るまでとことん聞きます。ただ昔のように恐怖心を与えるような聞き方はしません。『何で、何で。ちょっと教えて、ちゃんと』というようにね。『コラー』とは絶対に言いません（笑い）」。

大学を卒業して、しばらくアルバイトをして、2年余りアメリカのインディアナポリスなどに留学しました。そして、平成7年に帰国して、ペガサスミシンに入社、すぐにミシンの部品を作っている徳島にある子会社・美馬精機に出向する。「ここで、私の恩師ともいえる上司に出会い、人間の心の機微をとことん教えてもらいました。納得いかないと解るまでその上司に絡みましたよ。それでも根気よく付き合ってくれましたね」。今では、それが美馬さんの財産でもある。

この頃、ペガサスミシンでは大規模なリストラを行っていた。700人いた社員が段階的に350人にまで減った。「リストラを進める中で優秀な社員もたくさん辞めてしまったので、社員はどうしていいのかわからなくなっていました。私が戻ってからは、あらゆる無駄なものをそぎ落としていきました。ただ、無駄なものにも二種類あって、例えば電気代をケチるようなことを私はしたくない。そうではなく、機械をまわしていても、作業の工程を効率化して、無駄を省き手間がかからないようにするという本質的な意味のコストカットを進めました。それで700人体制であったものが、250人でもできるようになった。十分、他社に劣らないクォリティが維持できるという判断がついて『三つの差別化』につながっていきます」。

『三つの差別化』とは？「ペガサスの経営の基本方針です。品質、製品、営業サービスの差別化を徹底してやる。同業他社と比べ『やはりペガサスは違うね』と言われる差別化をあらゆる面でやっていくということです。見えないところも含めてね」と熱っぽく語る。

この業界の将来性について聞いてみた。「例えばインドでは、民族衣装のサリーは今では正装のときにしか着ません。普段はTシャツとジーンズですよね。インドは中国並みの人口を持っています。そういう国々がこれから豊かになるということは、われわれの市場が大きくなるということです。ただ、中国の存在は脅威ですね。うちが新しい製品を出せば、すぐに模倣してくる。中国製は値段は安いが、品質ではまだまだですがね」と美馬さん。

母校への注文は？「アメリカに留学したとき、日本に足りないものが一つあると思いました。ゼミではなく必修の科目で対話形式の授業がない。先生が一方的にしゃべっているだけで、コミュニケーションが少ないのではないですか。1・2年生のときからそういう授業をして、年上の人ともきちんと話せる人材づくりをしてほしいですね。学生にとっても、それは、将来、必ず役に立ちます」。

美馬さんの今後のご活躍を期待したい。

（聞き手=広報部・内田敏雄）

略歴　昭和43年5月4日生まれ。47歳。兵庫県立尼崎稲園高等学校卒業、平成4年本学経済学部卒業。アメリカ留学を経て、平成8年、ペガサスミシン製造㈱入社。取締役、子会社の美馬精機㈱社長等を経て、平成27年4月、代表取締役社長就任。趣味はオートバイ。

下町のナポレオン「いいちこ」

三和酒類株式会社 常務取締役
門柳（かどやなぎ）　朋久 氏（49回卒）

東九州道宇佐IC近くの小高い山にひときわ目につく建物群が「下町のナポレオン・いいちこ」ブランドでお馴染みの三和酒類本社建物だ。「いいちこ」は大分方言で「いいね」という意味だそうだ。ご登場いただく　門柳朋久氏は販売担当の常務取締役として、1年の三分の1は全国を飛び回る生活を30年近く続けている。

今では愛飲家で「いいちこ」の名前を知らない人はいないというほどその名前は知れ渡っている。かつては「焼酎」といえば安い酒というイメージがあったが、労働者の飲み物から若者の飲み物というように時代と共に趣向が変化してきた。ただ、酒類業界全体では若年層の飲酒離れと少子高齢化で出荷量は下降線を辿っている。そうした環境の中でなぜ「いいちこ」は業界第2位まで売り上げを伸ばしてきたのか。門柳氏は基本的には「プロダクト（美味しく、正直で誠実な商品をお届けする）、プロモーション（下町のナポレオン等やCM効果は大きかった）、プレイス（販売ルートを絞る）、プライス（どのような価格帯にするのか）といういわゆるコトラーの4P政策をきちんと守ってきたからだ」という。ちなみに「下町のナポレオン」のフレーズは当時流行ったブランデーの等級を表わすVO、VSO、VSOP、ナポレオン、XOのうち当時の日本でナポレオンが一番好まれていたことから名付けたものだ。また、ひらがな表示「いいちこ」は和酒メーカーとしては革新的なこの名称で商品イメージを一新させたという。

本来、焼酎と清酒は日本古来からの文化であり、ハレの時、癒しの時、うれしい時、悲しい時、明日からがんばろうというバイタリティーを養う時など本来はコミニュケーションの触媒のように飲まれるのが酒本来の目的である。ただ、「当社だけが売れれば良いというのではなく、ひとつ間違えば飲酒運転の助長や、未成年者の飲酒・アルコール依存症患者増等になっても困ります。数量を追いかけるよりもバランスも程ほどにお客様からいつまでも愛飲されるような商品であり続けたい」と販売責任者として抱負を述べる。

最後に「54歳を迎えて、もう少し大学時代に勉強しておけば良かったと思う。10年以上中国の発展を見てきて、現在の日本の若い人たちには活力が足りないと考えますし、勉強と考える癖が大切だと考えます。またグローバルスタンダードの時代になってきているのでこれからは英語の勉強はしっかりされた方がいい」とのアドバイスをいただいた。　（聞き手=広報部長・小林真人）

略歴　昭和36年3月（1961年）大分県宇佐市生まれ、54歳。大分県立宇佐高校卒。昭和58年3月（1983年）本学経営学部卒。在学中はアルバイトとL号軟式野球愛好会（現在は解散）に没頭。しかし、在学中には良・可で140以上の単位を取得し、4年間で卒業できたのは自慢。卒業後は関西の卸系の会社に就職。在職中コンピュータの夜間専門学校へ通う。これらの縁で現在の三和酒類へ入社。「いいちこ」ブランドで年商は450億円と焼酎業界では第2位。国内、国外の販売担当の責任者。

岡山市里親会元会長

株式会社タカニ 代表取締役社長
尾野　高仁 氏（32回卒）

尾野氏は元々「灘崎ライオンズクラブ」で海外からのホームステイを受け入れる奉仕活動をしていたのが縁で、岡山県から里子の受入れの要請があったのがきっかけで、平成元年から里親として子どもたちを育てている。里親制度とは実の親に育ててもらえない子どもたちを引き取って育てる制度だが、該当する子どもたちは全国で平成26年度4万6000余名がいる。原因は、両親の離婚、母子家庭の経済力不足、父親の失踪、親の虐待など様々だが、これらの子どもたちは、まず児童相談所が面接をした後、養護施設で預かるか里親としてお願いするかを決める。その割合は85対15と里親の割合は少ない。最近は養護施設では味わえない家庭的な雰囲気の中で育ててもらう里親制度に厚労省は力をいれているという。尾野さんは「里子の中には不登校、勉強ぎらい、徘徊、家出、喫煙、飲酒、万引きなどに悩まされるケースが多い。これらの原因はすべて暖かい家庭の愛情が欠如していることが原因だ」という。尾野さん自身もこの問題で悩んだことも再々あるという。尾野さんが預かった里子は小学校5年から高校まで平均5～6年。「産みの親よりも育ての親」という言葉もあるが、「実の親にはなりきれないが心と体、物心両面で支援してきた」という。その甲斐があって尾野さん宅で育って岡山市内で就職した26歳の「娘」が毎月尾野さん宅へ泊りに来るのが、実子のいない尾野さんには一番の楽しみなのだそうだ。また、小学校5年生から大学卒業まで13年間育てた33歳の男性は19歳の時、養子縁組をし、現在、彼はユニクロのエリアマネージャーとして韓国に赴任中だという。現在、里親には18歳までは国から毎月若干の援助があるが大学まで卒業させるともなると持ち出しは1000万円以上にもなる。なぜこうまでして里親を続けられたのか。やはり生活面の大半の面倒を見てもらう奥様の協力があってこそ。

尾野高仁氏と奥様の通子さん

そこで奥様の通子さんにお伺いすると「母親が幼少のころ早く両親を病気で亡くし、親がいないことがこんなにもつらかったことはないと聞かされて育ったことから母親の悲しみがインプットされていて素直に里親としてを引き受けることができた」という。

最後に全国で里親として不幸な子どもたちを育てている方たちはどうしてそこまでされるのか聞いてみた。それは心の中にかわいそうな人を助けたいという「福祉と奉仕の心のある人たちだから」という答え。読者の皆さんはこの話は理解できますか?（聞き手=広報部長・小林真人）

略歴　昭和18年（1943年）福井県大野市生まれ72歳。岡山県立玉野高校卒。昭和41年（1966年）本学経営学部卒業。商事会社へ就職したが、昭和45年（1970年）アメリカへ視察団として参加。ホームセンターやショッピングセンターを見て、これからの時代はこれだと思い、昭和50年（1975年）8月に独立。肥料と用土を取り扱う株式会社を設立。現在は種、苗などを加えて園芸用品に特化し、自社のアンテナショップのほかホームセンター、道の駅、100均店などへの卸販売が主流。平成元年から里親として子どもたちを受け入れ、現在6人目の里親として中学3年生の女子生徒を受け入れている。昨年まで岡山市里親会の会長を務めた。

元金融マン、地元に笑いを届ける

あさご落語会 代表
福富　宏三 氏（41回卒）

平成27年6月28日、豊岡市内のホテルで開催された大樟会（同窓会）但馬支部総会の懇親会でのこと。同支部副会長で、芸名「芋家笑酎（いもやしょうちゅう）」こと福富さんが着物姿で舞台に登場。落語「手紙無筆」を披露して、やんやの喝采を浴びた。芸名はご本人の好物にちなんだものとか。

福富さんは、永年勤務した但馬信用金庫を56歳で早期退職した。「大学を卒業して33年が過ぎ、何か違うことをしてみたいと思いましてね」。そんな頃、地元朝来（あさご）市で落語教室を開こうという話が持ち上がり、話の好きな福富さんに声がかかった。「人を笑わせたりすることがきらいではなかったですから、一期生として参加しました」。今から7年前のことである。

師匠は、近所に住むプロの落語家　三遊亭楽団治さん。有名な東京の三遊亭円楽師匠の弟弟子に当たる。現在、「あさご落語会」のメンバーは楽団治師匠、福富さんも含めて5名。年に1回の地元での定例会のほか、朝来市の社会福祉協議会のボランティアとして敬老会や地域の集いなどからお呼びがかかる。今、持ちネタは7本。「年に1本くらい増やしています。プロの落語家のテープを何度も聴いて、語りや仕草を考えながら、自分で噺を書きます。私の場合、マクラの部分も含めて1本20分くらいですかね」。

高座に上がるとうまくいかないこともある。「お客さんは気がつかないでしょうが、話の一部をはしょってしまうことがあります。一瞬、『あっ、飛んだ』と思いますが、そんな時は、違うことを言いながら、わからないように話を戻します」。

また、同じネタを演じても笑いが来るときと来ないときがある。「笑いを引っ張ってくれるお客さんが少ないと何かシーンとしてしまいます。それがこちらに伝わり、硬くなってしまう。笑い方を知っているお客さんが多いとやりやすいです。その点、女性はクスクス笑いもするし、ハハハとも笑います。笑い方を知っていますね。だから女性は長寿です」。これも笑いの効用とか。

好きな落語家を聞いてみた。「亡くなった桂枝雀さん、それから桂文珍さんもいいですね。枝雀さんは突拍子もないことをやりますが、あれはとても真似できません。文珍さんはしっかりした古典もやるが、噺のなかでポッポ、ポッポと笑いをとっていく。天才ですね」。

今、福富さんは元金融マンの経験を生かして、地元朝来市などで宿泊、飲食施設を手広く運営する会社の役員として八面六臂の活躍をする。そして、楽しみは金融経済小説を読むこととか。

（聞き手=広報部・内田敏雄）

略歴　昭和27年5月23日、兵庫県朝来市生まれ。63歳。昭和46年、兵庫県立生野高等学校卒業。同年本学経済学部入学。昭和50年卒業。同年但馬信用金庫入社。支店長などを経て、平成20年、退職。現在、㈱田舎暮し 取締役

日本で最も新しい酒造会社として復活

佐藤酒造株式会社 取締役
佐藤　啓太郎 氏（37回卒）

佐藤酒造は、平成22年9月に清酒・リキュール製造の免許を取得した日本で最も新しい酒造会社である。しかし、佐藤酒造の創業はもっと古く、明治中期にまで遡る。

昭和46年、佐藤さんは本学経済学部を卒業後、長浜に帰り、家業を継いだが、地方の酒造会社は売り上げが伸びず、厳しい時代になっていた。余程、特色を打ち出さなければ生き残れない業界である。昭和48年、まだ先代の頃であったが、このままでは立ち行かなくなると、地元の造り酒屋8社が協業組合を設立した。ここで佐藤酒造㈱は消滅することになる。「協業組合は、5年くらい前までは結構うまくいっていたんですよ。しかし、組合のメンバーが年をとり、跡継ぎのいない人も出て、やむなく解散しました」。ところが、「この時、一緒に組合で働いていた息子が、自分で酒を造りたいと言ってくれましてね。うれしかったですよ」と感慨深げである。一旦、途切れていた「佐藤酒造」が復活した。

佐藤さんは、家業を継いで間もなく、長浜の青年会議所に入り理事長も務めた。その後、40歳になり青年会議所を引退、周囲から勧められ、市議会議員に立候補した。それまで一緒に活動した青年会議所のメンバーが手弁当で応援してくれ、見事当選。結局4期16年の間に市議会議長を3回務めた。

佐藤さんは全く酒を飲まない。だからというわけではないだろうが、酒にまつわるマナー違反には手厳しい。佐藤さんが市議会議長に在職中は議会関係の飲み会は一切やめたという。「飲み会のあと街中をフラフラ歩いていたとか、市の職員と喧嘩していたとか、見っともない話です。市議会議員は公僕ですから、世間の見る目は厳しいですよ。飲むのならプライベートで飲めばいい」と。手間ひまかけて酒を造る佐藤さんの立場からすれば、酒で醜態をさらすのは許せないということである。その後、長浜市の助役を2年間務め、59歳で政治の世界から身を引いた。ちょうど長浜市が隣接する町村との合併を進め、面積で滋賀県最大の市となった頃である。因みに、長浜市の面積は681平方キロ、琵琶湖を若干上回る。

「同窓会や大学に対するご意見は？」と質問してみた。「最近、このあたりでは大経大の知名度が低くなってきたように感じます。スポーツにもっと力を入れるとか、せめて、関西圏では定期的なＰＲをして知名度を上げることを考えてほしいですね。このままでは、地方で大経大の名前が忘れられてしまいますよ」とのお言葉をいただいた。

（聞き手=広報部・内田敏雄）

略歴　昭和22年1月27日、滋賀県長浜市生まれ。68歳。昭和41年、京都市の東山高等学園卒業。同年本学経済学部入学、昭和46年卒業。同年、家業の佐藤酒造入社。昭和62年から4期16年間、長浜市市議会議員、平成16年から2年間長浜市助役を務める。

犬たちと過ごせる幸せ

ドッグカフェナガサキ 代表
長崎　史明 氏（43回卒）

JRまたは地下鉄新札幌駅から車で10分の団地の一角にこれから紹介する「ドッグカフェナガサキ」がある。内部は客席24席のどこにでもあるカフェだが、店の外に犬たちが運動したり排泄などをしてもいい広場が設けられているのが普通のカフェと違うところだ。（最初にお断りしておくが、内地のように番犬として戸外で飼うケースは寒冷地の北海道ではまれで、ほとんどが屋内で家族同様に飼われている）。ここを訪れるのは飼い主であったり犬好きの仲間が集まって食事をしたりするいわゆる「犬友」の皆さんの社交の場なのだ。その間同伴の犬たちは人間たちが会話を楽しんでいる間中おとなしく待っている。吠えたり、他の犬と喧嘩をしたりする犬はいない。それなりに小さい時からきちんと躾けられた犬たちだ。

また、長崎さんはお客さんから犬の宿泊の依頼を受ける場合がある。盆、正月など飼い主の都合で最大7匹を預かったこともある。ペットホテルのように籠の中に入れて預かるのではなく、自分たちの寝室の隣のリビングで犬たちは雑魚寝状態で飼い主の家庭で過ごすのと同じ状態で預かる。勿論朝晩の運動も引き受ける。

長崎さんは北海道盲導犬協会の指導部長を務め、この仕事を後進へ譲った後、半年間かけて日本一周の旅に出てこれからの人生を考えた時に、各地で犬たちの姿が目につき「これからもどうしても犬と関わられる仕事をしたい」と思いついたのがドッグカフェだ。カフェは奥様と娘さんご夫婦の4人がそれぞれ役割を分担して店を切り盛りしていて今年で13年目になる。

長崎さんは「トイレのしつけは犬に我慢させることなく飼い主がちゃんと判断してさせたいところに指示できるかが基本中の基本なのです」という。犬は最初の1年で人間の17歳。2年目で20歳を超え、「生後2カ月からちゃんと教育しなければ人間でいうと17歳になるまで何も教育を受けていないことになり、一人前の大人になれない」というのが元盲導犬訓練士としての長崎さんの持論。

「少しでも多くの人が思い抱いていた暮らしやすい家庭犬の役に立てるような情報を提供したい」というのが長崎さんの将来の夢だ。　（聞き手＝広報部長・小林真人）

略歴　昭和29年（1954年）6月28日福岡市生まれ。その後父上の勤務で奈良県へ。昭和48年奈良商業高校を卒業後本学へ入学。在校中は吹奏楽総部で活躍。小さいころから捨て犬を飼ったり犬に対する愛情は人一倍。昭和52年卒業と同時に現在の北海道盲導犬協会へ就職。盲導犬の訓練士として在職中に100頭を超える盲導犬を育てた。後進に道を譲った後は札幌市内でドッグカフェナガサキを開設。

婦人服の企画・製造・販売

ECHO　INTERNATIONAL　SPIRITS

SPA(Speciality Store Retailer of Private Label Apparel)

企画、生産から小売まで。「自分で作って自分で売る」これが基本です。
SPA のスピード感を生かしながら、グレードの高い生地、細密な縫製で作り上げる
ハイクオリティなアンチエイジングブランドです。
私たちは、新しい時代を生きる女性の感性を刺激するファッションを追求し続けます。

BOUTIQUE ECHO　Echo 71　E·HALF　E&C

ECHO INTERNATIONAL CO.,LTD.

【大阪本社】〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-12 リーガル立売堀ビル 7F
TEL. 06-4393-8665　FAX. 06-4393-8667
【 東 京 店 】〒104-0061 東京都中央区銀座5-8-20 銀座コア B1F
TEL. 03-5568-1131　FAX. 03-5568-1132
www.echo-i.com
百貨店、GMS（総合スーパー）、SC（ショッピングセンター）等にショップ 210 店舗

Daiwa Lease®
大和ハウスグループ

未来を、つなごう。

大和リースは、大和ハウスグループの中核企業として、次世代につなげる豊かな暮らしを実現するため、行政から民間企業まで、あらゆるお客様の社会や環境におけるさまざまな課題を解決します。その手段として、当社の４つの事業を複合化した提案を行い、豊かな未来のために貢献いたします。

■ 規格建築事業

■ 流通建築リース事業

■ リーシング ソリューション事業

■ 環境緑化事業

大和リース株式会社　www.daiwalease.co.jp
大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ピップビル　〒540-0011
Tel 06-6942-8011　Fax 06-6942-8051

建設業許可番号・国土交通大臣許可（特-27）第5903号
宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣（7）第3836号

「がんばらない」経営

当社の経営を一言で表現すると
「頑張らない経営」となります。
「頑張らない」とは、
「怠ける」ということではなく、
「無理をしない」ということです。
つまり、出来もしないようなことを
目標に掲げ、無駄に力を使うのではなく、
基本的なことを
確実に実行していくことが、
会社を継続して成長させることに
つながると考えています。

ケーズデンキイメージキャラクター
ちびまる子ちゃん
©さくらプロダクション／日本アニメーション

ケーズデンキあんしんパスポート

あんしんパスポートは、お客様に４つの「安心」をご提供するカードです。

1.「価格」が安心……パスポートのご提示で電池や電球などの小物商品も割引いたします。
※一部値引き対象外の商品サービスがございます。

2.「アフターサービス」が安心……パスポートのご提示で対象商品ご購入の際の長期無料保証登録が簡単になります。

3.「万が一の商品リコール」にも安心……万が一、メーカーからリコール商品がでても、対象商品をご購入されたお客様に迅速にご連絡いたします。

4.「消耗品等のお買物」が安心……プリンタのインクやクリーナーの紙パックの型番を購入履歴の検索でお調べいたします。

あんしんパスポート会員が3,200万人超に

新製品が安いケーズデンキ

おかげさまで全国に460店舗以上展開!!
http://www.ksdenki.com/

おかげさまで70年 Anniversary 70 NIKKO 2016.11.3 NEXT ADVANCE

オフィス創りの総合商社
文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具
どんなことでもNIKKOへ！

NIKKO 株式会社日興商会　代表取締役社長　藤縄 健一（第37回卒）

コクヨ製品取扱高全国 No.1

本 社　〒660-0892 尼崎市東難波町５丁目10番30号 Tel. 06･6487･1401 Fax. 06･6487･1414　ホームページ http://nikko.bunguclub.co.jp
支 店　大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島　他　全19支店２営業所

学校経営を支援する
多彩なソリューションを
ご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、
学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、
学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、
円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください
株式会社廣済堂　データベース課
〒560-8567 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1
TEL 06-6855-9241
http://www.kosaido.co.jp/
KOSAIDO

豊かなみのりにご奉仕する

農業と園芸、家庭菜園の専門店

農業と園芸 農業屋

三重県　愛知県　岐阜県　和歌山県
滋賀県　奈良県　静岡県　兵庫県

つくる人とたべる人をつなぐ直売所
農家の産直市場 みのり

家庭菜園と農業用品の通販サイト
種・野菜づくりの専門店
農業と園芸 農業屋.com
http://www.nogyoya.com

KURAGI クラギ株式会社
三重県松阪市川井町花田 539
電話：0598-26-1111（代）　FAX：0598-26-1113（代）
ホームページ　http://www.nogyoya.jp

燃料電池自動車、スマートコミュニティ、さらには水素発電へ。
水から生まれ、燃焼してもCO_2を排出しない水素の時代が本格的にはじまります。
イワタニはこれまで、日本初の液化水素製造プラントを稼働するなど実績を重ねてきました。
液化水素は−253℃の極低温で高純度。大量輸送・貯蔵も可能で、増大する水素需要に対応できます。
より美しく、豊かな世の中をめざして。水素のトップサプライヤー・イワタニは、
製造からインフラ整備まで、独自の総合力で日本の水素エネルギー社会を支えていきます。

水素エネルギー社会を切り拓く、
イワタニの液化水素。

ガス&エネルギーで未来を拓く
Iwatani
岩谷産業株式会社

Takasho

やすらぎのある空間づくり

私たちはよりよい庭での暮らしを提案いたします。

わたしたち、タカショーグループは和歌山から日本へ、そして世界へ「ガーデニング文化創造企業」として発展しつづけています。

株式会社タカショー
本　　社：和歌山県海南市南赤坂20-1
〒642-0017 TEL.073-482-4128
東京本部：東京都千代田区神田駿河台2-9
〒101-0062　TEL.03-5244-5652
他、国内15支店・営業所　海外7支店

インターネット・ホームページ
http://takasho.co.jp
JASDAQ
（証券コード7590）

<タカショーグループ22社>
国内10社（タカショー含む）
海外12社
タカショーグループ22社が
私たちの仲間です

お気軽にご相談ください

大阪経済大学生活協同組合
〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10
TEL.06- 6379- 2230 Fax.6379- 2232　URL.http://oue.hanshin.coop/
e-mail　OK-COOP@ma4.seikyou.ne.jp

久保社会保険労務士法人

久保社会保険労務士法人
所長　久保　太郎

プロフィール

平成25年秋の叙勲 旭日小綬章 受賞

1941年 岡山県倉敷市生まれ。

40年間人事労務の業務に携わり、企業労務コンサルタントとして70業種1000社を超す企業の労務改善、業績アップの指導に従事。

2009年2月厚生労働大臣賞受賞。

厚生労働大臣認可 労働保険事務組合関西労働保険協会 代表

関西労働保険事務組合 会長

社団法人 全国労働保険事務組合連合会 副会長

社団法人兵庫県労働保険事務組合連合会 会長

〒660-0881
兵庫県尼崎市昭和通2-7-1ホテルニューアルカイックビル1階
TEL　06-6482-6312　　FAX　06-6487-3960
MAIL　info@sr-kubo.jp　　HP　http://sr-kubo.biz/index

お気軽にお問合せ下さい。

本店営業部	大阪市中央区北浜2丁目5番4号	TEL.(06)6231-2881
中之島支店	大阪市北区中之島1（大阪市役所内）	TEL.(06)6202-0891
西支店	大阪市西区九条南1丁目10番17号	TEL.(06)6581-2421
阿倍野支店	大阪市阿倍野区阪南町1丁目48番1号	TEL.(06)6622-0671
生野支店	大阪市生野区桃谷2丁目23番32号	TEL.(06)6718-1121
福島支店	大阪市福島区野田3丁目1番18号	TEL.(06)6462-3621
住吉支店	大阪市住吉区東粉浜3丁目23番8号	TEL.(06)6673-8371
城東支店	大阪市城東区今福西1丁目9番6号	TEL.(06)6939-5131
東成支店	大阪市東成区東中本1丁目15番27号	TEL.(06)6971-2401
都島本通支店	大阪市都島区都島北通2丁目3番19号	TEL.(06)6924-1171
布施西支店	東大阪市岸田堂西2丁目3番6号	TEL.(06)6728-3301
南田辺支店	大阪市東住吉区田辺3丁目25番20号	TEL.(06)6628-0581
門真支店	門真市本町30番3号	TEL.(06)6909-7451
住道支店	大東市扇町16番7号	TEL.(072)872-4881
八尾西支店	八尾市久宝寺2丁目4番57号	TEL.(072)992-0081
若江岩田支店	東大阪市岩田町3丁目10番17号	TEL.(072)963-2151
たつみ支店	大阪市生野区巽中3丁目9番2号	TEL.(06)6751-1281
生野中支店	大阪市生野区中川東2丁目4番6号	TEL.(06)6754-1811
高井田支店	東大阪市西堤1丁目13番4号	TEL.(06)6788-2821
つるみ支店	大阪市鶴見区横堤3丁目6番52号	TEL.(06)6912-8861
生野南支店	大阪市生野区舎利寺3丁目5番28号	TEL.(06)6718-2181
桃谷駅前支店	大阪市天王寺区堂ヶ芝1丁目9番3号	TEL.(06)6771-4881
鴻池支店	東大阪市中鴻池町3丁目4番5号	TEL.(06)6745-2811
加美北支店	大阪市平野区加美北3丁目12番1号	TEL.(06)6794-3121
中津支店	大阪市北区中津1丁目17番26号	TEL.(06)6376-3071
森ノ宮支店	大阪市中央区森ノ宮中央1丁目8番1号	TEL.(06)6946-1081
谷町支店	大阪市天王寺区生玉前町1番18号	TEL.(06)6775-0751
大東北支店	門真市江端町9番23号	TEL.(072)882-1661
北支店	大阪市北区末広町3番3号	TEL.(06)6365-7801
岸の里支店	大阪市西成区千本中2丁目2番21号	TEL.(06)6659-6522
桜川支店	大阪市浪速区幸町2丁目3番22号	TEL.(06)6562-3224
上小阪支店	東大阪市上小阪3丁目1番6号	TEL.(06)6730-1281
江戸堀支店	大阪市西区江戸堀3丁目1番25号	TEL.(06)6447-7881
関目支店	大阪市旭区高殿4丁目22番40号	TEL.(06)6954-0374
平野上町支店	大阪市平野区平野上町2丁目7番18号	TEL.(06)6791-1804
日本橋支店	大阪市中央区日本橋2丁目6番1号	TEL.(06)6641-8131
萩之茶屋支店	大阪市西成区花園南1丁目3番15号	TEL.(06)6661-6031
梅田支店	大阪市北区梅田1丁目3番1号100	TEL.(06)6341-6434
加島支店	大阪市淀川区加島4丁目2番46号	TEL.(06)6309-7821
御厨支店	東大阪市御厨中2丁目5番6号	TEL.(06)6788-5181
港支店	大阪市港区三先1丁目10番28号	TEL.(06)6573-6261
長吉支店	大阪市平野区長吉長原東1丁目2番73号	TEL.(06)6708-9001
恩加島支店	大阪市大正区平尾4丁目21番8号	TEL.(06)6554-1351
北加賀屋支店	大阪市住之江区北加賀屋1丁目1番26号	TEL.(06)6683-6551
姫島支店	大阪市西淀川区姫島5丁目2番1号	TEL.(06)6475-3231
西九条支店	大阪市此花区梅香3丁目33番9号	TEL.(06)6464-0621
東淀川支店	大阪市東淀川区豊新5丁目14番30号	TEL.(06)6327-8861
守口支店	守口市京阪本通1丁目4番12号	TEL.(06)6993-8541
市大病院出張所	大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号	TEL.(06)6633-1321
豊中支店	豊中市服部南町4丁目1番25号	TEL.(06)6864-7471
堺支店	堺市堺区大町西3丁2番1号	TEL.(072)232-7601
八尾営業部	八尾市本町2丁目8番1号	TEL.(072)923-1988
平野支店	大阪市平野区加美西2丁目1番3号	TEL.(06)6791-9871
山本支店	八尾市山本町1丁目8番3号	TEL.(072)922-7666
柏原支店	柏原市本郷2丁目5番27号	TEL.(072)972-3181
松原支店	松原市上田1丁目7番3号	TEL.(072)332-1700
国分支店	柏原市国分本町1丁目4番1号	TEL.(072)978-6161
古市支店	羽曳野市栄町4番11号	TEL.(072)956-0485
吉田支店	東大阪市今米1丁目5番37号	TEL.(072)963-4312
初芝支店	堺市東区日置荘西町1丁53番32号	TEL.(072)285-2893
小阪駅前支店	東大阪市小阪本町1丁目6番20号	TEL.(06)6722-0666
弥刀支店	東大阪市大蓮北1丁目9番9号	TEL.(06)6728-8484
深江橋支店	大阪市東成区深江北2丁目2番8号	TEL.(06)6972-8131
寝屋川支店	寝屋川市萱島本町12番5号	TEL.(072)823-3021
河内長野支店	河内長野市楠町東1651番地の3	TEL.(0721)53-8412
恵我之荘支店	羽曳野市恵我之荘3丁目1番1号	TEL.(072)953-1201
八尾北支店	八尾市光町2丁目9番地	TEL.(072)998-0888
北山本出張所	八尾市上之島町北1丁目16番地の2	TEL.(072)923-3741
恩智支店	八尾市恩智中町1丁目77番地の2	TEL.(072)941-0241
道明寺支店	藤井寺市沢田3丁目6番39号	TEL.(072)952-4351
久宝寺口支店	八尾市末広町4丁目8番16号	TEL.(072)924-8080
東花園支店	東大阪市花園東町2丁目2番15号	TEL.(072)966-0180
JR八尾駅前支店	八尾市安中町3丁目2番40号	TEL.(072)924-8100
八尾南支店	八尾市若林町1丁目87番地	TEL.(072)948-7781
志紀支店	八尾市志紀町2丁目45番地	TEL.(072)949-3881
本町支店	大阪市西区立売堀1丁目2番14号	TEL.(06)6532-1501
我孫子支店	大阪市住吉区我孫子西2丁目4番27号	TEL.(06)6694-8600
枚岡支店	東大阪市西石切町3丁目4番1号	TEL.(072)982-1150
河内支店	東大阪市岩田町4丁目3番33号	TEL.(072)962-2181
瓢箪山支店	東大阪市昭和町2番3号	TEL.(072)982-1414
大東支店	大東市赤井1丁目3番12号	TEL.(072)871-3591
豊浦出張所	東大阪市豊浦町13番4号	TEL.(072)981-5801
法善寺支店	柏原市法善寺4丁目2番1号	TEL.(072)973-0701
中野支店	東大阪市角田2丁目10番9号	TEL.(072)963-2100
布施支店	東大阪市足代2丁目3番4号	TEL.(06)6722-1101
永和支店	東大阪市荒川2丁目26番12号	TEL.(06)6722-2001
中央市場営業部	大阪市福島区野田1丁目1番86号	TEL.(06)6469-7361
下福島支店	大阪市福島区野田2丁目1番80号	TEL.(06)6468-8781
東部市場支店	大阪市東住吉区今林1丁目2番68号	TEL.(06)6756-3540
塚本支店	大阪市西淀川区柏里3丁目1番10号	TEL.(06)6473-6491
北部市場支店	茨木市宮島1丁目1番1号	TEL.(072)636-2075

■テレフォンダイレクト支店　夢ふくらむ支店　大阪市中央区北浜2-5-4　0120-77-2976

信頼で地域とつながる

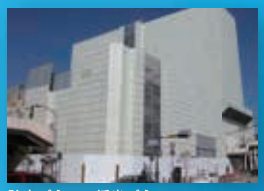
大阪シティ信用金庫

最高顧問　新堂友衛
（第21回卒　本学理事）

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4　TEL.(06)6201-2881(代表)

インターネットアドレス　http://www.osaka-city-shinkin.co.jp/　大阪府内に92店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。　平成28年1月1日現在

NC LEASE CORPOLATION
資源の有効利用と環境に配慮した事業に取り組みます

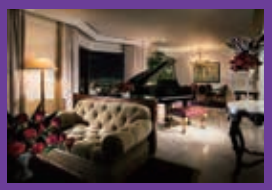

防音パネル・採光パネル

クサビ足場

橋梁足場

仮設機材レンタル　AF事業
エヌシーリース株式会社
〒550-0011
大阪府大阪市西区阿波座1丁目6番13号
カーニープレイス本町 8階
tel : 06-6578-1081　web : http://www.nclease.jp

大阪市内の夜景を見渡せる高層階客室からの眺望
五感を刺激する料理、心かよう温かな気品あふれるおもてなし
優雅な空間で、気品に満ちたやすらぎの時間をお届けします



ホテル阪急インターナショナル
お問い合わせ 06-6377-2100（代表）
ホテル阪急インターナショナル　検索
梅田・茶屋町

ホームセンター カンセキ
HOME CENTER kanseki
WILD-1 OUTDOOR LIFE STORE
株式会社カンセキ
本社 栃木県宇都宮市西川田本町3丁目1番1号　TEL 028-658-8123（代表）
http://www.kanseki.co.jp/　カンセキ　検索

EVER ONWARD

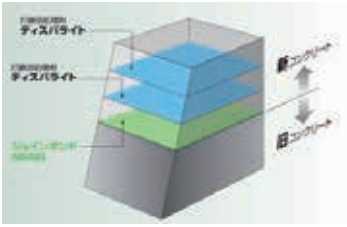
安定した品質で建設現場に貢献し、
社会資本に「安全・安心」を供給する。

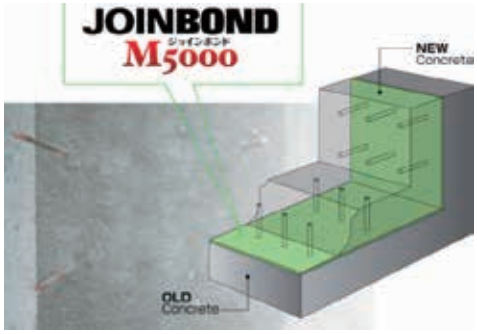
ジョインボンドM5000

省力化をサポート！

NETIS登録番号 KK-130043-A

新旧コンクリート打継目接着材
（繊維補強ポリマーセメント系）





施工後、新コンクリート打設まで最大14日確保！
チッピング不要で新旧コンクリートを一体化！

建設産業のインフラを支える日本ジッコウグループ

日本ジッコウ(株) 本社

コンクリート関連資材の総合販売
日本ジッコウ株式会社
TEL / 078-974-1141　FAX / 078-974-7786　URL / http://www.jikkou.co.jp

テクノスジャパン(株) 本社・工場

機能性モルタル類の総合メーカー
テクノスジャパン株式会社
TEL / 078-924-1234　FAX / 078-924-0050　URL / http://www.attack-pro.com

エースコンサルタント(株)

コンクリート構造物の劣化調査・診断
建設コンサルタント登録No.建27第6748号
エースコンサルタント株式会社
TEL / 078-920-2251　FAX / 078-920-2253　URL / http://www.ace-con.co.jp

学校法人大阪経済大学
理事長　**佐藤武司**
（昭和39年 30回卒業）

事務局からのお知らせ

★住所等が変更された場合は、必ずご連絡ください！

「澱江」は、大阪経済大学大樟会から会員の方（本学卒業生）全員へお送りしていますが、毎年、宛先不明で多数返送されてきます。住所等が変更された場合は、必ず、大樟会本部事務局まで、同封のハガキにて、ご連絡ください。（切手代は不要です）その他、電話、FAX などでも受けつけております。

ご連絡は、下記へ

大阪経済大学大樟会・本部事務局
〒 533-8533　大阪市東淀川区大隅 2-2-8
電話 06-6328-2431（代表）　　FAX 06-6328-4564（直通）
メール okusu@osaka-ue-denko.com

また、ホームページからもご連絡いただけます。

ＨＰアドレス　→　http://www.osaka-ue-denko.com/　　大阪経済大学大樟会　検索

●編集後記●

○「澱江」51号をお届けいたします。昨年度から編集長の重責が回ってきたのですが、山口在住のため、そう頻繁に大学通いもままならず、相変わらず事務局の皆さんには大変な事務のご負担をおかけして申しわけなく思っております。

○ 昭和10年12月に大阪高島屋で第1回総会を開催したのが同窓会誕生の始まりだとの記録が残っています。あれから80年。そこで何か記念特集をと考えたのが、①支部長座談会②臨時全国支部長会議の開催③「同窓会支部の誕生を探る」です。そのうち②の臨時全国支部長会議は毎年5月に開催している定例の支部長会議では時間的に充分な意見が聴けないということで、特に80周年を記念して開催しました。会場は専門のセミナーハウスを借り切って、文字通り寝食を共にしながら夜の更けるまで語り合いました。

○ その結果、各支部長から出された共通の意見は、とにかく支部総会に会員の参加が少ない。その特効薬になる名案が浮かばないというものでした。また、大学に対する要望としては、特に地方の支部長からは新聞などで大学の入試案内広告の中に母校の名前がなく寂しい。現在は定員の10倍もの応募者があるからといって、すぐに訪れる18歳人口の減少に備えて大学に危機感はあるのか。もう少し地方からの入学者を増やす必要があり、そのためにも中止された地方での試験会場を復活すべきだ。などの意見が出されました。この支部長会議で出された意見の抜粋は愛媛支部長の眞鍋一美氏へお願いいたしました。

○「支部だより」、「OBOGネットワーク」は、再三のお願いにもかかわらず、締切までにお送りいただけなかった原稿は残念ながら不掲載とし、大樟会のホームページ掲載に代えることにいたしました。また、長文は誌面の都合で、一部割愛させていただきました。「わがまちイチオシ」は次回も引き続き掲載いたしますのでご送稿ください。また「ズームアップ経大人」も自薦、他薦を問わず事務局までお知らせください。寄稿いただきました方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。

（広報部長　小林　真人）

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS
澱江（でんこう）2016

■発行日　2016年1月31日（日）
■編　集　大阪経済大学大樟会 広報部
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8　電話06-6328-2431（代）
メール okusu@osaka-ue-denko.com　URL http://www.osaka-ue-denko.com/
■印　刷　株式会社 廣済堂
〒560-8567　大阪府豊中市蛍池西町2-2-1　電話06-6855-9241